東芝デジタル複合機

インストールガイド

●このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
●お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、クライアントソフトウェアのインストール方法について説明しています。
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

⚠警告 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。

⚠注意 「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。

注意 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補足 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

＊1　重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
＊3　物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

□ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO5540C/6540C/6550C	e-STUDIO6550C Series
e-STUDIO2540C/3540C/4540C	e-STUDIO4540C Series

□ 画面と操作手順の説明について

- 本書では、Windowsでの画面および操作手順は、OSのバージョンが明記されていない場合には、Windows 7を例に説明しています。オプション機器の装着状況、お使いのOSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。
- Windows Server 2008 R2をお使いの場合は、Windows 7の操作手順を参照してください。ただし、表示される画面やメニュー名などが異なることがあります。

□ 商標について

- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows 7の正式名称は、Microsoft Windows 7 Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、SafariおよびTrueTypeは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の登録商標です。
- その他、本書および本ソフトウェアに掲載または表示されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

使用許諾契約書

この契約は、お客様と東芝テック株式会社（以下「東芝テック」という）との間の契約です。ソフトウェアパッケージを開封するか或いはソフトウェアの使用を開始する事をもってお客様はこの契約に同意したことになります。契約条項を承認できない場合は、速やかにソフトウェアパッケージ及びマニュアル等の付属品をご返送ください。

ソフトウェアが記録されている媒体並びに印刷物（マニュアルなどの文書）等、有体物の所有権は、お客様に移転されますが、ソフトウェアならびに印刷物（マニュアルなどの文書）の著作権を含む知的財産権その他権利は「東芝テック」（東京都品川区東五反田２－１７－２）が保有しております。
お客様が期待する成果を得るためのソフトウェアの選択導入、使用および使用成果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 定義

“ソフトウェア”とはプリンタドライバソフトウェア, Twainドライバソフトウェアおよび本製品と一緒に提供されるＣＤに含まれるソフトウェアをいいます。

“指定機器”とは、お客様がソフトウェアと共に購入した本製品を言います。

2. 使用許諾

お客様は、指定機器の各種機能を動作させる目的にのみソフトウェアを使用することができます。

お客様はソフトウェアを貸与またはリースすることはできません。

お客様は、契約条項に明示されている場合を除き、ソフトウェアを使用、複製、修正、逆コンパイル、逆アセンブル又はその他いかなる方法によってもソフトウェアを変更することはできません。

前号の規程にかかわらず、お客様はバックアップ用としてソフトウェアを一部複製することができます。尚、複製物に含まれる著作権表示について、修正、削除等は行うことができません。

お客様は、ソフトウェアに付随するマニュアル及びその他印刷物を複製できません。

3. 期間

お客様は、「東芝テック」に対し文書にて通知することにより、いつでもこの契約を解約することができます。また、お客様がこの契約の条項に違反した場合には、この契約は自動的に解除されます。いずれの場合も、お客様には、「東芝テック」からの連絡内容に従って、ソフトウェア及びそのバックアップを破棄もしくは返却していただきます。

4. 保証

①「東芝テック」は、お客様が、ソフトウェアと共に　本製品　を購入した日から９０日以内は、ソフトウェアが記録されている媒体が通常の使用においては、材質、製造上、もしくは記録上の欠陥がないことを保証します。

②「東芝テック」は、ソフトウェアに含まれる機能がお客様の要件を満たしていること及びソフトウェアの動作が常に欠陥のない状態であることを保証するものではありません。

③「東芝テック」は、上記①の保証以外はいかなる場合においても、明示又黙示の保証をせず、一切責任を負いません。ソフトウェアに関し、商品適合性またはある特定の使用目的への適合性を含むいかなる黙示の保証も否認されます。

④「東芝テック」は、ソフトウェアの使用または使用不能から発生する直接、間接、特別、偶発的または付随的障害につき、かかる損害に対する保証は一切いたしません。

5. 一般事項

お客様は、ソフトウェアについて、第三者に使用権を設定し、または譲渡することはできません。

お客様は、本契約をお読みになり、上記の条項を承認したことをご確認されたものとし、さらに本契約は、ソフトウェアに関する唯一完全な契約であり、かつ、本契約はお客様が本契約の主要事項に関連して受け取ったいかなる情報にも優先することに同意されたものとします。

本契約は日本国の法律に準拠するものとします。
また、本契約に関する一切の紛争に関しては、東京地方裁判所を管轄裁判所とします。

目次

第4章　プリンタドライバのインストール（Macintosh）

第5章　プリンタドライバのインストール（UNIX/Linux）

第6章　スキャンドライバ&ユーティリティのインストール

第7章　ネットワークファクスユーティリティのインストール

第8章　ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール

第9章　インストールのメンテナンス

1

インストールについて

インストールの概要について説明します。

Client Utilities CD-ROMについて

■ Windows

下記コンテンツがClient Utilities CD-ROMに収録されています。

クライアントソフトウェア・インストーラ

［Client Utilities CD-ROM］:￥e-STUDIO￥Setup.exe
各プリンタドライバをお使いのコンピュータへインストールするセットアッププログラムが収録されています。

Universal Printerドライバ

- ［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥Drivers￥UNI￥32bit￥
「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用しWindows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008の32ビット版環境に、Universal Printerドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥Drivers￥UNI￥64bit￥
「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用しWindows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008の64ビット版環境に、Universal Printerドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

補 足

Universal Printer ドライバは、印刷に使用するPDL（Page Description Language：ページ記述言語）を切り替えて使用することができます（｢PCL6｣ ⇔ ｢PostScript｣）。また、e-STUDIO Seriesの他機種を利用し印刷することもできます。詳しくは、**印刷ガイド**を参照してください。

PS3プリンタドライバ（PostScript）

- ［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥Drivers￥PS￥32bit￥
「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用しWindows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008の32ビット版環境にPS3 プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥Drivers￥PS￥64bit￥
「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用しWindows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008の64ビット版環境にPS3 プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

XPSプリンタドライバ

- ［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥Drivers￥XPS￥32bit￥
「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用しWindows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003の32ビット版環境にXPS プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥Drivers￥XPS￥64bit￥
「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用しWindows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003の64ビット版環境にXPS プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

補 足

XPS プリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7、またはXPS Essentials Pack がインストールされているWindows XP SP2 / Windows Server 2003 SP1以降のコンピュータにインストールすることができます。

プラグイン

［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥Drivers￥PLUGINS￥
プラグインを別途インストールするためのセットアップファイルが収録されています。

Windows PPDファイル

［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥Drivers￥WinPPD￥
印刷する際にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。

N/W-Faxドライバ

- ［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥FAX￥32bit￥
  「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用しWindows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008の32ビット版環境にN/W-Faxドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥FAX￥64bit￥
  「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用しWindows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008 の64ビット版環境にN/W-Faxドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

AddressBook Viewer

- ［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥ADRBK￥32bit￥
  Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008の32ビット版環境にAddressBook Viewerをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥Drivers￥ADRBK￥64bit
  Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008の64ビット版環境にAddressBook Viewerをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

ファイルダウンローダ

［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥FD￥
ファイルダウンローダをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

Remote Scanドライバ

［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥RS￥
Remote Scanドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

TWAINドライバ

［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥TWAIN￥
TWAINドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

WIAドライバ

［Client Utilities CD-ROM］:￥Client￥WIA￥
Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008環境にWIAドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

■ Macintosh

下記コンテンツがClient Utilities CD-ROMに収録されています。

Macintosh PPDファイル

- ［Client Utilities CD-ROM］:MacPPD:OSX:10_2-10_3
  Mac OS X 10.2.4～10.3.xの環境からの印刷に使用するPPDファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:MacPPD:OSX:10_4-
  Mac OS X 10.4以降の環境からの印刷に使用するPPDファイルおよびMac OS X 10.4以降で使用するプラグインが収録されています。

■ UNIX/Linux

下記コンテンツがClient Utilities CD-ROMに収録されています。

Solarisフィルタ

［Client Utilities CD-ROM］/Admin/SolarisFilter/Usa/
Solaris v2.6/2.7/7.8/8/9/10用tarファイルが収録されています。

HP-UXフィルタ/HP-UX64フィルタ

［Client Utilities CD-ROM］/Admin/HP-UXFilter/Usa/
HP-UX ver.10.20/11.x用およびHP-UX64 ver.11.31用のtarファイルが収録されています。

AIXフィルタ

［Client Utilities CD-ROM］/Admin/AIXFilter/Usa/
AIX 4.3.3用tarファイルが収録されています。

Linuxフィルタ

［Client Utilities CD-ROM］/Admin/LinuxFilter/Usa/
Red Hat 7.x/8.x/9.x、Red Hat Enterprise WS2、SuSE Linux 7.x/8.x/9.x、Mandrake Linux 7.x/8.x/9.x、Turbolinux 8/10用tarファイルが収録されています。

SCO UNIXフィルタ

［Client Utilities CD-ROM］/Admin/OpenUnixFilter/Usa/
SCO UNIXWare 7およびSCO Open UNIX 8用tarファイルが収録されています。

CUPS PPDファイル

［Client Utilities CD-ROM］/Admin/CUPS/Usa/
UNIX/LinuxのCUPS環境から印刷に使用するPPDファイルが収録されています。

インストーラの内容

Client Utilities CD-ROMにて提供されているインストーラでは、以下のソフトウェアをインストールすることができます。

プリンタドライバ（プリント機能）

プリンタドライバは、お使いのアプリケーションから印刷を行うためのソフトウェアです。本機では、Universal Printer（PCL6、PostScript）、PS3（PostScript）、XPSの3種類のプリンタドライバを用意しています。これらのドライバは、アプリケーションでは設定できないような、文書レイアウトやページ組みなど、高度な印刷機能を提供します。

補 足

XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7、またはXPS Essentials PackがインストールされているWindows XP SP2 / Windows Server 2003 SP1以降のコンピュータにインストールすることができます。

TWAINドライバ（スキャン機能）

ファイリングボックスに保管された文書をTWAIN対応アプリケーションに画像として取り込むことができます。

ファイルダウンローダ

ファイリングボックスに保管された文書をお使いのコンピュータのハードディスクにファイルとして取り込むことができます。

Remote Scanドライバ（スキャン機能）

Remote Scanドライバを使用すると、お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をTWAIN対応アプリケーションに取り込むことができます。

WIAドライバ（スキャン機能）

WIAドライバを使用すると、お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をWIA対応アプリケーションに取り込むことができます。

N/W-Faxドライバ（プリント機能）

N/W-Faxドライバを使用すると、お使いのWindowsコンピュータから任意の宛先へ文書をファクス送信することができます。

AddressBook Viewer

AddressBook Viewerを使用すると、連絡先のファクス番号やEメールアドレスを効率よく管理することができます。また、AddressBook Viewerで管理しているファクス番号やEメールアドレスは、N/W-Faxドライバを用いてファクスを送信する際に宛先として利用することができます。

ファイアウォールソフトウェア使用時の注意事項

Windowsコンピュータでファイアウォールソフトウェアを使用している環境の場合、本機とコンピュータ間のネットワーク通信をファイアウォールソフトウェアがブロックしてしまい、インストールが実行できなくなることがあります。インストールを開始する前に現在の環境を確認し、もしファイアウォールソフトウェアを使用している場合は、ネットワーク管理者へ問い合わせて指示に従ってください。

なお、ネットワーク通信が必要となるクライアントソフトウェアとその実行ファイルは以下のとおりです。ファイアウォールソフトウェアの例外設定を行う際の参考にしてください。

個別インストーラ：setup.exe
Software Installer：Setup.exe
プリンタドライバ、N/W-Faxドライバ：printui.exe
ファイルダウンローダ：ESFileDL.exe
AddressBook Viewer：ABVExe.exe（32ビット版用）、ABVExe6.exe（64ビット版用）
Backup/Restore Utility：ESeFBKRT.exe

注 意

- TWAIN ドライバ、Remote Scan ドライバ、WIA ドライバに関しては、各ドライバに対応したアプリケーションソフトウェアの実行ファイルを例外設定する必要があります。
- 個別インストーラまたはSoftware Installerを例外設定した場合、インストールが完了した後で各実行ファイルに対する例外設定を解除してください。

TopAccessからのダウンロード

システム管理者がクライアントソフトウェアを本機にアップロードしてある場合、各ユーザはTopAccessからインストーラやインストールに必要なファイルをダウンロードすることができます。
TopAccessからは、以下のソフトウェアをダウンロードすることができます。

- Windows用インストーラ
  P.15 「Windows用インストーラのダウンロード」
- Macintosh用PPDファイル
  P.16 「Macintosh用PPDファイルのダウンロード」
- UNIX/Linux用フィルタ
  P.17 「UNIX/Linux用フィルタのダウンロード」

補 足

- サービスパックが適用されたWindows Server 2003の場合、TopAccessからドライバソフトウェアをダウンロードできないことがあります。ダウンロードできないときには、他の方法でインストールしてください。
- TopAccessの起動方法や、ソフトウェアを本機へアップロードする方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。

■ Windows用インストーラのダウンロード

1 **TopAccessの画面下にある［ソフトウェアのインストール］リンクをクリックします。**

［インストールクライアントソフトウェア］ページが表示されます。

2 **［Install Client1］リンクをクリックします。**

3 **表示されるプロンプト画面に従い、Install Client1ファイルをデスクトップにダウンロードします。**

4 **ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。**

解凍すると、各「WebInstaller.exe」が収められたフォルダが展開されます。これらを使ってインストールするにはAdministrator権限で「WebInstaller.exe」を起動します。Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、Administrator権限を持たないユーザは「WebInstaller.exe」を右クリックして［管理者として実行］（[管理者で実行]）でAdministratorのパスワードを入力することでインストールできます。WebInstaller.exeが収められているフォルダは以下の名称です。

- ABV32：AddressBook Viewerのインストーラが入っています。（32ビット版用）
- ABV64：AddressBook Viewerのインストーラが入っています。（64ビット版用）
- FD：ファイルダウンローダのインストーラが入っています。
- NWFAX：N/W-Faxドライバのインストーラが入っています。
- UNI：Universal Printerドライバのインストーラが入っています。
- PS3：PS3プリンタドライバのインストーラが入っています。
- RS：Remote Scanドライバのインストーラが入っています。
- TWAIN：TWAINドライバのインストーラが入っています。
- WIA：WIAドライバのインストーラが入っています。
- XPS：XPSプリンタドライバのインストーラが入っています。

■ Macintosh用PPDファイルのダウンロード

1 **TopAccessの画面下にある［ソフトウェアのインストール］リンクをクリックします。**

［インストールクライアントソフトウェア］ページが表示されます。

2 **［Macintosh PPD Files］リンクをクリックします。**

ソフトウェアコンポーネントの一覧が表示されます。

3 ダウンロードしたいファイルのリンクをクリックします。

TOSHIBA_ColorMFP.dmg.gz：Mac OS X 10.2.4～10.3.x用PPDファイルをダウンロードします。
TOSHIBA_ColorMFP_X4.dmg.gz：Mac OS X 10.4以降で使用するPPDファイルをダウンロードします。
TOSHIBA_eS-Ex_Features.dmg.gz：Mac OS X 10.4以降で使用するプラグインをダウンロードします。

4 表示されるプロンプト画面に従い、ファイルをデスクトップにダウンロードします。

■ UNIX/Linux用フィルタのダウンロード

1 TopAccessの画面下にある［ソフトウェアのインストール］リンクをクリックします。

［インストールクライアントソフトウェア］ページが表示されます。

2 「UNIX Filters」リンクをクリックします。

ソフトウェアコンポーネントの一覧が表示されます。

3 インストールしたいUNIX/Linuxフィルタのリンクをクリックします。

4 表示されるプロンプト画面に従い、UNIX/Linuxフィルタを含むUNIX/Linuxのtarファイルをデスクトップにダウンロードします。

NetWareプリントサーバーの設定

本機では、以下のNovell印刷サービスをサポートしています。
- NetWare 6.5 NDSモード（IPX/SPX使用時のみ）
- NetWare 6.5 NDPSモード
- NetWare 6.5 iPrintモード

ここでは、本機をNovellネットワークプリンタ、プリントサーバーもしくはNDPSプリンタエージェントとして使用するために、本機をどのように設定するかについて概要を説明します。詳細については、Novellの説明書を参照してください。

■ NDSモードでのNetWareプリントサーバー設定

NDSを使ったNetWareプリントサーバーを設定する手順は、以下のとおりです。この設定によってネットワーク内の各ユーザは自分のコンピュータから本機に印刷することができ、また本機はNetWareプリントサーバーから印刷ジョブを取り込むことができます。

1 **NetWareアドミニストレータで、プリンタを作成するコンテナオブジェクトを選択し、［オブジェクト］メニューから［作成］を選択します。**

［新しいオブジェクトクラス］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［新しいオブジェクトクラス］一覧で、［プリントキュー］を選択し、［OK］をクリックします。**

［プリントキューの作成］ダイアログボックスが表示されます。

3 **［ディレクトリサービスキュー］を選択し、［プリントキュー名］ボックスにプリントキューの名前を入力します。**

4 **［プリントキューボリューム］ボックスの隣にある［参照］をクリックします。**

［オブジェクトの選択］ダイアログボックスが表示されます。

5 **プリントキューを作成するボリュームを選択し、［OK］をクリックします。**

6 **［作成］をクリックします。**

プリントキューが作成されます。

7 **［オブジェクト］メニューから［作成］を選択します。**

［新しいオブジェクトクラス］ダイアログボックスが表示されます。

8 **［新しいオブジェクトクラス］一覧で、［プリンタ］を選択し、［OK］をクリックします。**

［プリンタの作成］ダイアログボックスが表示されます。

9 **プリンタ名を入力し、［作成後に詳細を設定］チェックボックスをオンにしたら、［作成］をクリックします。**

10 **［割り当て］画面を表示し、［追加］をクリックします。**

［オブジェクトの選択］ダイアログボックスが表示されます。

11 **作成したキューを選択し、［OK］をクリックします。**

12 **［環境設定］画面を表示し、［プリンタタイプ］ボックスで［その他/不明］を選択し、［OK］をクリックします。**

プリンタが作成されます。

13 **［オブジェクト］メニューから［作成］を選択します。**

［新しいオブジェクトクラス］ダイアログボックスが表示されます。

14 **［新しいオブジェクトクラス］一覧で、［プリントサーバ］を選択し、［OK］をクリックします。**

［プリントサーバーの作成］ダイアログボックスが表示されます。

15 プリントサーバー名を入力し、［作成後に詳細を設定］チェックボックスをオンにしたら、［作成］をクリックします。

プリントサーバー名には、「MFP_＜NICのシリアル番号＞」を入力します。本機NICのシリアル番号は、コントロールパネルからの操作で印刷されるNIC設定ページで確認することができます。

16 ［割り当て］画面を表示し、［追加］をクリックします。

［オブジェクトの選択］ダイアログボックスが表示されます。

17 作成したプリンタを選択し、［OK］をクリックします。

18 ［OK］をクリックします。

プリントサーバーが作成されます。

■ NDPSモードでのNetWareプリントサーバー設定

本機は、TCP/IPまたはIPXプロトコルが起動しているNetWare 6.5ネットワークを経由した印刷をサポートしています。単なるIP印刷には、本機はNDPS（Novell Distributed Print Services）の機能を利用します。

注 意

新しいNDPSオブジェクトを作成するには、ネットワークに対する管理者の権利を有している必要があります。

NDPSは、キューベース以前のNetWare印刷とは異なり、NDPSマネージャやプリンタエージェントを使ってタスクを管理します。また、各Windowsクライアントにてポイントアンドプリントでダウンロードできるように、NDPSブローカーを使用してプリンタドライバをNetWareプリントサーバーにアップロードすることもできます。

NDPSモードでのNetWareプリントサーバーを設定する前に、以下をご確認ください。

- Windows Vistaをクライアントコンピュータに使用する場合は、NetWare 6.5サポートパック8がインストールされていること。
- TCP/IP環境で使用する場合は、本機および、本機で印刷を実行する各コンピュータに有効なIPアドレスが設定されていること。
- TCP/IP環境で使用する場合は、本機のセットアップにおいて、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが入力されていること。
- Novell iPrintを有効にするには、あらかじめNovell iManagerがインストールされている必要があります。Novell iManagerのインストール方法については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。
- iPrintクライアントがインストールされていること。
  📖 P.24 「Novell iPrintのインストール」

□ NDPSの設定

1 **ブラウザのアドレス欄に「https://<IPアドレス>/nps/iManager.html」を入力し、iManagerを開きます。**

2 **ユーザ名、パスワードおよびTreeを入力し、Novell iManagerにログインします。**

3 **Roles and Tasksで［iPrint］をクリックし、［Create Broker］を選択します。**
Broker の作成画面が表示されます。

補 足

NetWareプリントサーバーをNDPSサービスのサポートとしてすでにインストールしてある場合は、NDPSブローカーがデフォルトで作成されます。この場合は、そのデフォルトNDPSブローカーを使用することができます。

4 **［Broker name］および［RMS volume］オプションを設定し、［OK］をクリックします。**
NDPS Broker が作成されます。

5 **Roles and Tasksで［iPrint］をクリックし、［Create Print Manager］を選択します。**
Print Manager の作成画面が表示されます。

6 **［Print Manager name］および［Database volume］オプションを設定し、［OK］をクリックします。**
NDPS Manager が作成されます。

7 **［Manage Broker］を選択します。**
NDPS Broker の選択画面が表示されます。

8　**［NDPS Broker name］に作成し使用するBroker を設定し、［OK］をクリックします。**

注 意

Broker のステータスがActiveでない場合は［Startup］をクリックして、Brokerをロードしてください。

9　**［RMS Drivers］タブを選択します。**

OSの一覧のタブが表示されます。

注 意

Broker が起動していない場合は、リソースの追加を操作することはできません。［RMS Drivers］タブが使用できない場合は、Broker の状態がActiveになっていることを確認してください。

10　**一覧から適用するOSのタブを選択します。**

現在インストールされているDriverが表示されます。

11　**［Add From File］をクリックします。**

［プリンタドライバの選択］ダイアログボックスが表示されます。

12　**CD-ROMドライブにClient Utilities CD-ROMをセットします。**

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

13　**お使いのWindowsのバージョンに適合するプリンタドライバがあるディレクトリを検索し、INFファイルを選択します。**

- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
  - Universal Printerドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥UNI¥32bit
  - PS3プリンタドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥PS¥32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
  - Universal Printerドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥UNI¥64bit
  - PS3プリンタドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥PS¥64bit

14　**［OK］をクリックします。**

DriverのリストにインストールしたDriverが追加されます。

15　**お使いのオペレーティングシステムに複数のプリンタドライバをインストールする場合は、手順11～14を繰り返します。**

16　**［Apply］または［OK］をクリックして設定を保存します。**

［NDPSブローカー］ダイアログボックスに戻ります。

17　**［Manage Print Manager］を選択します。**

NDPS Manager の選択画面が表示されます。

18　**［NDPS Manager name］に作成し使用するBroker を設定し、[OK］をクリックします。**

注 意

Manager のステータス がActiveでない場合は［Startup］をクリックして、Managerをロードしてください。

19　**使用する接続タイプに応じ、下記を参照して設定を続けます。**

P.23 「LPR接続の設定」
P.23 「キューベース接続の設定」

□ LPR接続の設定

1 **［Create Printer］を選択します。**
Printer作成画面が表示されます。

2 **［Printer name］および［Print Manager name］オプションを設定し、［Gateway Type］一覧から［Novell Gateway］を選択したら、［Next］をクリックします。**
Novell Gatewayの設定画面が表示されます。

3 **［Host IP address］に本機のIPアドレス、［LPR Printer name］のPORT_PASSTHROUGHを設定したら、［Next］をクリックします。**
Driverの選択画面が表示されます。

4 **各OSタブの［プリンタドライバ］一覧からインストールするプリンタドライバを選択し、［Next］をクリックします。**
プリンタが正常に作成されたことを示す画面が表示されます。

5 **[OK]をクリックします。**

□ キューベース接続の設定

1 **［Management Printer］を選択します。**

2 **［NDPS Printer name］に本機用に作成したPrinterを選択し、［OK］をクリックします。**

注 意

事前にLPR接続でPrinterを作成しておいてください。

3 **［Client Support］タブを選択します。**
クライアントのサポート情報が表示されます。

4 **［QMS Support］を選択します。**

5 **［Add］をクリックします。**
キューを選択するダイアログボックスが表示されます。

6 **使用するNDSキューを選択し、［OK］をクリックします。**
キューのリストに選択したキューが表示されます。

注 意

事前にNDSキューを作成しておいてください。

7 **［Apply］または［OK］をクリックして設定を保存します。**

■ Novell iPrintの設定

本機はNovell iPrintをサポートしています。Novell iPrintを利用すると、クライアントコンピュータからURLでアクセスできるプリンタをセットアップすることができます。
Novell iPrintは、NDPSアーキテクチャをベースとしていますので、使用する前にNetWareプリントサーバーへNDPSをインストールしておく必要があります。

Novell iPrintを設定する前に、以下の事項を確認してください。

- NDPSブローカー、NDPSマネージャ、およびNDPSプリンタがすでに作成されていること。
  P.21 「NDPSの設定」
- Novell iManagerがインストールされていること。
  Novell iManagerの詳細については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。

Novell iPrintシステムをセットアップするには、以下の手順で設定を行います。

1. Novell iPrintをインストールする
   P.24 「Novell iPrintのインストール」
2. プリントサービスマネージャでDNSを有効にする
   P.24 「DNSの有効化」
3. iPrintサービスを有効にする
   P.25 「Novell iPrintの有効化」

□ Novell iPrintのインストール

1 **「http：//［NetWare serverのIPアドレス］/ipp」からiPrint Clientをインストールします。**

□ DNSの有効化

プリントサービスマネージャでDNSを有効にする前に、DNSサーバーにプリントサービスマネージャのDNS名を登録してください。
DNSサーバーへの登録が完了したら、以下の手順に従いプリントサービスマネージャでDNSを有効にします。

1 **サーバーコンソール画面で、以下のコマンドを入力します。**

```
NDPSM <NDPSマネージャ名> /dnsname=<NDPSマネージャ DNS名>
```

□ Novell iPrintの有効化

プリントサービスマネージャでDNSを有効にしたら、Novell iManagerを使用してNovell iPrintを有効にします。

注意

- Novell iPrintを有効にするには、あらかじめNovell iManagerがインストールされている必要があります。Novell iManagerのインストール方法については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。
- Novell iManagerにアクセスするには、以下のブラウザを使用する必要があります。サポートするブラウザは、インストールされているNovell iManagerのバージョンによって異なります。
  Novell iManager 1.5.2の場合
  - Microsoft Internet Explorer 5.5以降（推奨）
  - Netscape 6.2以降

  Novell iManager 2.0.xの場合
  - Microsoft Internet Explorer 6 SP1以降（推奨）
  - Netscape 7.1以降
  - Mozilla 1.4以降

1 **ブラウザのアドレス欄に「https://<IPアドレス>/nps/iManager.html」を入力し、iManagerを開きます。**

2 **ユーザ名、パスワードおよびTreeを入力し、Novell iManagerにログインします。**

3 **Roles and Tasks の［iPrint］をクリックし、［Manage Printer］をクリックします。**

4 **本機用に作成したプリンタを選択します。**

5 **［OK］をクリックします。**

6 **［Client Support］をクリックし、［iPrint Support］をクリックします。**

7 **［Enable iPrint support］チェックボックスをオンにします。**

8 **セキュア印刷を行う場合は、［Enable secure printing］チェックボックスをオンにします。**
このオプションを有効にすると、印刷時にeDirectoryを使用したユーザ名およびパスワードの入力が必要になります。

9 **［Apply］または［OK］をクリックして設定を保存します。**

2

おすすめインストール

おすすめインストール手順について説明します。

おすすめインストール手順

WindowsコンピュータにUniversal Printerドライバとその他のクライアントソフトウェアをインストールする場合は、おすすめインストールの手順でソフトウェアをインストールしてください。

注 意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。

- CD-ROMの「e-STUDIO」フォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
- [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい]([OK]) をクリックします。

1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、CD-ROMの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。

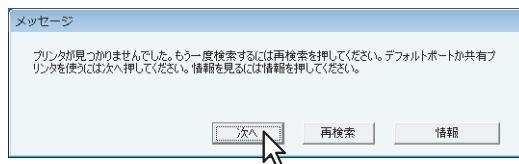
メインメニューが表示されます。

3 [おすすめ] をクリックします。

4 インストールするソフトウェアを確認し、［インストール］をクリックします。

AddressBook Viewerまたはファイルダウンローダ（File Downloader）はインストールするフォルダを変更できます。［参照］をクリックして［フォルダの参照］ダイアログボックスが表示されたら、インストール先のフォルダを選択して［OK］をクリックします。

注 意

- 以下のメッセージが表示された場合は、［次へ］をクリックします。

  以下のセクションの手順7以降を参照してインストールを続行してください。
  P.44 「本機が自動的に検出されなかった場合には」
- PS3プリンタドライバおよびXPSプリンタドライバをインストールする場合は、［カスタムインストール］または個別インストーラからインストールを行ってください。
  詳しくは、以下のセクションを参照してください。
  P.39 「プリンタドライバのインストール」

［SNMP設定］について

目的の東芝複合機と［SNMP設定］ダイアログボックスのSNMP設定が一致していないと、複合機を検出することができません。［SNMP設定］ダイアログボックスでSNMP設定が正しいことを確認し、必要であれば設定の変更を行ってください。
お使いの東芝複合機のSNMP設定については、管理者にお問い合わせください。

SNMPバージョンがV1およびV2の場合

1. お使いの東芝複合機に「private」（初期値）以外の SNMP コミュニティ名が設定されている場合は、［V1/V2］をクリックします。
2. SNMPコミュニティ名を変更します。
3. ［OK］をクリックします。

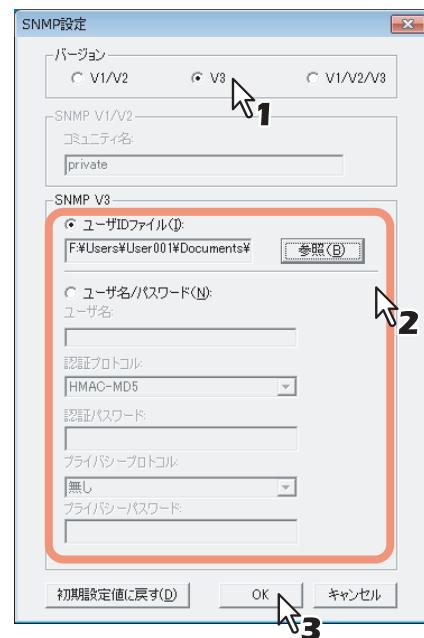
注 意

SNMP コミュニティ名を変更する場合は、以下のページを参照してください。
P.33 「SNMP設定変更時の注意事項」

SNMPバージョンがV3の場合

1. ［V3］をクリックします。
2. ユーザIDファイルを使用して認証を行う場合は、［参照］をクリックし、ユーザIDファイルを指定します。
   ユーザ認証情報を使用して認証を行う場合は、［ユーザ名/パスワード］をクリックし、必要な認証情報を入力します。

   注 意

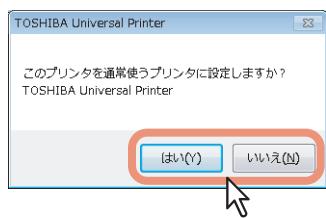
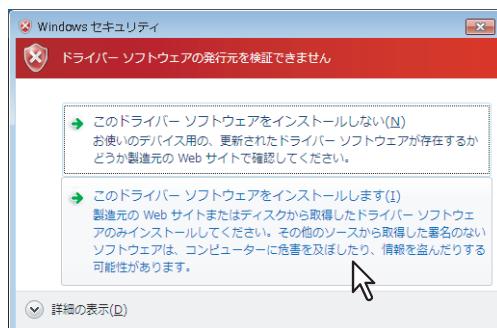
   - 事前に管理者から認証方法についての確認を行ってください。
   - SNMP設定を変更する場合は、以下のページを参照してください。
     P.33 「SNMP設定変更時の注意事項」
3. ［OK］をクリックします。

＊ お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1、V2、V3の場合は、上記設定の両方を行ってください。

5 検出されたプリンタがリストに表示されますので、本機を選択した後、［OK］をクリックします。

TCP/IPポートが作成されます。

6 インストールが開始されます。

注 意

- 以下のメッセージが表示された場合は、Universal Printer ドライバを標準で使用するプリンタドライバにする場合は［はい］を、そうしない場合は［いいえ］をクリックします。

- 以下のメッセージが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックしてインストールを続けてください。

7 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。

メインメニューが表示されます。

補 足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

8 [Exit] をクリックします。

インストール作業の終了を確認するメッセージが表示されますので、[はい] をクリックしてください。

注 意

インストールしたUniversal Printer ドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

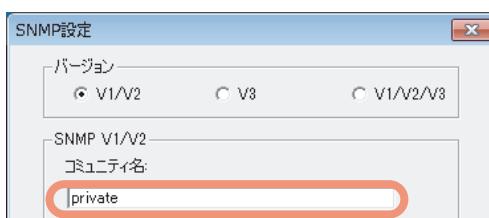
SNMP設定変更時の注意事項

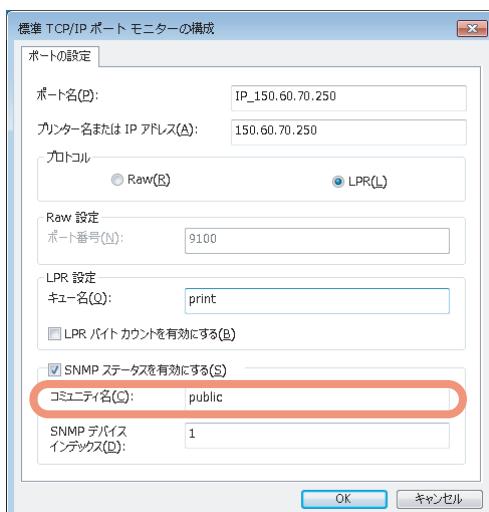
お使いの東芝複合機でコミュニティ名やユーザ情報などを使って認証を行っている場合、印刷ジョブやファクスジョブを正常に印刷または送信するには、以下のように複合機とお使いのコンピュータのSNMP設定が一致している必要があります。
SNMPバージョンなどの詳細は、管理者にお問い合わせください。

■ お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合

TCP/IP印刷ポートをご使用の場合は、下記項目1～3のSNMPコミュニティ名を確認してください。

1. お使いの複合機（例：リードコミュニティ「public」/リードライトコミュニティ「private」が設定されている場合）

2. ［SNMP設定］ダイアログボックス

複合機のリードライトコミュニティ名と同じコミュニティ名が入力されていることを確認してください。
間違ったリードライトコミュニティ名を入力すると、部門管理などいくつかの機能が使用できなくなりますので、ご注意ください。

3. プリンタドライバ／N/W-Faxドライバ［ポート］タブのTCP/IPポート

複合機のリードコミュニティ名と同じコミュニティ名が入力されていることを確認してください。

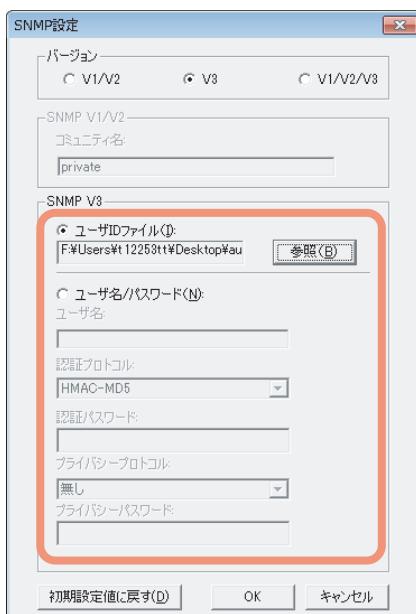
注 意

- SMB 印刷ポートをご使用の場合は、お使いの複合機のリードライトコミュニティ名と［SNMP 設定］ダイアログボックスのコミュニティ名が同じである必要があります。
- Client Utilities CD-ROMに収録されているアプリケーション（TWAINドライバ、ファイルダウンローダ、AddressBook Viewer）のSNMP設定もお使いの複合機の設定と合わせてください。SNMP設定が異なる場合、それらのアプリケーションは使用できなくなります。

■ お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合

下記項目1と2のSNMP設定を確認してください。

1. お使いの複合機のSNMP V3ユーザ情報

2. ［SNMP設定］ダイアログボックス

複合機のユーザ情報と同じ情報が入力されていることを確認してください。

注 意

Client Utilities CD-ROMに収録されているアプリケーション（TWAINドライバ、ファイルダウンローダ、AddressBook Viewer）のSNMP設定もお使いの複合機の設定と合わせてください。SNMP設定が異なる場合、それらのアプリケーションは使用できなくなります。

3

プリンタドライバのインストール（Windows）

Windows環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。

インストールする前に

クライアントソフトウェアをインストールする前に、以下を参照して適切なインストールを行ってください。

本機のプリンタドライバがすでにインストールされている場合

本機のプリンタドライバをアップデートする前に、現在お使いのプリンタドライバをすべて削除してください。

📖 P.114 「プリンタドライバのアンインストール」

■ プリンタドライバの種類

- **Universal Printerドライバ**：PCL6とPS3を統合したプリンタドライバです。お使いのアプリケーションの用途に合わせ幅広くお使いいただけます。
- **PS3プリンタドライバ**：ワープロや表計算などの一般的なアプリケーションやDTPに用いるようなPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。
- **XPS プリンタドライバ**：Windows Vista用に開発されたWPF（Windows Presentation Foundation）アプリケーションから印刷を行う場合に使用します。

補 足

- Universal Printerドライバは、印刷に使用するPDL（Page Description Language：ページ記述言語）を切り替えて使用することができます（「PCL6」⇔「PS3」）。また、e-STUDIO Seriesの他機種を利用し印刷することもできます。詳しくは、**印刷ガイド**を参照してください。
- XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7、またはXPS Essentials Packがインストールされている Windows XP SP2 / Windows Server 2003 SP1以降のコンピュータにインストールすることができます。
- Client Utilities CD-ROMには、印刷する際にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。このファイルはお使いのコンピュータの適切な場所にコピーして使用します。
  詳細は、以下のページを参照してください。
  📖 P.113 「Windows用PPDファイルのコピー」

■ 必要条件

Windowsコンピュータにプリンタドライバや他のクライアントソフトウェアをインストールするには、下記環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
  1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
  High Color（16ビット）以上を推奨
- **CPU**
  Pentium 133 MHz（Pentium 266 MHz以上を推奨）
- **メモリ**
  OSと同等の必要メモリ容量
- **OS**
  Windows XP Service Pack 2以降
  Windows Vista Service Pack 1以降
  Windows 7
  Windows Server 2003 Service Pack 2
  Windows Server 2008 Service Pack 1以降

■ インストール手順について

接続環境に適したインストール手順を下記から選択します。

Raw TCP/LPR 印刷

本機は、TCP/IPによるRaw TCPおよびLPR印刷をサポートしています。TCP/IPネットワークで本機と接続されている場合は、Raw TCP/LPR印刷をお勧めします。

📖 P.39 「プリンタドライバのインストール」

補 足

- Raw TCP接続で印刷を行うには、本機のRaw TCP印刷サービスが有効である必要があります。Raw TCP印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。Raw TCP印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。
- LPR接続で印刷を行うには、本機のLPD印刷サービスが有効である必要があります。LPD印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。LPD印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

SMB 印刷

本機では、「Microsoft用ファイルとプリンタ共有サービス」によるSMBプロトコルを利用して本機と接続することができます。ただし、大量文書の印刷には適していません。

📖 P.39 「プリンタドライバのインストール」
📖 P.87 「ポイントアンドプリント」

注 意

SMB印刷は小規模ネットワークで利用することを想定しています。Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2003、Windows Server 2008いずれかをプリントサーバーとして利用可能なネットワーク環境がある場合は、Windowsプリントサーバー経由で印刷することをお勧めします。

インターネット印刷

IPP印刷では、インターネットを経由して本機で印刷することができます。遠隔地から印刷したいときに利用することができます。

📖 P.89 「IPP印刷」

補 足

IPP印刷を行うには、本機のIPP印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。IPP印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

Novell印刷

NetWare 6.5を使用し、TCP/IPまたはIPX/SPXを経由して印刷を管理する場合、Windows XP、Windows Server 2003からNetWareプリントサーバーを経由して印刷を実行することができます。この場合、NetWareプリントサーバーに作成されたプリントキューにSMB接続をセットアップしてプリンタドライバをインストールします。

📖 P.39 「プリンタドライバのインストール」

補 足

Novell印刷を行うには、本機のNetWare印刷サービスが有効であり、NetWareプリントサーバーにプリントキューが作成されている必要があります。本機のNetWare印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。NetWare印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

Novell iPrint印刷

本機がTCP/IP環境で接続されておりNetWare 6.5のiPrintサービスがセットアップされている場合は、NetWareプリントサーバーを経由してWindows XP、Windows Server 2003から印刷することができます。この場合は、iPrint Clientを使用してNetWareプリントサーバーからプリンタドライバをインストールします。

📖 P.102 「Novell iPrint印刷」

補 足

Novell iPrint印刷を行うには、本機のNetWare印刷サービスが有効であり、NetWareプリントサーバーでNovell iPrintが設定されている必要があります。本機のNetWare印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。NetWare印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

Web Serviceプリント

本機がTCP/IP環境で接続されている場合、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008搭載のWeb Serviceプリント機能を利用して印刷することができます。

📖 P.103 「Web Serviceプリント」

補 足

Web ServiceプリントはWindows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の機能です。

プリンタドライバのインストール

Windowsコンピュータへプリンタドライバをインストールします。

Client Utilities CD-ROMを使ったインストール方法には、次の2つがあります。

- Client Utilities CD-ROMのSoftware Installerを使用する
  Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入すると、Software Installerが自動的に起動します。このプログラムからプリンタドライバや他のクライアントソフトウェアをインストールすることができます。プリンタドライバだけでなく他のソフトウェアも同時にインストールする場合には、この方法をお勧めします。
  📖 P.39 「Software Installerを使ってインストールする」
- Client Utilities CD-ROMの個別インストーラを使用する
  Client Utilities CD-ROMには、Universal PrinterやPS3、XPSの各プリンタドライバを個別にインストールするためのセットアッププログラム（Setup.exe）が収録されています。お好みのプリンタドライバだけをインストールしたい場合には、この方法をお勧めします。
  📖 P.57 「個別インストーラを使ってインストールする」

■ Software Installerを使ってインストールする

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注 意

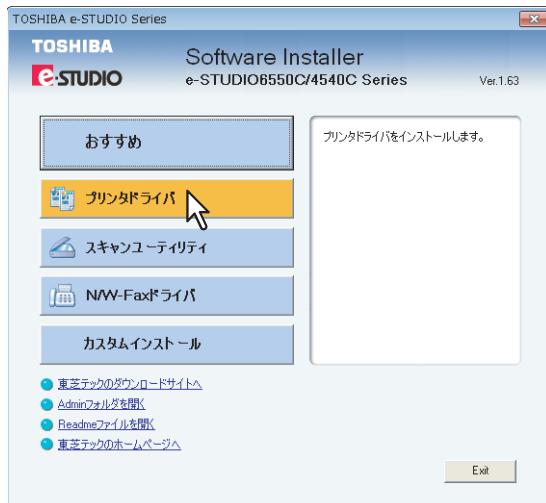
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
  なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。
  - CD-ROMの「e-STUDIO」フォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
  - ［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、［はい］（［OK］）をクリックします。
- 管理者権限のユーザで Windows にログオンした場合にも［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、［続行］などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、CD-ROMの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 ［使用許諾契約の全条項に同意します。］を選択し、［次へ］をクリックします。

メインメニューが表示されます。

3 ［プリンタドライバ］または［カスタムインストール］をクリックします。

プリンタドライバ：Universal Printerドライバをインストールします。このメニューを選択した場合は、手順5にお進みください。
カスタムインストール：インストールしたいプリンタドライバ、およびユーティリティを選択できます。このメニューを選択した場合は、手順4にお進みください。

注 意

PS3プリンタドライバおよびXPSプリンタドライバをインストールする場合は、［カスタムインストール］または個別インストーラからインストールを行ってください。
P.57 「個別インストーラを使ってインストールする」

4 手順3で「カスタムインストール」を選択した場合は、インストールするソフトウェアを選択し、［次へ］をクリックします。

以下のプリンタドライバをインストールできます。
- TOSHIBA Universal Printer
- TOSHIBA e-STUDIO Series PS3
- TOSHIBA e-STUDIO Series XPS

補 足

ダイアログボックスには、上記のプリンタドライバのほかにスキャン用ソフトウェアやファクス用ソフトウェアが表示されます。必要に応じて、これらもここでインストールすることができます。

5 インストールするソフトウェアを確認し、［インストール］をクリックします。

インストールが開始されます。

補 足

- XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7、またはXPS Essentials PackがインストールされているWindows XP SP2 / Windows Server 2003 SP1以降のコンピュータへインストールすることができます。
- 目的の東芝複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下のセクションの手順4を参照してください。
  📖 P.28 「おすすめインストール手順」

6 プリンタドライバの印刷ポートを設定します。

印刷ポートの設定手順は、接続環境によって異なります。接続環境に応じて以下の項目を参照してください。

📖 P.42 「Raw TCP/LPR印刷」
📖 P.52 「SMB印刷」
📖 P.54 「Novell印刷」

□ Raw TCP/LPR印刷

Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注 意

設定を行う前に、以下のことを確認してください。
- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが本機およびお使いのコンピュータで正しく設定されていること。

本機を自動的に検出する

ネットワーク上の本機を自動的に検出してプリンタドライバをインストールすることにより、Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注 意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。以下の操作を行って、設定を続行してください。
- 本機を再検索する場合は、［再検索］をクリックします。
- ［SNMP設定］ダイアログボックスで指定したSNMP設定が正しいかを確認してください。
- 暫定的にローカルポートを選択し、その後にRaw TCP/LPR印刷のポートを設定する場合は、［次へ］をクリックします。以降の設定手順は、下記の項目を参照してください。
  P.44 「本機が自動的に検出されなかった場合には」

7 検出されたプリンタがリストに表示されますので、本機を選択した後、［OK］をクリックします。

TCP/IPポートが作成されます。

補 足

- Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。
- 通常使うプリンタの設定を確認するダイアログボックスが表示された場合は、[はい]または[いいえ]をクリックしてください。

- [Windows セキュリティ]ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックしてください。

8 インストールの完了を確認し、[終了]をクリックします。

補 足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]をクリックしてください。

9 [Exit]をクリックします。

インストールの終了を確認するダイアログボックスが表示されますので、[はい]をクリックしてください。

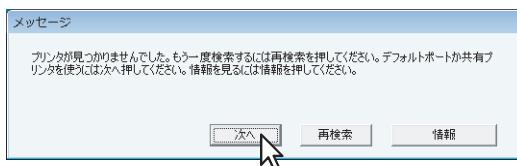
注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

本機が自動的に検出されなかった場合には

ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、暫定的にローカルポートを選択してプリンタドライバをインストールし、その後にRaw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注 意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。[次へ] をクリックし、設定を続行してください。

7 [ローカルポート] および「LPT1:」を選択し、[OK] をクリックします。

補 足

- 通常使うプリンタの設定を確認するダイアログボックスが表示された場合は、[はい] または [いいえ] をクリックしてください。

- [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。

8 インストールの完了を確認し、［終了］をクリックします。

補 足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックしてください。

9 ［Exit］をクリックします。

インストールの終了を確認するダイアログボックスが表示されますので、［はい］をクリックしてください。

10 プリンタフォルダを開きます。

- Windows 7をお使いの場合
  ［スタート］→［デバイスとプリンター］をクリックして、［デバイスとプリンター］フォルダを開きます。

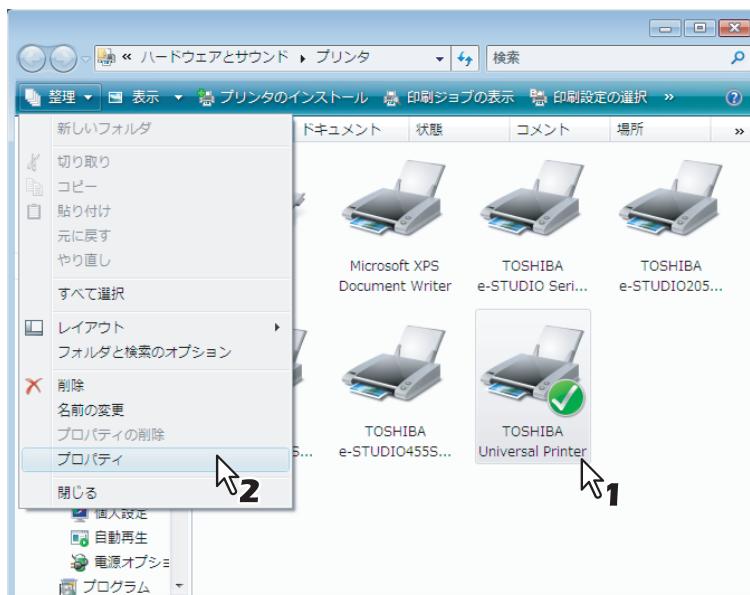
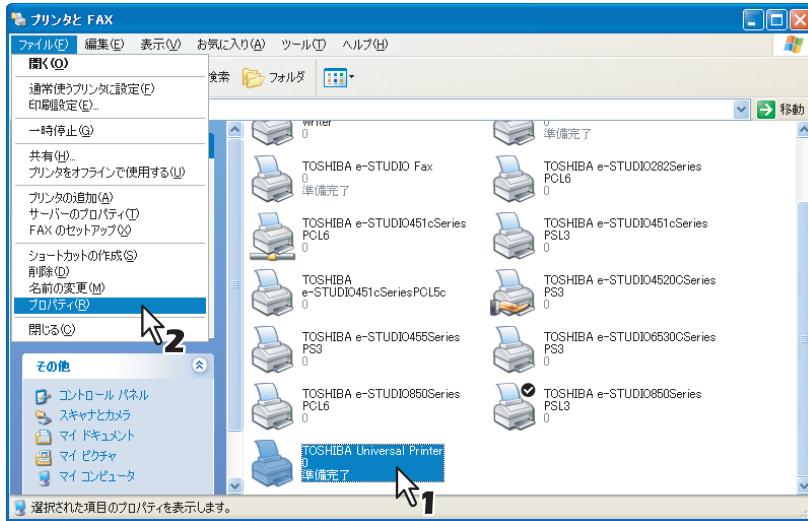
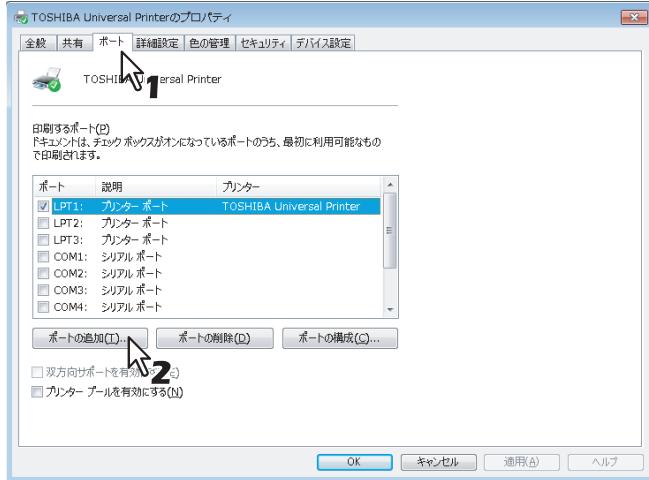
- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
  ［スタート］→［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］メニューの［プリンタ］の順にクリックして、［プリンタ］フォルダを開きます。

⇒

- Windows XP / Windows Server 2003をお使いの場合
  ［スタート］→［プリンタとFAX］をクリックして、［プリンタとFAX］フォルダを開きます。

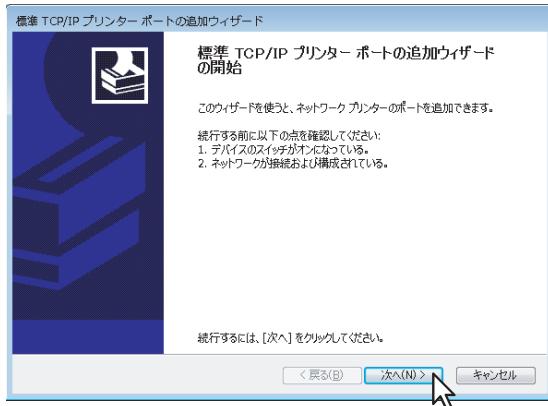
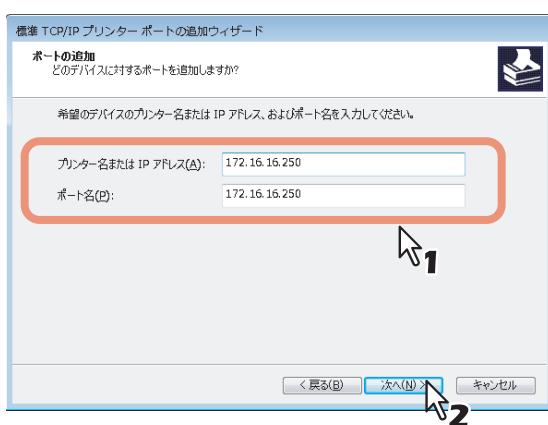
11 インストールしたプリンタドライバのプロパティを表示します。

- Windows 7をお使いの場合
  インストールしたプリンタドライバを選択し、右クリックメニューから［プリンターのプロパティ］をクリックします。

- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
  インストールしたプリンタドライバを選択し、［整理］メニュー→［プロパティ］を選択します。

- Windows XP / Windows Server 2003をお使いの場合
  インストールしたプリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

12 ［ポート］タブを選択し、［ポートの追加］をクリックします。

［プリンタポート］ダイアログボックスが表示されます。

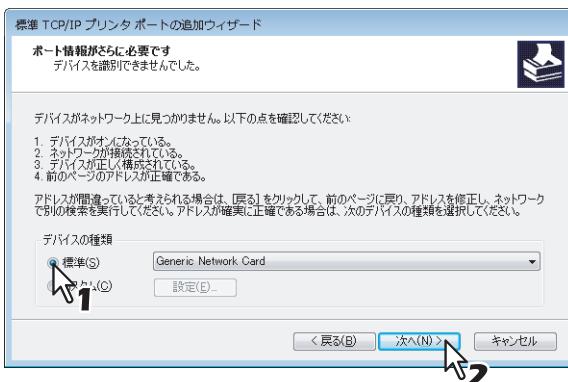
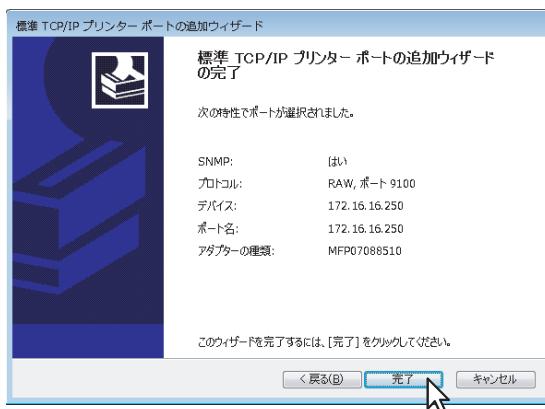
13 ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

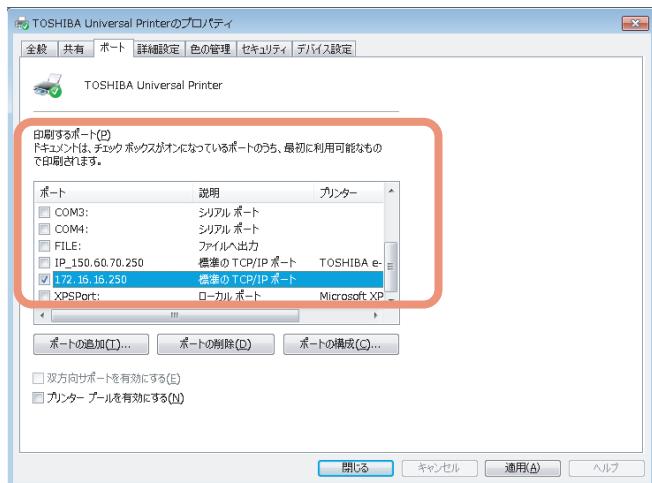
14 ［次へ］をクリックします。

15 ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスに本機のIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

- ネットワークがDNSまたはWINSサーバーを使用している場合、［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスには、DNSまたはWINSサーバーが提供する本機の装置名を入力します。
- ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力すると、［ポート名］ボックスには自動的にポート名が入力されます。なお、Windows XP / Windows Server 2003の場合は、先頭に“IP_”が表示されます。
- IPv6環境の場合は、IPv6のアドレスを入力してください。

注 意

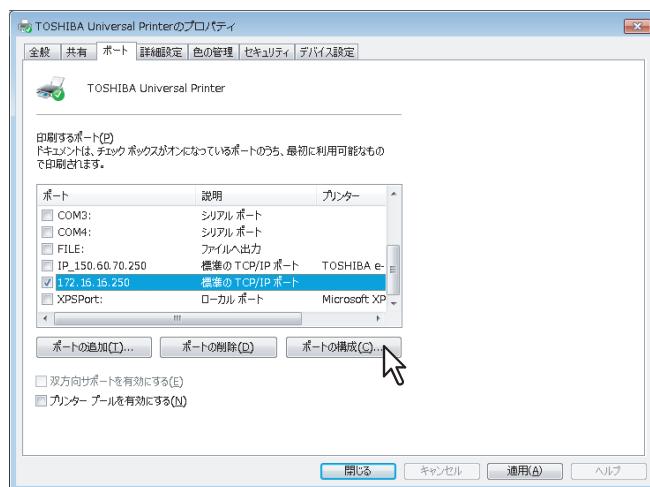
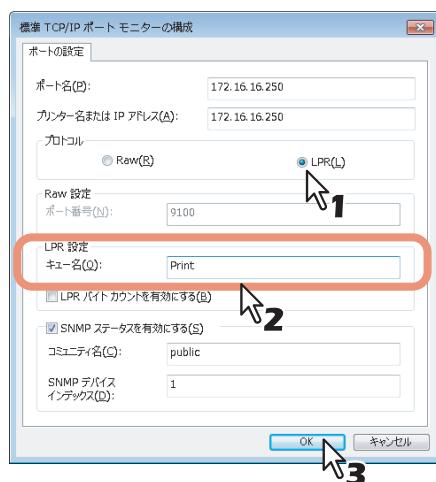
- Windows XP / Windows Server 2003の場合は、以下の画面が表示されることがあります。［標準］を選択し、［次へ］をクリックしてください。

- Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合は、以下の画面が表示されることがあります。［標準］を選択し、［次へ］をクリックしてください。

16 ［完了］をクリックします。

［プリンタポート］ダイアログボックスに戻ります。

17 ［閉じる］をクリックし、［プリンタポート］ダイアログボックスを閉じます。

18 ［印刷するポート］リストにて、作成したRaw TCPポートがチェックされていることを確認します。

補 足

LPD印刷サービスが有効になっている場合は、LPR印刷を利用することもできます。LPR印刷を設定する場合は、以下の手順で設定してください。

1. ［ポートの構成］をクリックします。

2. ［プロトコル］で［LPR］を選択して、［LPR設定］の［キュー名］ボックスへ「Print」と入力し、［OK］をクリックします。

19 ［適用］をクリックします。

20 ［OK］をクリックし、設定を保存します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

□ SMB印刷

SMB印刷ポートを手動で指定してプリンタドライバをインストールします。

注 意

- SMB印刷は、小規模ネットワークでの利用することを想定しています。Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2003、Windows Server 2008のいずれかをプリントサーバーとして利用可能なネットワーク環境がある場合は、Windowsプリントサーバー経由で印刷することをお勧めします。
- 設定を行う前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていること確認してください。
- インストール開始後、ネットワーク上のプリンタが検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。［次へ］をクリックし、設定を続行してください。

7 ［参照］をクリックします。

［プリンタの参照］ダイアログボックスが表示されます。

補 足

- 本機のIPアドレスまたは装置名称があらかじめ分かっている場合は、［参照］をクリックする代わりに、キーボードからの直接入力により印刷ポートを指定することができます。［選択された印刷ポート］ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力し、手順9へ進んでください。
  ￥￥<IPアドレスまたは装置名称>￥print
- Windows 7やWindows Vistaなどをお使いの場合、ネットワーク環境により［参照］から本機のポートを参照できないことがあります。この場合には、［選択された印刷ポート］ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力し、手順9へ進んでください。
  ￥￥<IPアドレスまたは装置名称>￥print

8 本機の「print」を選択し、[OK] をクリックします。

注 意

「univ」または「ps3」を選択しないでください。これらを選択すると、印刷ジョブが正常に実行されないことがあります。

9 [OK] をクリックします。

補 足

- 通常使うプリンタの設定を確認するダイアログボックスが表示された場合は、[はい] または [いいえ] をクリックしてください。

- [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。

10 インストールの完了を確認し、[終了]をクリックします。

補 足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]をクリックしてください。

11 [Exit]をクリックします。

インストールの終了を確認するダイアログボックスが表示されますので、[はい]をクリックしてください。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

□ Novell印刷

Novell印刷用の印刷ポートを設定します。

注 意

- NetWareプリントサーバーにアクセスするための権限が必要です。
- インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。[次へ]をクリックし、設定を続行してください。

7 ［選択された印刷ポート］にキュー名を入力し、［OK］をクリックします。

- NDS/NDPSモードの場合

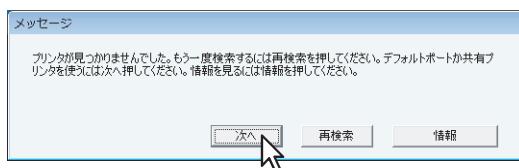
  例：ルート=Org　コンテキスト=dept1　キュー名=mfp_queue

  ￥￥Org￥mfp_queue.dept1

- バインダリモードの場合

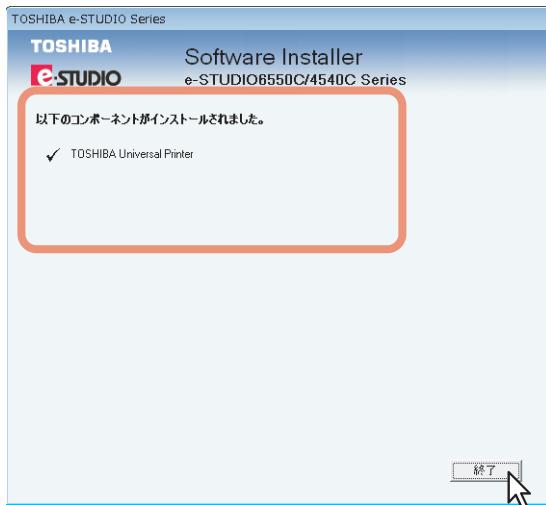
  例：NetWareプリントサーバー名=Nwsrv　キュー名=mfp_queue

  ￥￥Nwsrv￥mfp_queue

注 意

本機のキューは管理者によって作成されています。本機のキューが不明の場合は、管理者にお問い合わせください。

補 足

以下のメッセージが表示された場合は、メッセージに表示されたプリンタドライバを標準で使用するプリンタドライバにする場合は［はい］を、そうしない場合は［いいえ］をクリックします。

8 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。

メインメニューが表示されます。

補 足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

9 [Exit] をクリックします。

インストール作業の終了を確認するメッセージが表示されますので、[はい] をクリックしてください。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

■ 個別インストーラを使ってインストールする

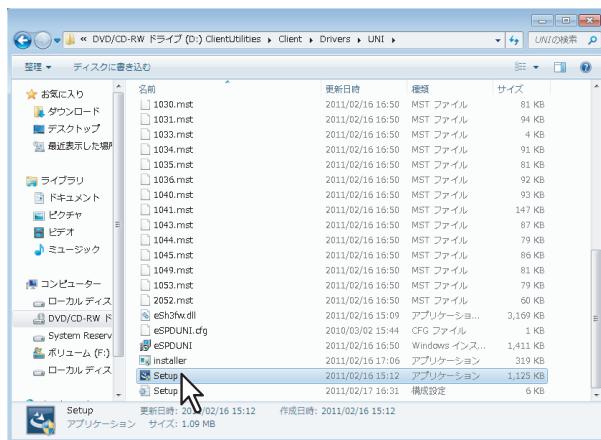
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

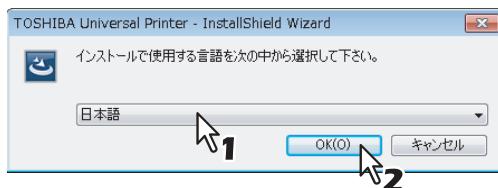
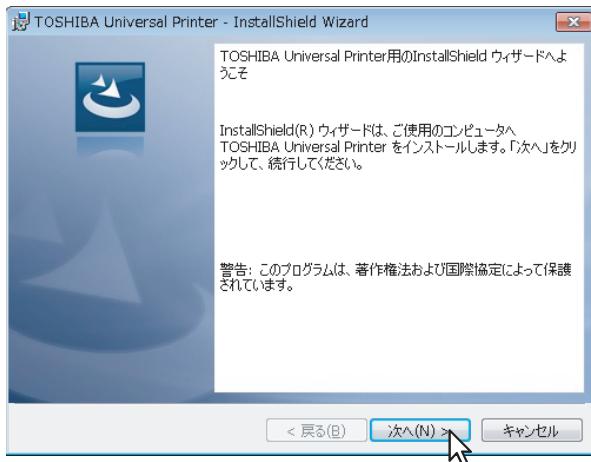
注 意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
  なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。
  - CD-ROMに収録されている目的のプリンタドライバのフォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
  - ［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、［はい］（［OK］）をクリックします。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、［続行］などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

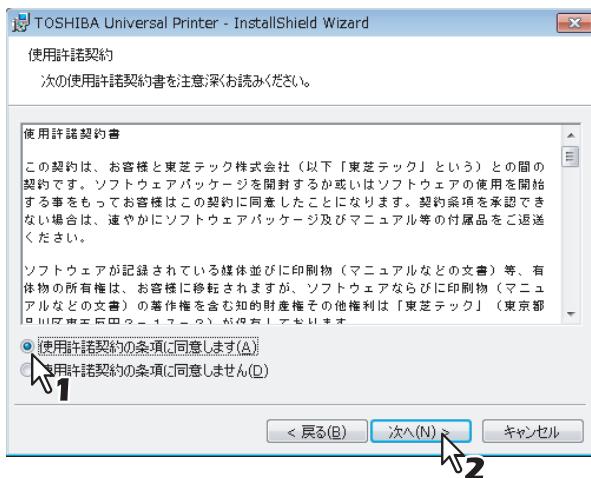
1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

2 セットアッププログラムがあるフォルダを開き、「Setup.exe」ファイルをダブルクリックします。

- 言語選択のウィンドウが表示されます。
- プリンタドライバのセットアッププログラムは、次のフォルダに収録されています。
  - Universal Printerドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥UNI
  - PS3プリンタドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥PS
  - XPSプリンタドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥XPS

3 使用する言語を選択し、［OK］をクリックします。

ようこそ画面が表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。

使用許諾契約の画面が表示されます。

5 ［使用許諾契約の条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

［ポートの選択］ウィンドウが表示されます。

6 プリンタドライバの印刷ポートを設定します。

印刷ポートの設定手順は、接続環境によって異なります。以降の手順は、それぞれの接続環境の説明に進んでください。

📖 P.59 「Raw TCP/LPR印刷」
📖 P.71 「SMB印刷」
📖 P.75 「Novell印刷」

□ Raw TCP/LPR印刷

Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

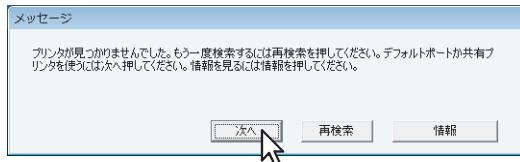
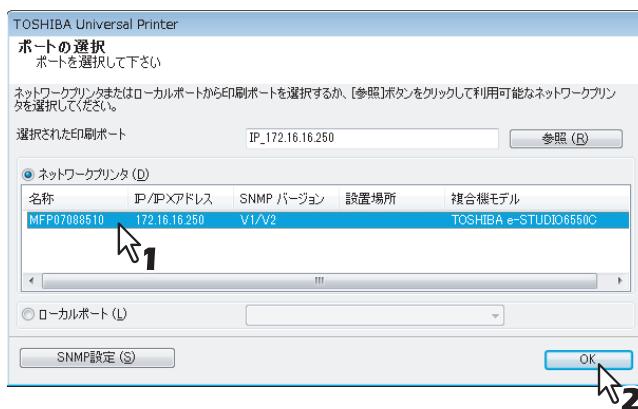
注 意

設定を行う前に、以下のことを確認してください。
- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが本機およびお使いのコンピュータで正しく設定されていること。

本機を自動的に検出する

ネットワーク上の本機を自動的に検出してプリンタドライバをインストールすることにより、Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注 意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。以下の操作を行って、設定を続行してください。
- 本機を再検索する場合は、［再検索］をクリックします。
- ［SNMP設定］ダイアログボックスで指定したSNMP設定が正しいかを確認してください。
- 暫定的にローカルポートを選択し、その後にRaw TCP/LPR印刷のポートを設定する場合は、［次へ］をクリックします。以降の設定手順は、下記の項目を参照してください。
  📖 P.62「本機が自動的に検出されなかった場合には」

7 検出されたプリンタがリストに表示されますので、本機を選択した後、［OK］をクリックします。

TCP/IPポートが作成され、［プラグインの選択］ウィンドウが表示されます。

補 足

- Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。
- 目的の東芝複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下のセクションの手順4を参照してください。
  📖 P.28「おすすめインストール手順」

8 **表示されたプラグインを確認します。不要なプラグインがある場合は、その機能のチェックボックスをオフにし、［次へ］をクリックします。**

以下のプラグインをインストールするかを選択できます。チェックボックスをオフにした機能は、プリンタドライバのプロパティ画面に表示されなくなります。

- ［挿入］タブ
- ［画質］タブ
- ［効果］タブ
- テンプレート
- プリンタの追加
- タンデム印刷

各プラグインの詳細は、**印刷ガイド**を参照してください。

補 足

- インストーラの［おすすめ］、［プリンタドライバ］または［カスタムインストール］メニューからプリンタドライバをインストールする場合には、［プラグインの選択］ウィンドウは表示されません。プリンタドライバのインストール時に、すべてのプラグインが自動的にインストールされます。
- プラグインのインストールは、別途行うこともできます。詳細は、以下のページを参照してください。
  📖 P.110「プラグインのインストール」

9 **［インストール］をクリックします。**

インストールが開始されます。

補 足

- 通常使うプリンタの設定を確認するダイアログボックスが表示された場合は、［はい］または［いいえ］をクリックしてください。

- ［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックしてください。

- XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7、またはXPS Essentials Packがインストールされている Windows XP SP2 / Windows Server 2003 SP1以降のコンピュータへインストールすることができます。

10 ［InstallShieldウィザードを完了しました］と表示されたら、［完了］をクリックします。

補 足

- コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックしてください。
- インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

本機が自動的に検出されなかった場合には

ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は､暫定的にローカルポートを選択してプリンタドライバをインストールし、その後にRaw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注 意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。［次へ］ をクリックし、設定を続行してください。

7 ［ローカルポート］および「LPT1:」を選択し、［OK］をクリックします。

［プラグインの選択］ウィンドウが表示されます。

8 **表示されたプラグインを確認します。不要なプラグインがある場合は、その機能のチェックボックスをオフにし、［次へ］をクリックします。**

以下のプラグインをインストールするかを選択できます。チェックボックスをオフにした機能は、プリンタドライバのプロパティ画面に表示されなくなります。

- ［挿入］タブ
- ［画質］タブ
- ［効果］タブ
- テンプレート
- プリンタの追加
- タンデム印刷

各プラグインの詳細は、**印刷ガイド**を参照してください。

補 足

- インストーラの［おすすめ］、［プリンタドライバ］または［カスタムインストール］メニューからプリンタドライバをインストールする場合には、［プラグインの選択］ウィンドウは表示されません。プリンタドライバのインストール時に、すべてのプラグインが自動的にインストールされます。
- プラグインのインストールは、別途行うこともできます。詳細は、以下のページを参照してください。
  P.110「プラグインのインストール」

9 **［インストール］をクリックします。**

インストールが開始されます。

補 足

- 通常使うプリンタの設定を確認するダイアログボックスが表示された場合は、［はい］または［いいえ］をクリックしてください。

- ［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックしてください。

- XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7、またはXPS Essentials PackがインストールされているWindows XP SP2 / Windows Server 2003 SP1以降のコンピュータへインストールすることができます。

10 **［InstallShieldウィザードを完了しました］と表示されたら、［完了］をクリックします。**

補 足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックしてください。

11 プリンタフォルダを開きます。

- Windows 7をお使いの場合

  ［スタート］→［デバイスとプリンター］をクリックして、［デバイスとプリンター］フォルダを開きます。

- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合

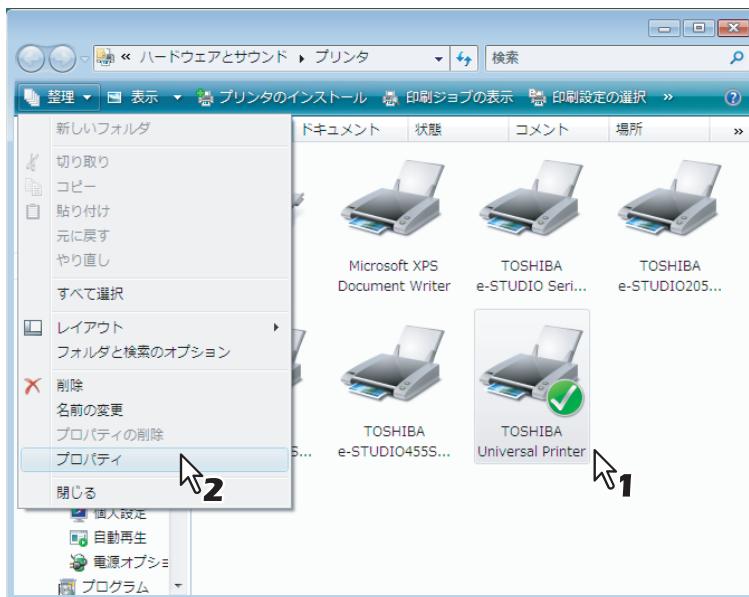
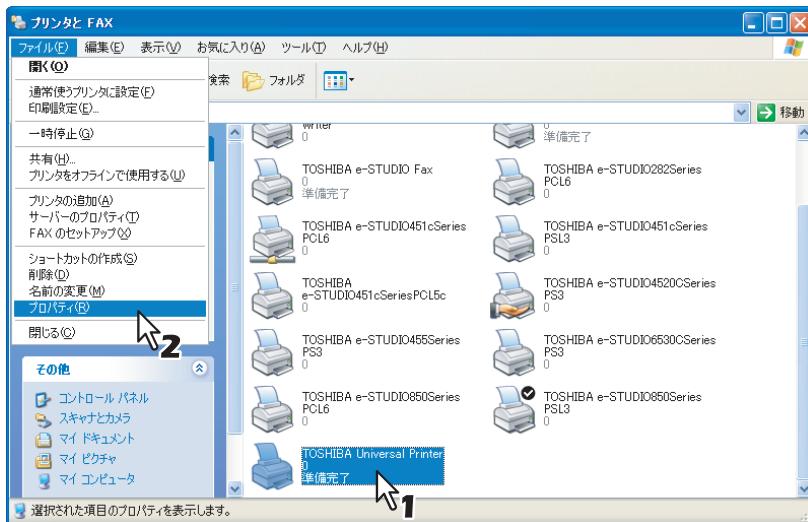
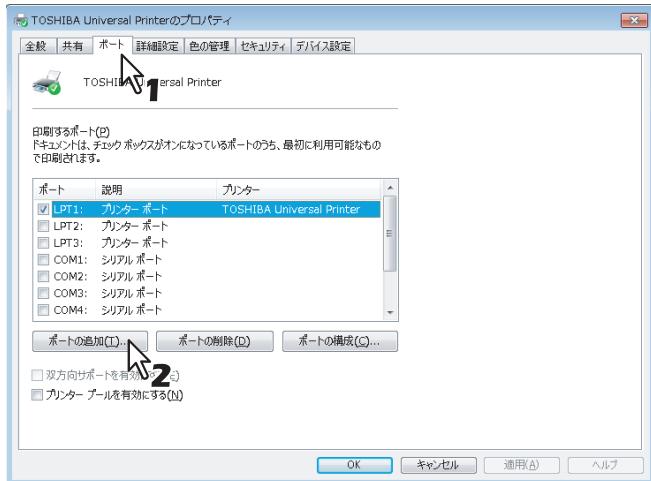
  ［スタート］→［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］メニューの［プリンタ］の順にクリックして、［プリンタ］フォルダを開きます。

- Windows XP / Windows Server 2003をお使いの場合

  ［スタート］→［プリンタとFAX］をクリックして、［プリンタとFAX］フォルダを開きます。

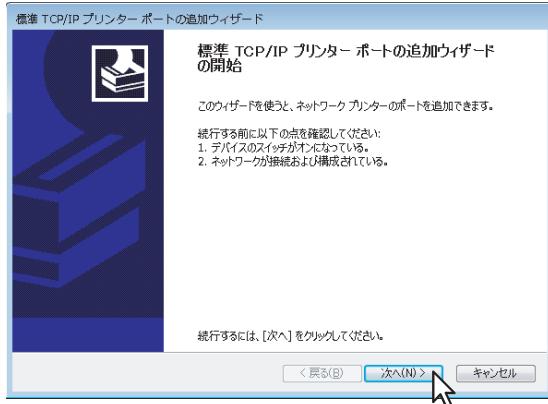
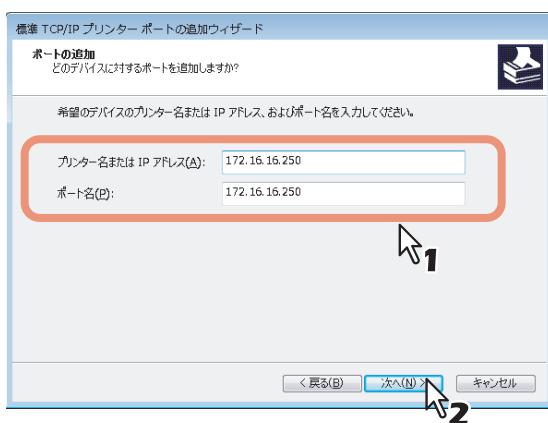
12 インストールしたプリンタドライバのプロパティを表示します。

- Windows 7をお使いの場合
  インストールしたプリンタドライバを選択し、右クリックメニューから［プリンターのプロパティ］をクリックします。

- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
  インストールしたプリンタドライバを選択し、［整理］メニュー→［プロパティ］を選択します。

- Windows XP / Windows Server 2003をお使いの場合
  インストールしたプリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

13 ［ポート］タブを選択し、［ポートの追加］をクリックします。

［プリンタポート］ダイアログボックスが表示されます。

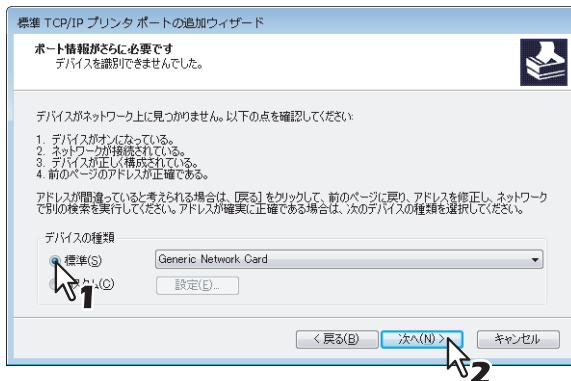
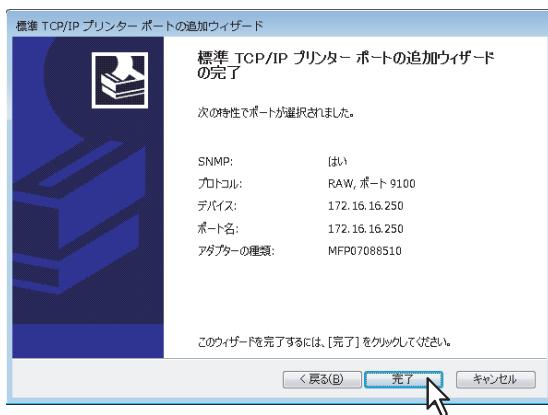
14 ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

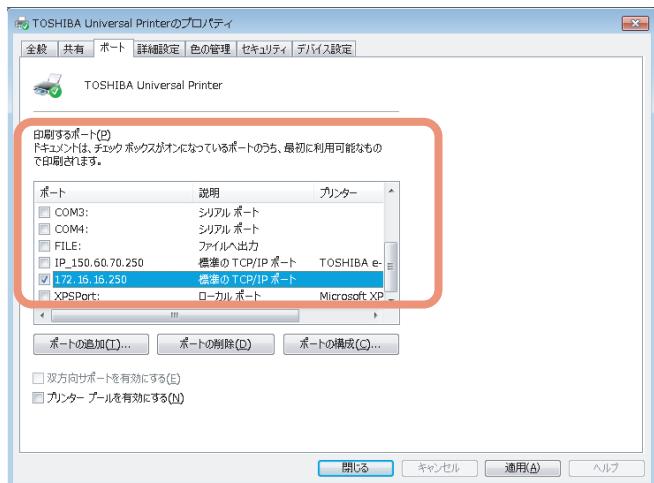
15 ［次へ］をクリックします。

16 ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスに本機のIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

- ネットワークがDNSまたはWINSサーバーを使用している場合、［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスには、DNSまたはWINSサーバーが提供する本機の装置名を入力します。
- ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力すると、［ポート名］ボックスには自動的にポート名が入力されます。なお、Windows XP / Windows Server 2003の場合は、先頭に“IP_”が表示されます。
- IPv6環境の場合は、IPv6のアドレスを入力してください。

注 意

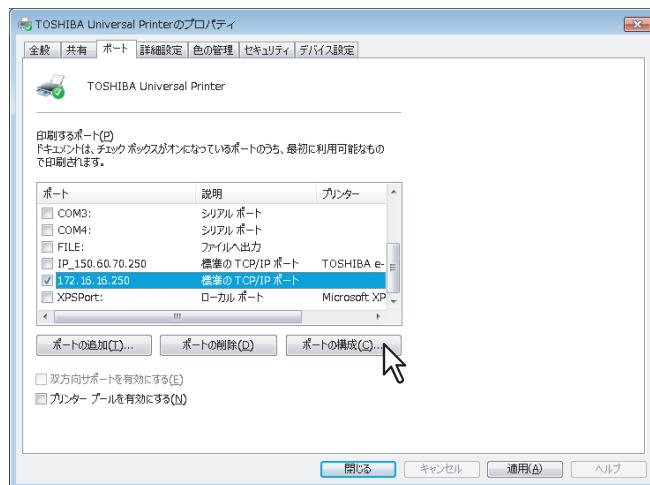
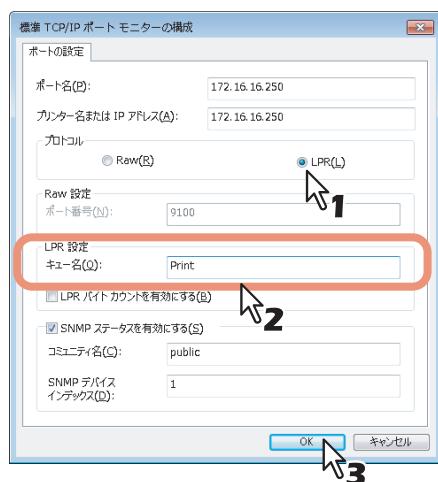
- Windows XP / Windows Server 2003の場合は、以下の画面が表示されることがあります。[標準] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

- Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合は、以下の画面が表示されることがあります。[標準] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

17 [完了] をクリックします。

[プリンタポート] ダイアログボックスに戻ります。

18 [閉じる] をクリックし、[プリンタポート] ダイアログボックスを閉じます。

19 ［印刷するポート］リストにて、作成したRaw TCPポートがチェックされていることを確認します。

補 足

LPD印刷サービスが有効になっている場合は、LPR印刷を利用することもできます。LPR印刷を設定する場合は、以下の手順で設定してください。

1. ［ポートの構成］をクリックします。

2. ［プロトコル］で［LPR］を選択して、［LPR設定］の［キュー名］ボックスへ「Print」と入力し、［OK］をクリックします。

20 ［適用］をクリックします。

21 ［OK］をクリックし、設定を保存します。

補 足

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

□ SMB印刷

SMB印刷ポートを手動で指定してプリンタドライバをインストールします。

注 意

- SMB印刷は、小規模ネットワークでの利用することを想定しています。Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2003、Windows Server 2008のいずれかをプリントサーバーとして利用可能なネットワーク環境がある場合は、Windowsプリントサーバー経由で印刷することをお勧めします。
- 設定を行う前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていること確認してください。
- インストール開始後、ネットワーク上のプリンタが検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。［次へ］をクリックし、設定を続行してください。

7 ［参照］をクリックします。

［プリンタの参照］ダイアログボックスが表示されます。

補 足

- 本機のIPアドレスまたは装置名称があらかじめ分かっている場合は、［参照］をクリックする代わりに、キーボードからの直接入力により印刷ポートを指定することができます。［選択された印刷ポート］ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力し、手順9へ進んでください。
  ￥￥<IPアドレスまたは装置名称>￥print
- Windows 7やWindows Vistaなどをお使いの場合、ネットワーク環境により［参照］から本機のポートを参照できないことがあります。この場合には、［選択された印刷ポート］ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力し、手順9へ進んでください。
  ￥￥<IPアドレスまたは装置名称>￥print

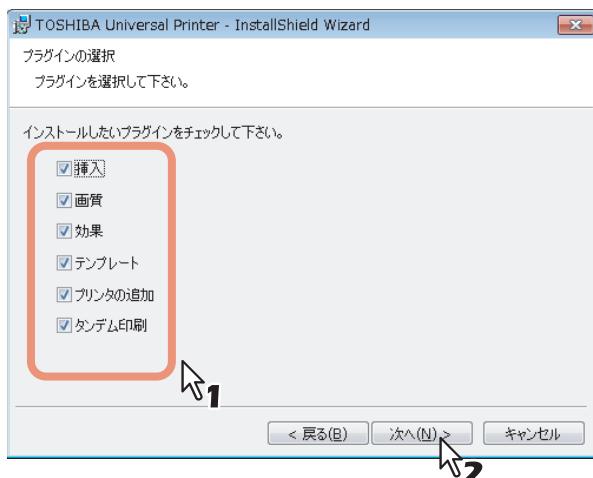
8 本機の「print」を選択し、［OK］をクリックします。

注 意

「univ」または「ps3」を選択しないでください。これらを選択すると、印刷ジョブが正常に実行されないことがあります。

9 ［OK］をクリックします。

［プラグインの選択］ウィンドウが表示されます。

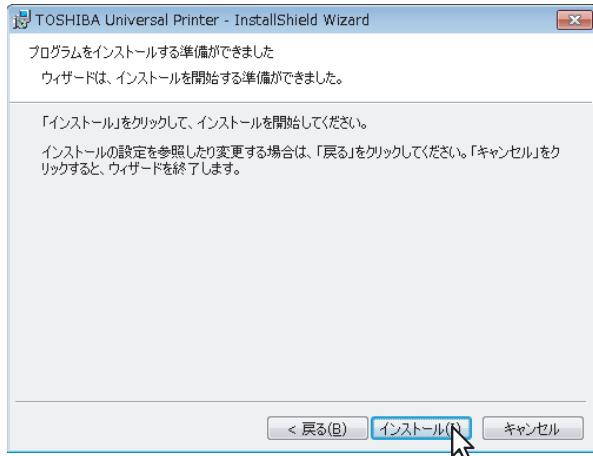
10 **表示されたプラグインを確認します。不要なプラグインがある場合は、その機能のチェックボックスをオフにし、［次へ］をクリックします。**

以下のプラグインをインストールするかを選択できます。チェックボックスをオフにした機能は、プリンタドライバのプロパティ画面に表示されなくなります。

- ［挿入］タブ
- ［画質］タブ
- ［効果］タブ
- テンプレート
- プリンタの追加
- タンデム印刷

各プラグインの詳細は、**印刷ガイド**を参照してください。

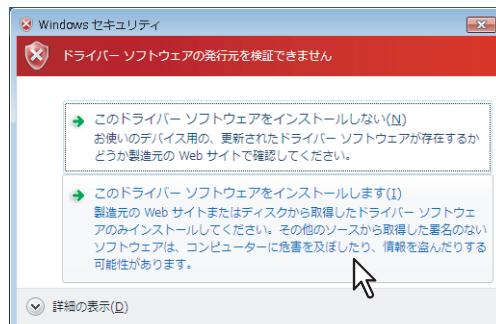
補 足

- インストーラの［おすすめ］、［プリンタドライバ］または［カスタムインストール］メニューからプリンタドライバをインストールする場合には、［プラグインの選択］ウィンドウは表示されません。プリンタドライバのインストール時に、すべてのプラグインが自動的にインストールされます。
- プラグインのインストールは、別途行うこともできます。詳細は、以下のページを参照してください。
P.110 「プラグインのインストール」

11 **［インストール］をクリックします。**

インストールが開始されます。

補 足

- 通常使うプリンタの設定を確認するダイアログボックスが表示された場合は、［はい］または［いいえ］をクリックしてください。

- ［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックしてください。

- XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7、またはXPS Essentials PackがインストールされているWindows XP SP2 / Windows Server 2003 SP1以降のコンピュータへインストールすることができます。

12 **［InstallShieldウィザードを完了しました］と表示されたら、［完了］をクリックします。**

補 足

- コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックしてください。
- インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

□ Novell印刷

Novell印刷用の印刷ポートを設定します。

注 意

- NetWareプリントサーバーにアクセスするための権限が必要です。
- インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。［次へ］をクリックし、設定を続行してください。

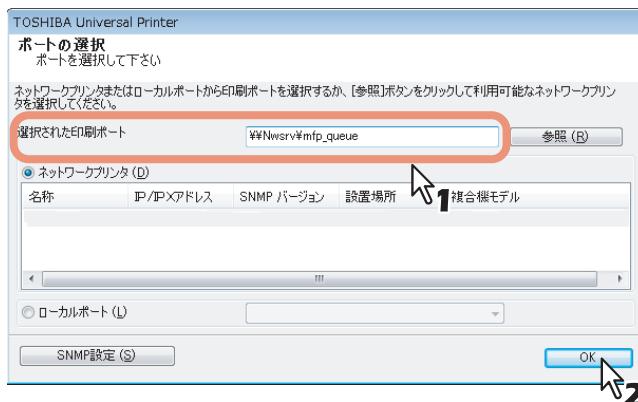
7 ［選択された印刷ポート］にキュー名を入力し、［OK］をクリックします。

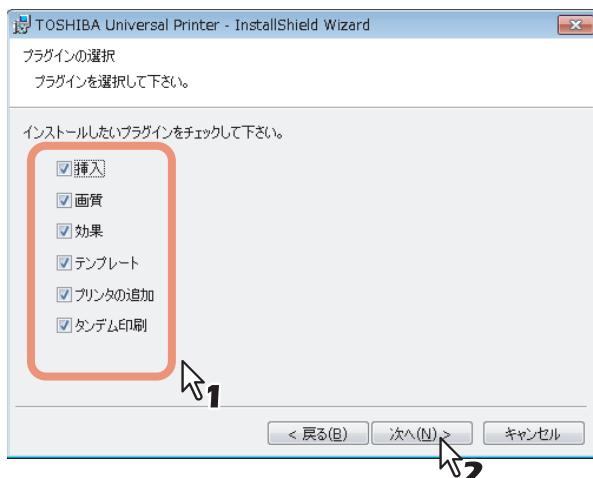
- NDS/NDPSモードの場合

  例：ルート=Org　コンテキスト=dept1　キュー名=mfp_queue
  ￥￥Org￥mfp_queue.dept1

- バインダリモードの場合

  例：NetWareプリントサーバー名=Nwsrv　キュー名=mfp_queue
  ￥￥Nwsrv￥mfp_queue

注 意

本機のキューは管理者によって作成されています。本機のキューが不明の場合は、管理者にお問い合わせください。

8 表示されたプラグインを確認します。不要なプラグインがある場合は、その機能のチェックボックスをオフにし、[次へ]をクリックします。

以下のプラグインをインストールするかを選択できます。チェックボックスをオフにした機能は、プリンタドライバのプロパティ画面に表示されなくなります。

- [挿入]タブ
- [画質]タブ
- [効果]タブ
- テンプレート
- プリンタの追加
- タンデム印刷

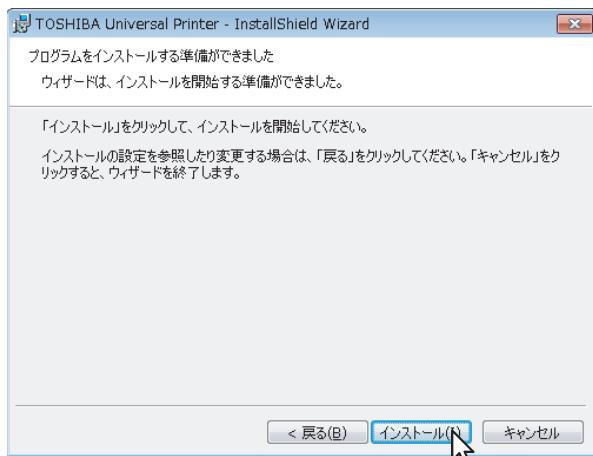
各プラグインの詳細は、**印刷ガイド**を参照してください。

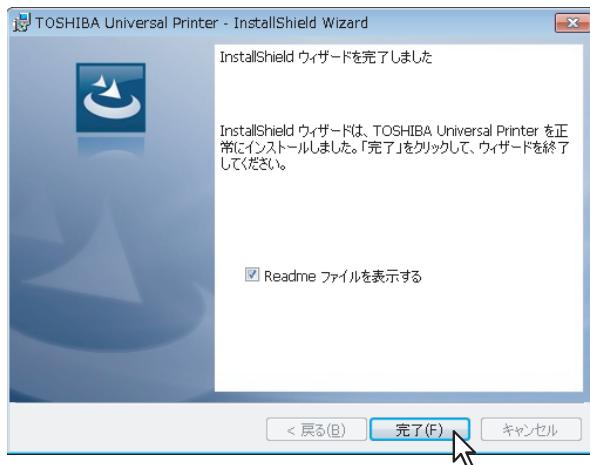
補足

- インストーラの[おすすめ]、[プリンタドライバ]または[カスタムインストール]メニューからプリンタドライバをインストールする場合には、[プラグインの選択]ウィンドウは表示されません。プリンタドライバのインストール時に、すべてのプラグインが自動的にインストールされます。
- プラグインのインストールは、別途行うこともできます。詳細は、以下のページを参照してください。
  P.110「プラグインのインストール」

9 [インストール]をクリックします。

インストールが開始されます。

補 足

通常使うプリンタの設定を確認するダイアログボックスが表示された場合は、［はい］ または ［いいえ］ をクリックしてください。

10 **［InstallShieldウィザードを完了しました］と表示されたら、［完了］をクリックします。**

補 足

- コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］ を選択し、［完了］ をクリックしてください。
- インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

その他のインストール

以下の印刷環境は、Client Utilities CD-ROMのSoftware Installerまたは個別インストーラからのインストールではセットアップできません（Windows 7でのUSB印刷は除く)。これらの印刷をセットアップする場合は、各インストール手順を参照してください。

🕮 P.78 「USB印刷」
🕮 P.87 「ポイントアンドプリント」
🕮 P.89 「IPP印刷」
🕮 P.102 「Novell iPrint印刷」
🕮 P.103 「Web Serviceプリント」

■ USB印刷

ここでは、Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008環境で本機がUSBケーブルで接続されている場合のプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。
USB印刷のインストール手順は、Windowsのバージョンによって異なります。

🕮 P.78 「Windows 7」
🕮 P.83 「Windows Vista / Windows Server 2008」
🕮 P.85 「Windows XP / Windows Server 2003」

注 意

- USB2.0 Hi-Speed規格認証ケーブル（USB Implementers Forum, Inc.が認証したUSB2.0の Hi-Speedモード“転送速度480 Mbps”に対応したUSBケーブル）を使用してください。
- 本機とコンピュータはUSBケーブルで直接接続してください。HUBなどを経由して接続すると、正しく動作しない場合があります。

□ Windows 7

USB印刷用のプリンタドライバをWindows 7にClient Utilities CD-ROMのSoftware Installerを使ってインストールします。

注 意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindows へログオンしてください。ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザで Windows にログオンした場合にも［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行］などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 **本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。**

2 **本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。**

3 **Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。**
Software Installerが自動的に起動しないときには、CD-ROMの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

4 ［使用許諾契約の全条項に同意します。］を選択し、［次へ］をクリックします。

メインメニューが表示されます。

5 ［プリンタドライバ］または［カスタムインストール］をクリックします。

プリンタドライバ：Universal Printerドライバをインストールします。このメニューを選択した場合は、手順7にお進みください。
カスタムインストール：インストールしたいプリンタドライバを選択できます。このメニューを選択した場合は、手順6にお進みください。

注 意

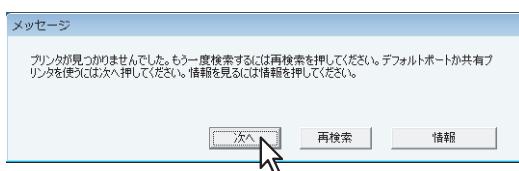
PS3プリンタドライバおよびXPSプリンタドライバをインストールする場合は、［カスタムインストール］または個別インストーラからインストールを行ってください。
📖 P.57 「個別インストーラを使ってインストールする」

6 手順5で「カスタムインストール」を選択した場合は、インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ]をクリックします。

以下のプリンタドライバをインストールできます。
- TOSHIBA Universal Printer
- TOSHIBA e-STUDIO Series PS3
- TOSHIBA e-STUDIO Series XPS

7 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール]をクリックします。

インストールが開始されます。

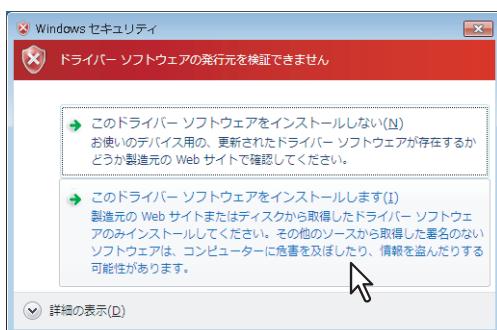
8 検索結果のメッセージが表示されますので、[次へ]をクリックします。

9 「ローカルポート」および「USBxxx」（xxxは数字）を選択し、［OK］をクリックします。

補 足

- 通常使うプリンタの設定を確認するダイアログボックスが表示された場合は、［はい］または［いいえ］をクリックしてください。

- ［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックしてください。

10 インストールの完了を確認し、[終了]をクリックします。

補 足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックします。

11 [Exit]をクリックします。

インストールの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい]をクリックしてください。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

□ Windows Vista / Windows Server 2008

USB印刷用のプリンタドライバをWindows Vista / Windows Server 2008へプラグアンドプレイによりインストールします。

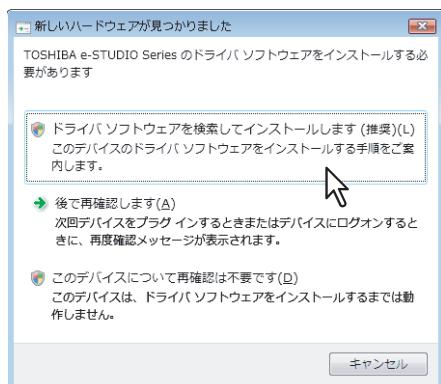
注 意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindows へログオンしてください。ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザで Windows にログオンした場合にも［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、［続行］などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 **本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。**

2 **本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。**

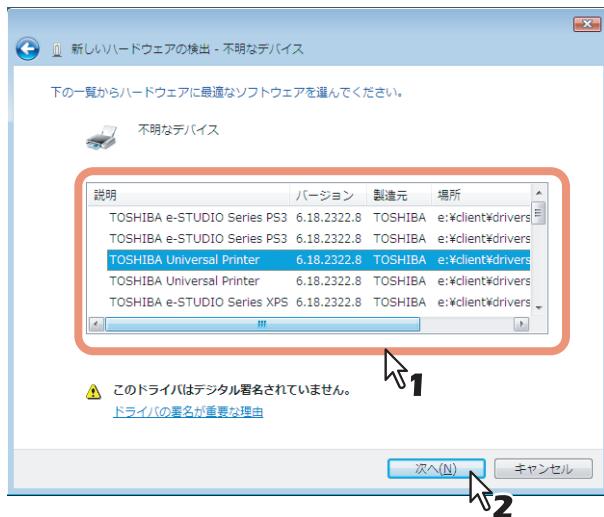
インストール方法の確認ダイアログボックスが表示されます。

3 **［ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨)］をクリックします。**

オンライン検索確認のダイアログボックスが表示された場合は、［オンラインで検索しません］をクリックします。

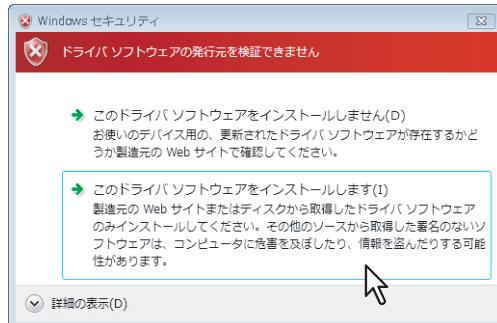
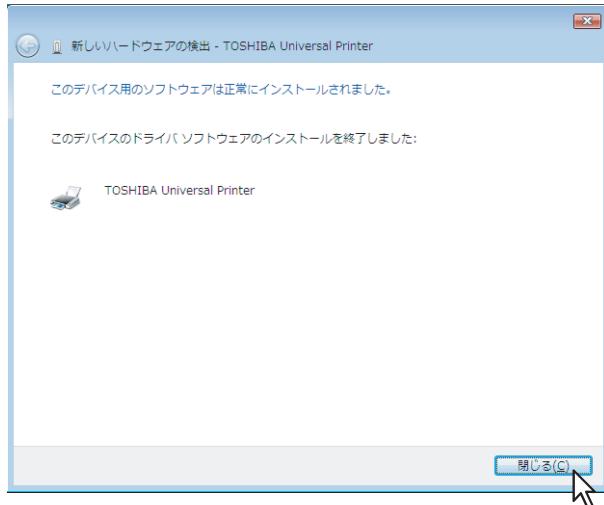
4 **Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。**

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

5 ドライバソフトウェアが自動的に検索されて一覧表示されます。インストールするドライバを選択し、［次へ］をクリックします。

注 意

- プリンタドライバ一覧には、インストールすることのできるドライバがすべて表示されます。間違ったドライバをインストールすると正常に印刷されないことがあります。

  32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
  - Universal Printerドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥UNI¥32bit
  - PS3プリンタドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥PS¥32bit
  - XPSプリンタドライバ:
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥XPS¥32bit

  64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
  - Universal Printerドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥UNI¥64bit
  - PS3プリンタドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥PS¥64bit
  - XPSプリンタドライバ:
    ［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥XPS¥64bit
- 以下のメッセージが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックしてインストールを続けてください。

6 ［閉じる］をクリックします。

7 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

□ Windows XP / Windows Server 2003

USB印刷用のプリンタドライバをWindows XP / Windows Server 2003へプラグアンドプレイによりインストールします。

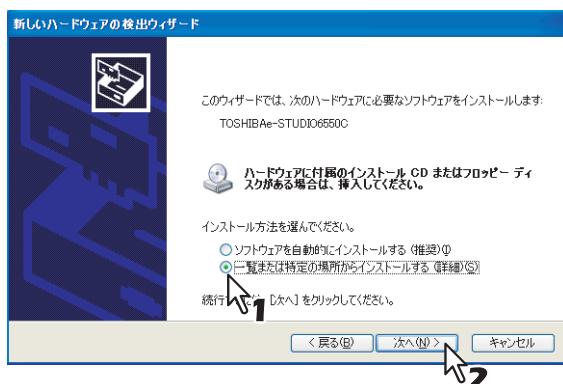
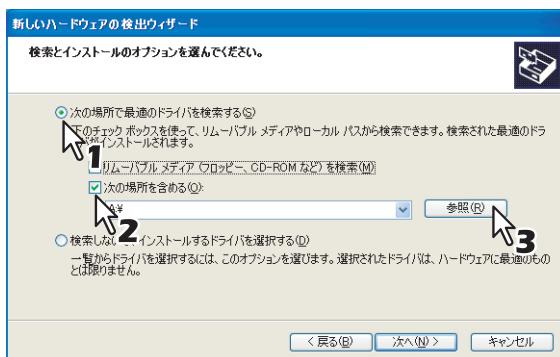
注 意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

1 本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。

2 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。

［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

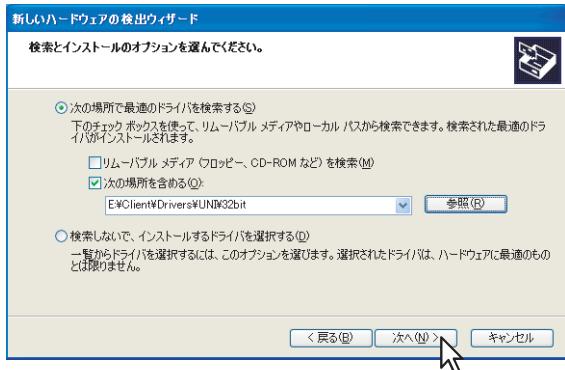
3 ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ］をクリックします。

4 ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［次の場所を含める］チェックボックスのみをオンして、［参照］をクリックします。

［フォルダの参照］ダイアログボックスが表示されます。

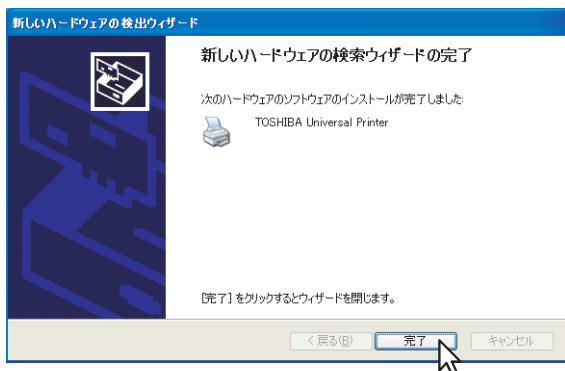
5 **Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。**

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

6 **プリンタドライバがあるフォルダを選択し、［OK］をクリックします。**

- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
  - Universal Printerドラバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥Drivers￥UNI￥32bit
  - PS3プリンタドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥Drivers￥PS￥32bit
  - XPSプリンタドライバ:
    ［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥Drivers￥XPS￥32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
  - Universal Printerドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥Drivers￥UNI￥64bit
  - PS3プリンタドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥Drivers￥PS￥64bit
  - XPSプリンタドライバ:
    ［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥Drivers￥XPS￥64bit

7 ［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーを開始します。

8 ［完了］をクリックします。

9 インストールを完了します。

注意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

■ ポイントアンドプリント

ポイントアンドプリントでプリンタドライバをインストールします。
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

- ポイントアンドプリントによるSMB印刷は小規模ネットワークで利用することを想定しています。
  Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2003、Windows Server 2008いずれかをプリントサーバーとして利用可能なネットワーク環境がある場合は、Windowsプリントサーバー経由で印刷することをお勧めします。
- ポイントアンドプリントで自動的にプリンタドライバを本機からダウンロードするには、あらかじめ本機にポイントアンドプリント用のプリンタドライバがアップロードされている必要があります。ポイントアンドプリント用のプリンタドライバのアップロードは、TopAccessの管理者機能を使って行うことができます。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。ただし、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008にて管理者権限以外のユーザでログオンしている場合は、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、［続行］などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 **エクスプローラを使ってネットワーク上の本機を開き、インストールしたいプリンタドライバに対応するキューをダブルクリックします。**

univ：このキューをダブルクリックすると、Universal Printerドライバがインストールされます。
ps3：このキューをダブルクリックすると、PS3プリンタドライバがインストールされます。

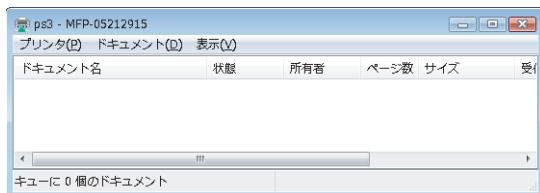
注 意

- ポイントアンドプリントでは、XPSプリンタドライバをインストールすることはできません。
- MFPのコンピュータ名（SMB設定のNetBIOS名）を使用する場合は、事前にTopAccessから設定を行う必要があります。
  - IPv4環境の場合：
    TopAccessでWINSサーバーアドレスの設定、またはDNSの設定を行ってください。
  - IPv6環境の場合：
    TopAccessでIPv6の設定のLLMNRを有効にする、またはDNSの設定を行ってください。

  TopAccessでの設定方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。

補 足

- Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008をお使いの場合、プリンタドライバをインストールするかを確認する［プリンタ］ダイアログボックスが表示されることがあります。その場合は［ドライバーのインストール］をクリックしてください。
- Windows XP / Windows Server 2003をお使いの場合、プリンタドライバをインストールするかを確認する［プリンタの接続］ダイアログボックスが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてください。

2 **プリンタドライバがインストールされ、印刷キューのウィンドウが表示されます。**

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

■ IPP印刷

ここでは、IPP印刷を行うためのプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。
IPP印刷用にプリンタドライバをセットアップするには、「プリンタの追加ウィザード」を使ってプリンタドライバをインストールし、その後必要な他のソフトウェアをインストールします。

補 足

プリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。
- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- 本機およびお使いのコンピュータにTCP/IPが正しく設定されていること。

IPP印刷のインストール手順は、Windowsのバージョンによって異なります。
P.89 「Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008」
P.96 「Windows XP / Windows Server 2003」

□ Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008

IPP印刷用のプリンタドライバをWindows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008へ「プリンタの追加ウィザード」によりインストールします。
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注 意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザで Windows へログオンしてください。ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザで Windows にログオンした場合にも［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、［続行］などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

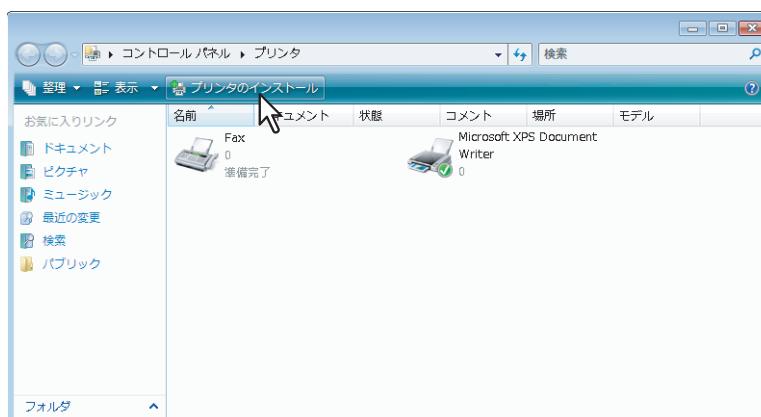
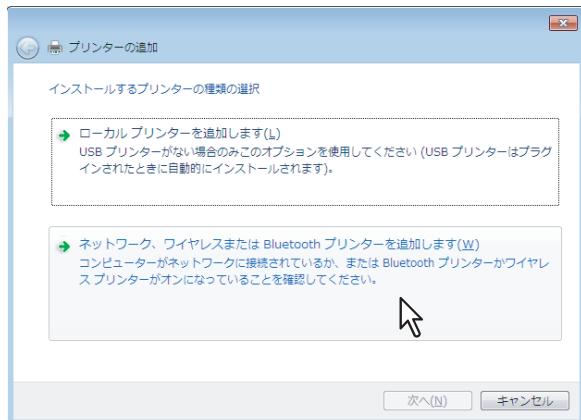
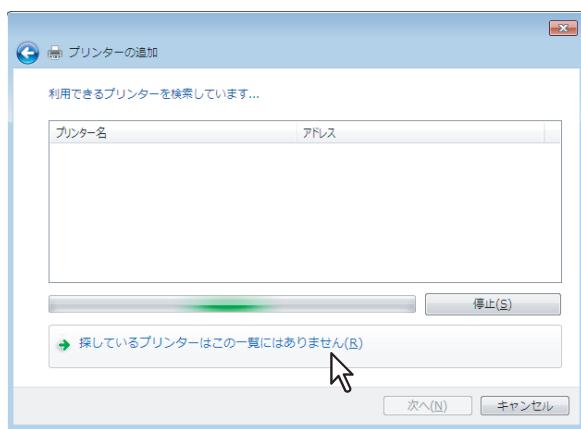
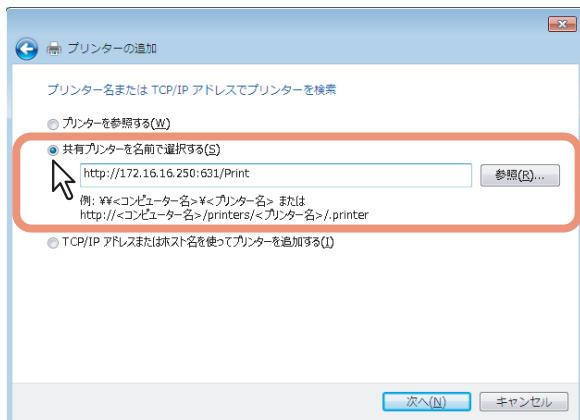
1 プリンタフォルダを開きます。

- Windows 7をお使いの場合
［スタート］→［デバイスとプリンター］をクリックして、［デバイスとプリンター］フォルダを開きます。

- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
  ［スタート］→［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］メニューの［プリンタ］の順にクリックして、［プリンタ］フォルダを開きます。

2 ［プリンターの追加］ダイアログボックスを表示します。

- Windows 7をお使いの場合
  ［プリンターの追加］をクリックします。

- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
  ［プリンタのインストール］をクリックします。

3 ［ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンターを追加します］をクリックします。

4 ［探しているプリンターはこの一覧にありません］を選択します。

5 「共有プリンターを名前で選択する」を選択して「http://［IPアドレス］:631/Print」と入力します。

- ［IPアドレス］の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
  例：IPアドレスが「192.168.1.2」の場合
  http://192.168.1.2:631/Print
- ネットワークでDNSまたはWINSサーバーを使用している場合は、IPアドレスの代わりに本機のサーバー名を入力します。
  例：サーバー名が「Mfp-05212774」の場合
  http://Mfp-05212774:631/Print
- インターネットから接続している場合は、IPアドレスの代わりに本機のFQDNを入力します。
  例：URLが「Mfp-05212774.toshibatec.com」の場合
  http://Mfp-05212774.toshibatec.com:631/Print

注 意

IPP URLの「Print」の「P」は必ず大文字で入力する必要があります。小文字で「print」と入力しても、IPPポートが作成されますが、正常に印刷することはできません。誤って小文字の「print」でIPPポートを作成してしまった場合は、IPPポートをいったん削除してから、正しいIPP URLを指定してIPPポートを作成し直してください。

補 足

- 本機の管理者が本機上でIPPポート80機能を有効に設定している場合は、ポート番号をURLから除外することができます。（例：http://192.168.1.2/Print）
- 本機の管理者が本機上でIPP印刷のSSLを有効に設定している場合は、［ホスト名またはIPアドレス］ボックスに「https://［IPアドレス］:［SSLポート番号］/Print」と入力します。
  （例：https://192.168.1.2:443/Print）

6 ［次へ］をクリックします。

選択した本機との接続確認用のダイアログボックスが表示されますので、完了するまでお待ちください。

注 意

IPP印刷の認証設定が有効になっている場合は、ユーザ名およびパスワードの入力画面が表示されます。画面が表示された場合は、ユーザ名およびパスワードを入力し［OK］をクリックします。ユーザ名およびパスワードについては、管理者にお問い合わせください。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

8 ［参照］をクリックします。

［ファイルの場所］ダイアログボックスが表示されます。

9 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

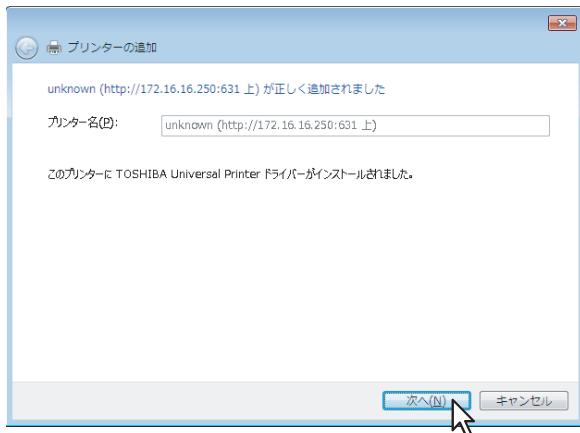
10 **プリンタドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、［開く］をクリックします。**

- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
  - Universal Printerドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥Drivers￥UNI￥32bit
  - PS3プリンタドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥Drivers￥PS￥32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
  - Universal Printerドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥Drivers￥UNI￥64bit
  - PS3プリンタドライバ：
    ［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥Drivers￥PS￥64bit

11 **［OK］をクリックします。**

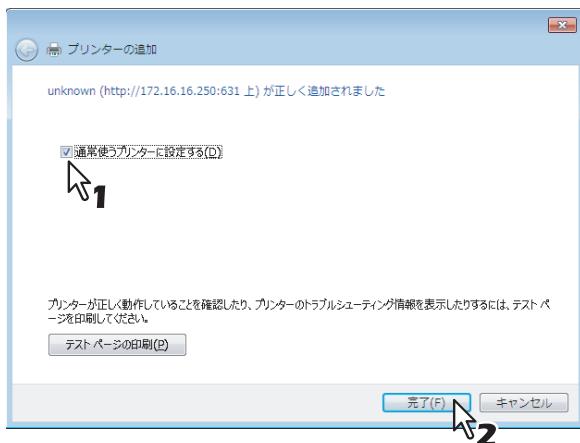
12 **プリンタドライバを選択し、［OK］をクリックします。**

［Windowsセキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックして操作を続行してください。

13 ［次へ］をクリックします。

補 足

［プリンタ共有］ダイアログボックスが表示された場合は、本機をネットワーク上の他のユーザと共有するかどうかを選択し、［次へ］をクリックしてください。

- 必要に応じて共有名の変更または場所およびコメントの入力を行ってください。

14 このプリンタを通常使うプリンタにするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

注 意

- インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。
- IPP印刷でのインストールでは、プリンタドライバのプロパティ画面には以下のタブのみ表示されます。
  - ［基本］タブ
  - ［仕上げ］タブ
  - ［カスタム］タブ

  そのほかのタブをプロパティ画面に表示させたい場合は、プラグインのインストールを別途行ってください。詳細は、以下のページを参照してください。

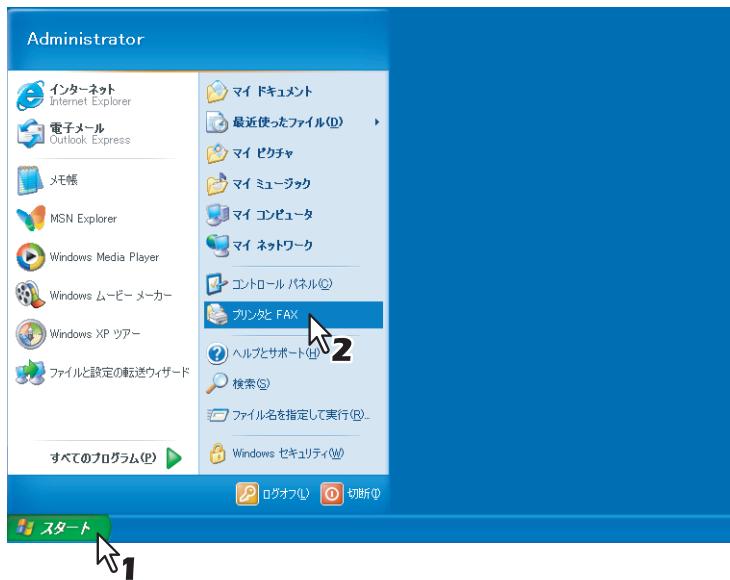
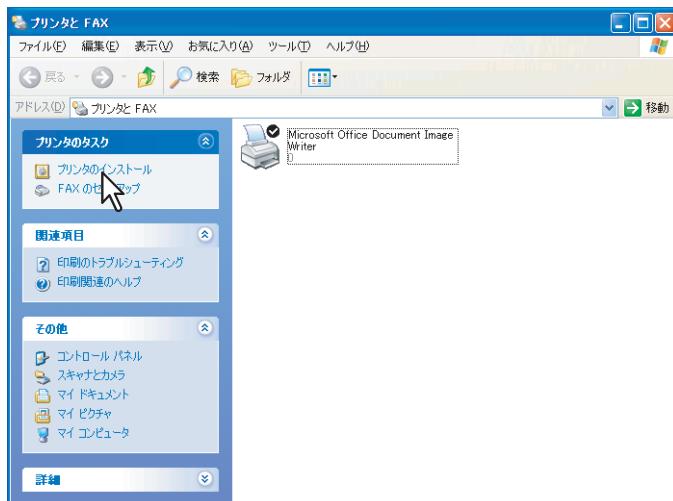
  P.110「プラグインのインストール」

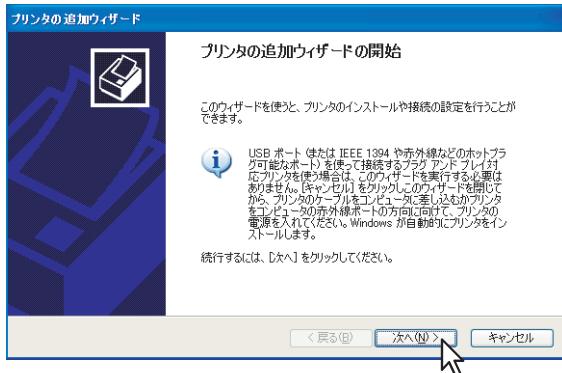
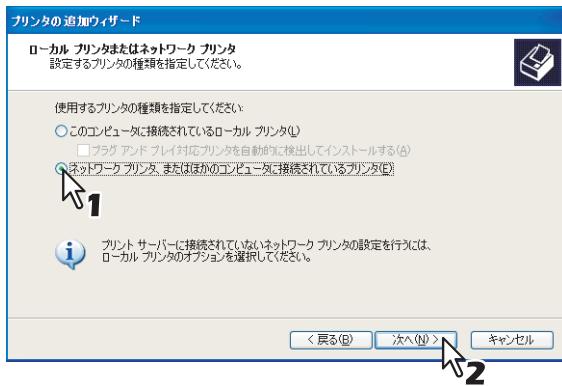
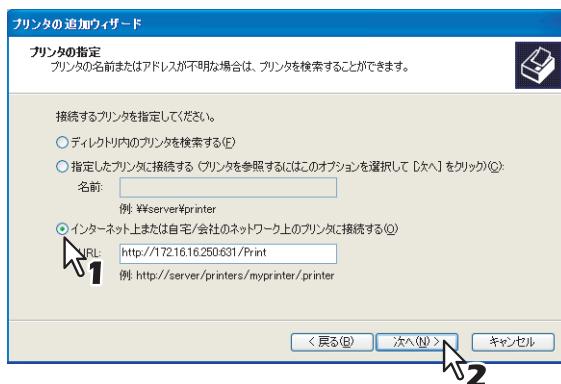
□ Windows XP / Windows Server 2003

IPP印刷用のプリンタドライバをWindows XP / Windows Server 2003へプリンタの追加ウィザードによりインストールします。

注 意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

1 ［スタート］→［プリンタとFAX］をクリックして、［プリンタとFAX］フォルダを開きます。

2 ［プリンタのタスク］内の［プリンタのインストール］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［次へ］をクリックします。

4 ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

5 **［インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、［URL］ボックスに「http://［IPアドレス］:631/Print」と入力します。**

- ［IPアドレス］の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
  例：IPアドレスが「192.168.1.2」の場合
  http://192.168.1.2:631/Print
- ネットワークでDNSまたはWINSサーバーを使用している場合は、IPアドレスの代わりに本機のサーバー名を入力します。
  例：サーバー名が「Mfp-05212774」の場合
  http://Mfp-05212774:631/Print
- インターネットから接続している場合は、IPアドレスの代わりに本機のFQDNを入力します。
  例：URLが「Mfp-05212774.toshibatec.com」の場合
  http://Mfp-05212774.toshibatec.com:631/Print

注 意

IPP URLの「Print」の「P」は必ず大文字で入力する必要があります。小文字で「print」と入力しても、IPPポートが作成されますが、正常に印刷することはできません。誤って小文字の「print」でIPPポートを作成してしまった場合は、IPPポートをいったん削除してから、正しいIPP URLを指定してIPPポートを作成し直してください。

補 足

- 本機の管理者が本機上でIPPポート80機能を有効に設定している場合は、ポート番号をURLから除外することができます（例：http://192.168.1.2/Print）。
- 本機の管理者が本機上でIPP印刷のSSLを有効に設定している場合は、「URL」フィールドに「https://［IPアドレス］：［SSLポート番号］/Print」と入力します。
  （例：https://192.168.1.2:443/Print）

6 ［次へ］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

注 意

IPP印刷の認証設定が有効になっている場合は、ユーザ名およびパスワードの入力画面が表示されます。この画面が表示された場合は、ユーザ名およびパスワードを入力し［OK］をクリックします。ユーザ名およびパスワードについては、管理者にお問い合わせください。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

8 ［参照］をクリックします。

［ファイルの場所］ダイアログボックスが表示されます。

9 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

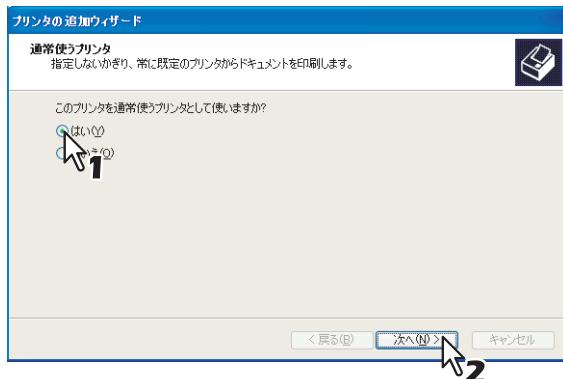
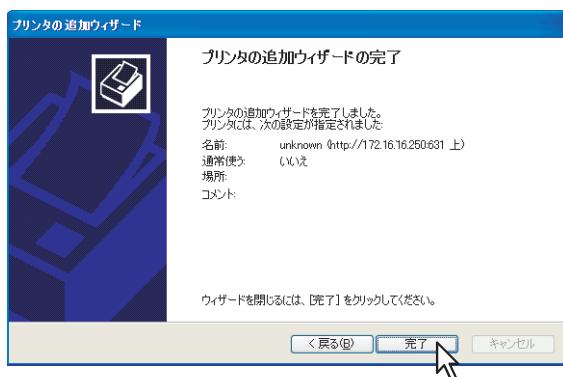
Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

10 プリンタドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、[開く] をクリックします。

- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
  - Universal Printerドライバ：
    [Client Utilities CD-ROM]：¥Client¥Drivers¥UNI¥32bit
  - PS3プリンタドライバ：
    [Client Utilities CD-ROM]：¥Client¥Drivers¥PS¥32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
  - Universal Printerドライバ：
    [Client Utilities CD-ROM]：¥Client¥Drivers¥UNI¥64bit
  - PS3プリンタドライバ：
    [Client Utilities CD-ROM]：¥Client¥Drivers¥PS¥64bit

11 [OK] をクリックします。

12 プリンタドライバを選択し、[OK] をクリックします。

13 通常使うプリンタとして使用するかを選択し、［次へ］をクリックします。

14 ［完了］をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

注意

- インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。
- IPP印刷でのインストールでは、プリンタドライバのプロパティ画面には以下のタブのみ表示されます。
  - ［基本］タブ
  - ［仕上げ］タブ
  - ［カスタム］タブ

  そのほかのタブをプロパティ画面に表示させたい場合は、プラグインのインストールを別途行ってください。詳細は、以下のページを参照してください。
  P.110「プラグインのインストール」

■ Novell iPrint印刷

ここでは、Novell iPrint印刷用にプリンタドライバをインストールする方法について説明します。
クライアントコンピュータにNovell iPrint用のプリンタドライバをインストールするには、iPrint Clientをインストールし、NetWareプリントサーバーからプリンタドライバをダウンロードします。

注 意

- クライアントコンピュータにiPrintをセットアップするには、NetWareプリントサーバーがNovell iPrint用にセットアップされている必要があります。
- Novell iPrint用にプリンタドライバをインストールする前に、お使いのコンピュータで以下の環境が満たされていることを確認してください。
  - Microsoft Internet Explorer 5.0以降、またはNetscape 4.76がインストールされていること(Netscape 6はNovell iPrintをサポートしていません)。
  - ブラウザでJavaScriptが有効に設定されていること。

1 ブラウザを起動し、アドレスバーに以下のURLを入力します。

http://<IPアドレスまたはNDPSマネージャのNDS名>/ipp

注 意

- NDPSマネージャのIPアドレスまたはDNS名が分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- IPアドレスまたはDNS名がSSLで保護されている場合は、以下のURLを入力してください。
  https://<IPアドレスまたはNDPSマネージャのNDS名>/ipps

2 iPrint Clientがインストールされていない場合は、インストールするようメッセージが表示され、iPrint Clientがインストールされます。

3 接続可能なプリンタの一覧からインストールするプリンタをクリックします。

選択したプリンタがコンピュータにインストールされます。

■ Web Serviceプリント

本機は、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008に搭載されているWSD（Web Services on Devices）プロトコルをサポートしています。ここでは、WSDプロトコルを使用してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。
インストール手順はWindowsのバージョンによって異なります。

📖 P.103 「Windows 7」
📖 P.106 「Windows Vista / Windows Server 2008」

□ Windows 7

Windows 7にプリンタドライバをインストールします。

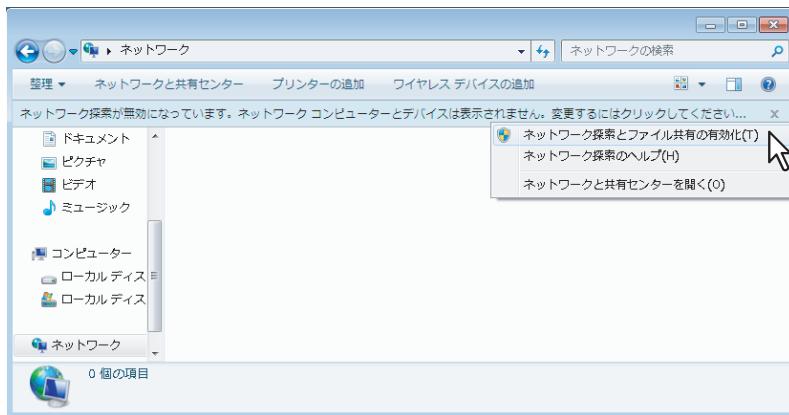
注 意

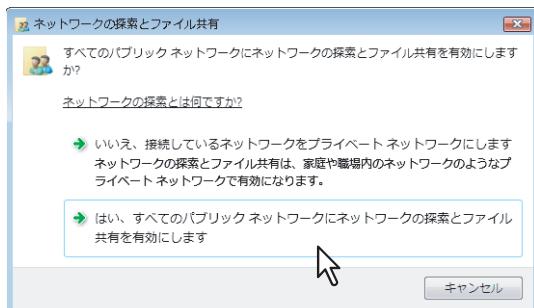
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
  ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、［続行］などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。
- インストールを開始するには、お使いのコンピュータにプリンタドライバがインストールされている必要があります。
  プリンタドライバのインストール方法については、以下のページを参照してください。
  📖 P.39 「プリンタドライバのインストール」
- Web Serviceスキャンに必要なドライバも同時にインストールされます。

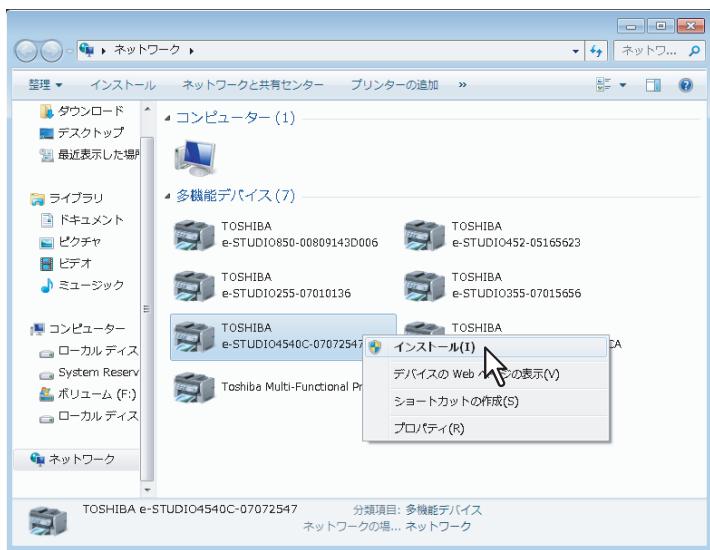
1 **［スタート］→［コンピューター］→［ネットワーク］の順にクリックして、［ネットワーク］画面を表示します。**

⇒

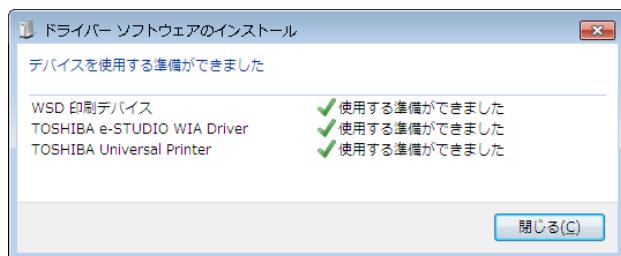
- ネットワーク探索が有効になっている場合は手順4へ進みます。
- ネットワーク探索が無効になっている場合は次の手順へ進みます。

2 ［ネットワーク探索とファイル共有が無効になっています。ネットワークコンピューターとデバイスは表示されません。変更するにはクリックしてください］をクリックし［ネットワーク探索とファイル共有の有効化］を選択します。

［ネットワークの探索とファイル共有］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします］をクリックします。

［ネットワーク］画面に、接続されているコンピュータと多機能デバイスのアイコンが表示されます。

4 **本機の多機能デバイスのアイコンを選択し、右クリックメニューより［インストール］をクリックします。**

インストールが開始されます。

補 足

タスクバーに表示される アイコンをクリックすると、インストール状況を示す下記画面が表示されます。

5 **インストールが完了します。**

□ Windows Vista / Windows Server 2008

Windows Vista / Windows Server 2008にプリンタドライバをインストールします。

注 意

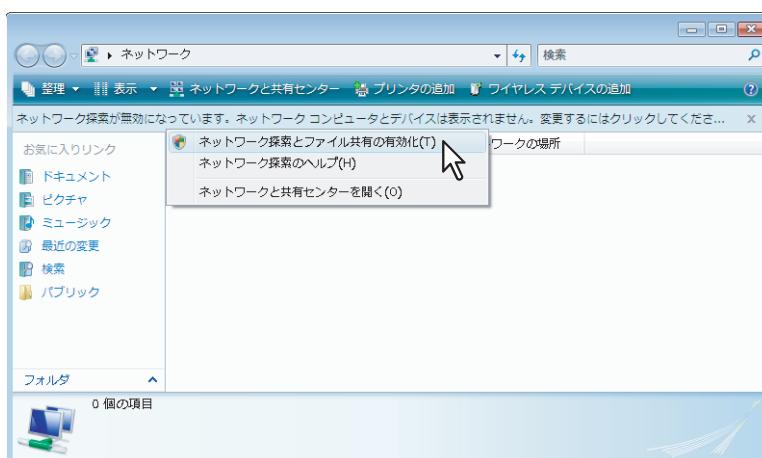
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
  ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザで Windows にログオンした場合にも[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行]などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。
- Web Serviceスキャンに必要なドライバも同時にインストールされます。

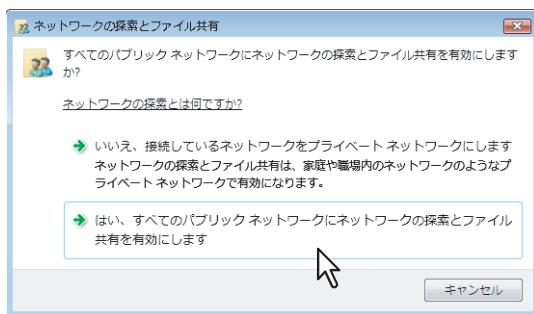
補 足

- 一度Client Utilities CD-ROMよりプリンタドライバをインストールした場合は、プリンタドライバ情報が残るため、Web Serviceプリントを再度インストールする際には、Client Utilities CD-ROMは必要ありません。
- プリンタドライバの削除方法については、以下を参照してください。
  📖 P.114 「プリンタドライバのアンインストール」

1 **[スタート] → [ネットワーク] をクリックして、[ネットワーク] 画面を表示します。**

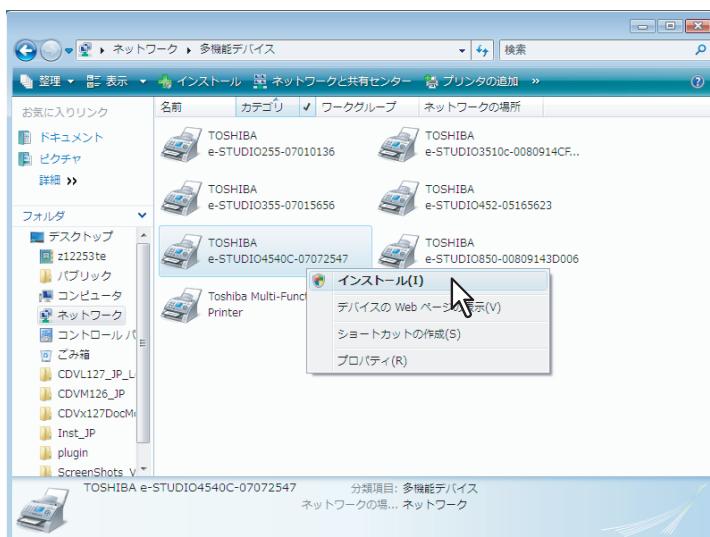
- ネットワーク探索が有効になっている場合は手順4へ進みます。
- ネットワーク探索が無効になっている場合は次の手順へ進みます。

2 **[ネットワーク探索が無効になっています。ネットワークコンピュータとデバイスは表示されません。変更するにはクリックしてください] をクリックし [ネットワーク探索とファイル共有の有効化] を選択します。**

[ネットワークの探索とファイル共有] ダイアログボックスが表示されます。

3 ［はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします］をクリックします。

［ネットワーク］画面に、接続されているコンピュータと多機能デバイスのアイコンが表示されます。

4 本機の多機能デバイスのアイコンを選択し、右クリックメニューより［インストール］をクリックします。

補 足

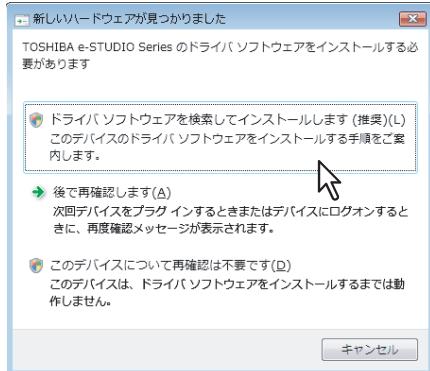
［カテゴリ］リストボックスより［多機能デバイス］をオンにすると、多機能デバイスのみ表示することができます。

タスクバーに［PnPX Device Association］が表示されます。

5 ［PnPX Device Association］をクリックします。

［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログボックスが表示されます。

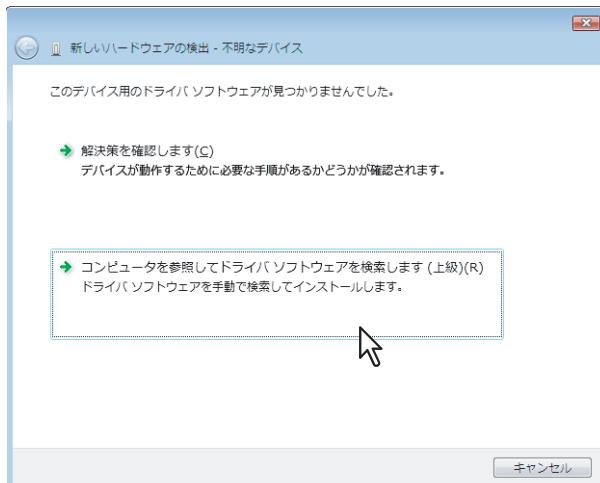
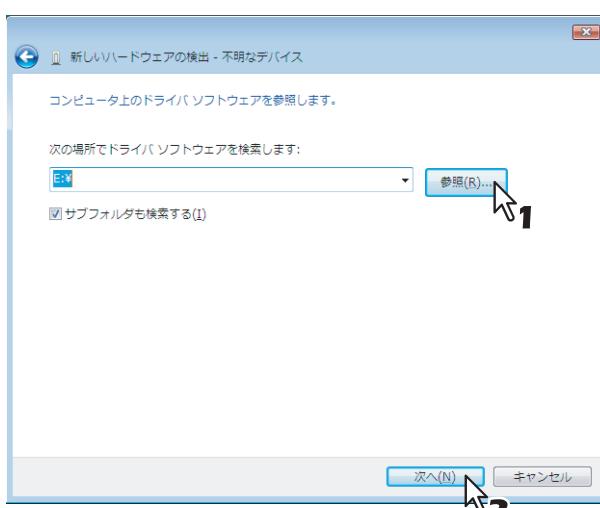
補 足

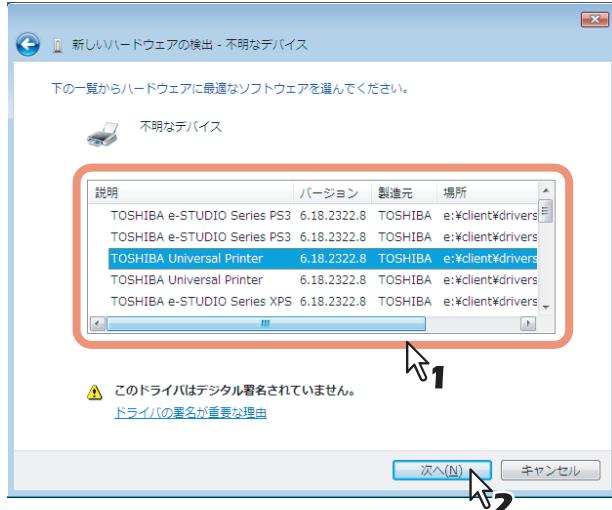
デスクトップ右下に表示されるバルーンメッセージをクリックすると、現在のインストール状況を確認することができます。

6 ［ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨)］をクリックします。

［新しいハードウェアの検出-不明なデバイス］ダイアログボックスが表示されます。

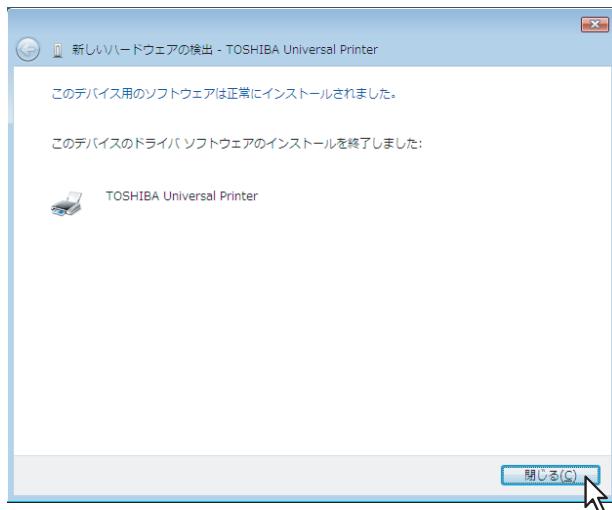
補 足

オンライン検索確認のダイアログボックスが表示された場合は、［オンラインで検索しません］をクリックします。

7 ［コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級)］をクリックします。

8 Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、［参照］をクリックしてCD-ROMドライブの場所を指定して［次へ］をクリックします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

9 インストールするプリンタドライバを選択し、［次へ］をクリックします。

注 意

［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示されましたら［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックしてインストールを続けてください。

10 インストールを完了します。［閉じる］をクリックします。

プラグインのインストール

プラグインをインストールする場合は、以下の手順で行います。

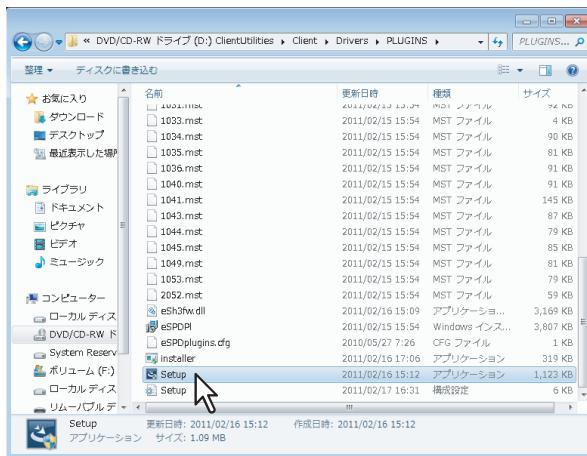
注 意

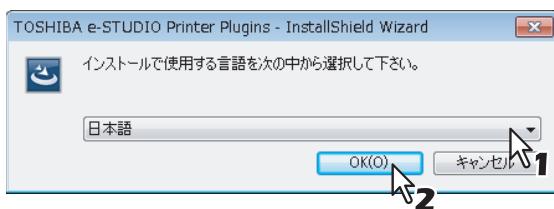
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
  なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。
  - CD-ROMに収録されているプラグインのフォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
  - ［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、［はい］（［OK］）をクリックします。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、［続行］などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

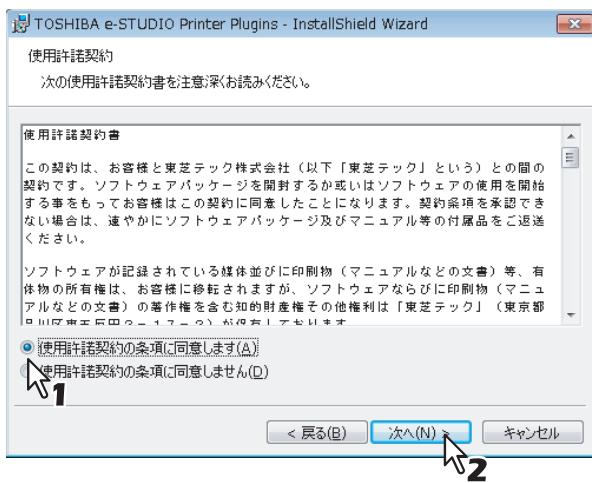
2 セットアッププログラムがある以下のフォルダを開き、「Setup.exe」ファイルをダブルクリックします。

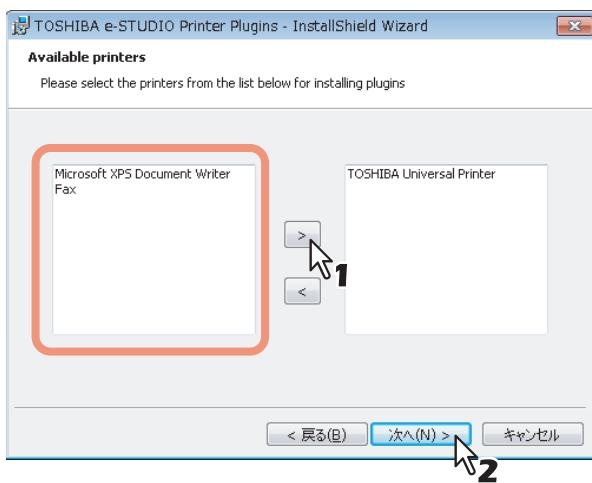
［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥PLUGINS

言語選択の画面が表示されます。

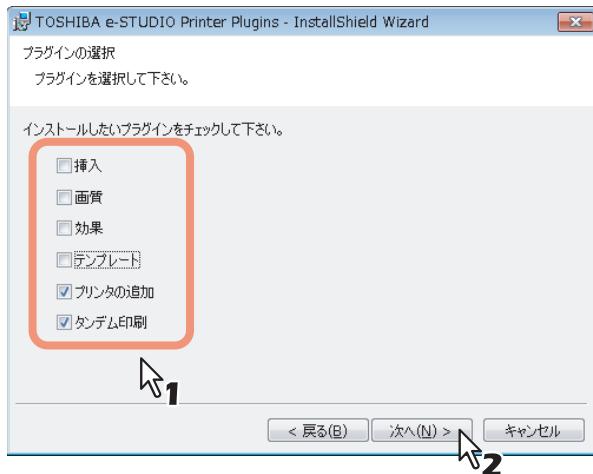
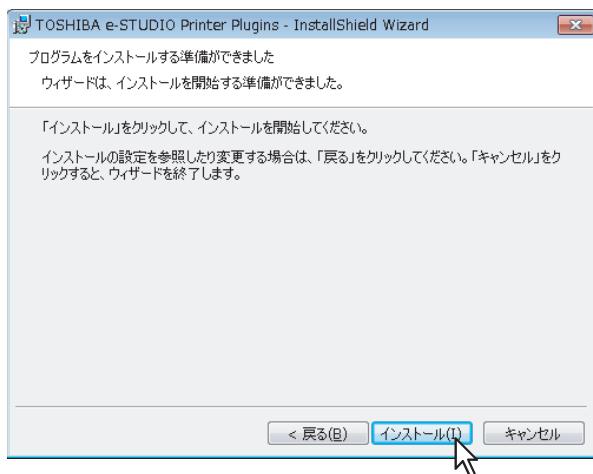
3 インストールで使用する言語を選択し、［OK］をクリックします。

ようこそ画面が表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。

使用許諾契約の画面が表示されます。

5 ［使用許諾契約の条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

Available printers画面が表示されます。

6 プラグインをインストールするプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

プラグインの選択画面が表示されます。

7 インストールするプラグインを選択し、［次へ］をクリックします。

8 ［インストール］をクリックします。

インストールが開始されます。

9 ［InstallShieldウィザードを完了しました］と表示されたら、［完了］をクリックします。

Windows用PPDファイルのコピー

Client Utilities CD-ROMには、印刷時にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。自動的にPPDファイルをインストールできないアプリケーションで、プリンタ固有の印刷設定を「印刷」ダイアログボックスや「用紙設定」ダイアログボックスで利用するには、PPDファイルを適切な場所にコピーしてください。

1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

2 Windows用PPDファイルが収録されている以下のフォルダを開きます。

［Client Utilities CD-ROM］：¥Client¥Drivers¥WinPPD

3 PPDファイル（*.ppd）をお使いのコンピュータの適切な場所にコピーします。

補 足

ファイルのコピー先については、アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

プリンタドライバのアンインストール

プリンタドライバをアンインストールする場合は、以下の手順で行います。
アンインストール手順はWindowsのバージョンによって異なります。

📖 P.114 「Windows 7」
📖 P.116 「Windows Vista / Windows Server 2008」
📖 P.118 「Windows XP / Windows Server 2003」

■ Windows 7

Windows 7からプリンタドライバをアンインストールします。

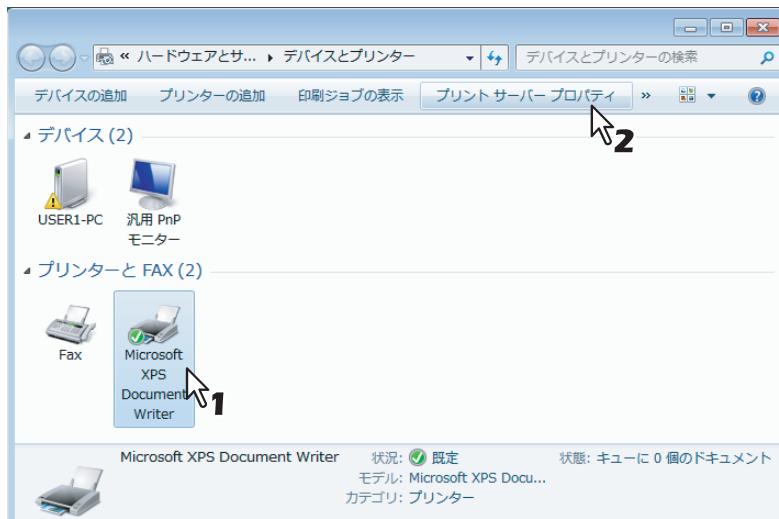
注 意

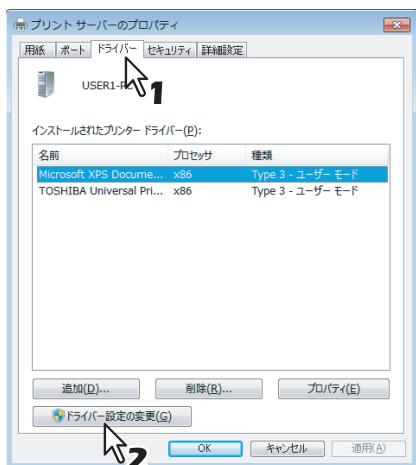
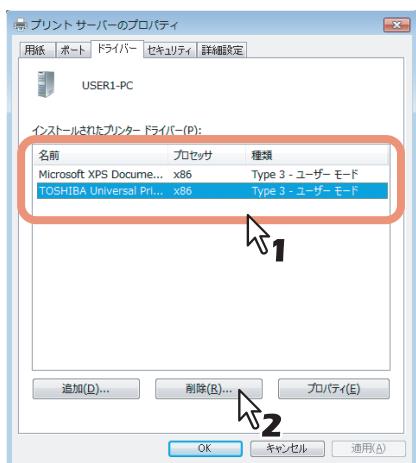
- アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してアンインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

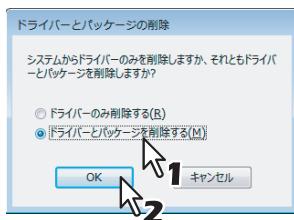
1 [スタート] → [デバイスとプリンター] をクリックして、[デバイスとプリンター] フォルダを開きます。

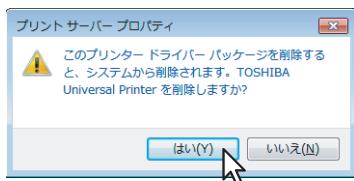
2 削除したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [デバイスの削除] を選択します。

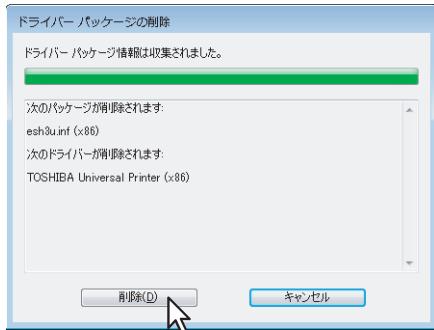
削除確認のダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

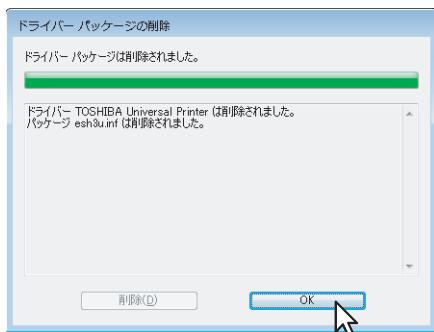
3 [デバイスとプリンター] フォルダに残っているいずれかのプリンタのアイコンを選択し、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。

[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

4 ［ドライバー］タブをクリックし、［ドライバー設定の変更］をクリックします。

5 削除するプリンタドライバを選択し、［削除］をクリックします。

［ドライバーとパッケージの削除］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［ドライバーとパッケージを削除する］を選択し、［OK］をクリックします。

［プリントサーバープロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［はい］をクリックします。

「ドライバーパッケージ情報は収集されました」メッセージが表示されます。

8 ［削除］をクリックします。

「ドライバーパッケージは削除されました。」メッセージが表示されます。

9 ［OK］をクリックします。

10 ［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

■ Windows Vista / Windows Server 2008

Windows Vista / Windows Server 2008からプリンタドライバをアンインストールします。

注 意

- アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
  ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してアンインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、［続行］などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

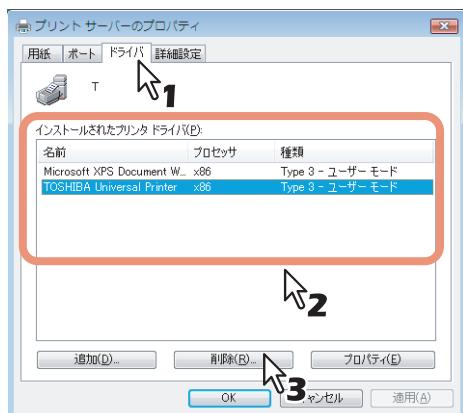
1 ［スタート］→［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］メニューの［プリンタ］の順にクリックして、［プリンタ］フォルダを開きます。

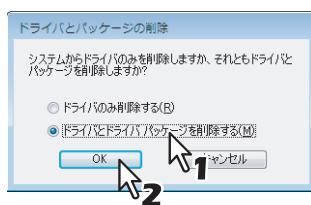
2 削除したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［削除］を選択します。

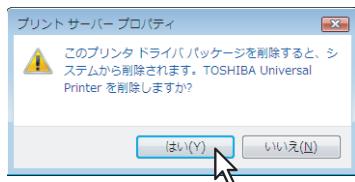
削除確認のダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

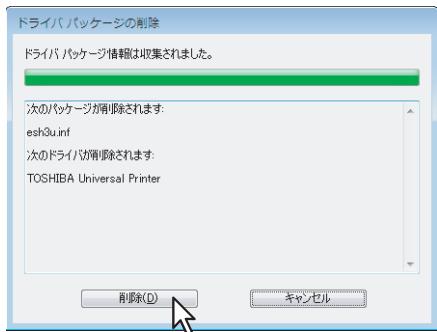
3 **「プリンタ」フォルダの何もない部分を右クリックし、表示されるメニューから［管理者として実行］→［サーバのプロパティ］の順にクリックします。**

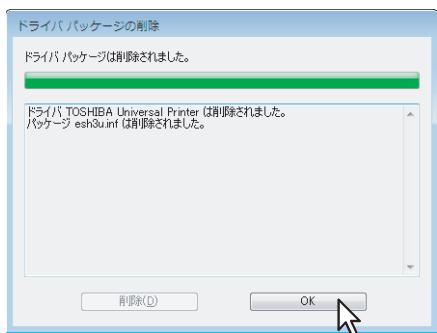
［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

4 **［ドライバ］タブをクリックし、削除するプリンタドライバを選択後、［削除］をクリックします。**

［ドライバとパッケージの削除］ダイアログボックスが表示されます。

5 **［ドライバとドライバパッケージを削除する］を選択し、［OK］をクリックします。**

［プリントサーバープロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

6 **［はい］をクリックします。**

「ドライバパッケージ情報は収集されました」メッセージが表示されます。

7 ［削除］をクリックします。

「ドライバパッケージは削除されました」メッセージが表示されます。

8 ［OK］をクリックします。

9 ［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

■ Windows XP / Windows Server 2003

Windows XP / Windows Server 2003からプリンタドライバをアンインストールします。

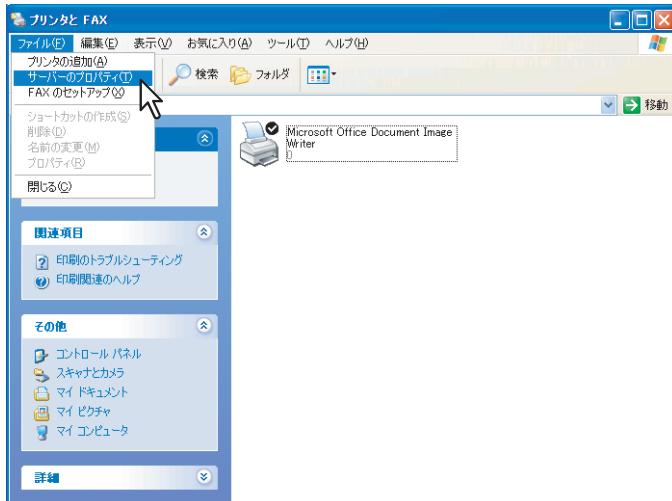
注 意

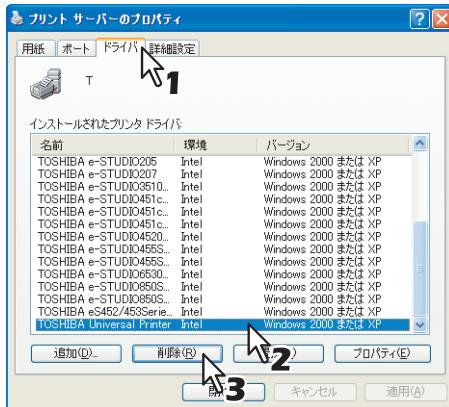
アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

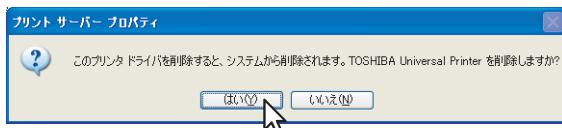
1 ［スタート］→［プリンタとFAX］をクリックして、［プリンタとFAX］フォルダを開きます。

2 削除したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［削除］を選択します。

削除確認のダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューをクリックし、［サーバーのプロパティ］を選択します。

［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［ドライバ］タブをクリックし、［インストールされたプリンタドライバ］一覧からプリンタドライバを選択して、［削除］をクリックします。

［削除の確認］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［はい］をクリックします。

プリンタドライバが削除されます。

4

プリンタドライバのインストール（Macintosh）

Macintosh環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。

インストールについて

下記セクションを参照し、Macintoshコンピュータに印刷システムをセットアップします。

📖 P.122 「Macintoshのクライアントソフトウェアについて」
📖 P.122 「計画と準備」
📖 P.123 「プリンタのインストール（Mac OS X 10.2.4〜10.6.x)」

■ Macintoshのクライアントソフトウェアについて

PostScriptプリンタ記述ファイル（PPD）

東芝Macintosh用PPD（PostScript Printer Description）ファイルには、本機が提供する固有機能の情報が記述されています。本機では、Mac OS X 10.2.4〜10.3.x用PPDファイルおよびMac OS X 10.4以降で使用するPPDファイルを提供しています。また、別途、Mac OS X 10.4以降で使用するプラグインを提供します。

■ 計画と準備

□ 必要条件

Mac OSコンピュータにプリンタドライバをインストールするには、下記環境が必要です。

ディスプレイ解像度：	1024×768ドット以上
OS：	Mac OS X 10.2.4〜10.6.x
プロトコル：	TCP/IP、AppleTalk（Ethernet)、Bonjour

プリンタのインストール（Mac OS X 10.2.4～10.6.x）

Mac OS X 10.2.4～10.6.xでプリンタをセットアップする場合は、以下の手順で行います。

P.123「Macintosh PPDファイルのインストール」
P.127「プラグインのインストール（Mac OS X 10.4以降）」
P.130「プリンタの設定（Mac OS X 10.6.x）」
P.137「プリンタの設定（Mac OS X 10.5.x）」
P.143「プリンタの設定（Mac OS X 10.4.x）」
P.150「プリンタの設定（Mac OS X 10.2.4～10.3.x）」
P.157「オプションの設定」

■ Macintosh PPDファイルのインストール

本機は、Mac OS X 10.2.4～10.6.xからの印刷をサポートしています。
ここでは、Mac OS X 10.6.xにインストールする例で説明します。別バージョンのMacintoshをお使いの場合も手順は同じです。

1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットし、「MacPPD/OSX/xxxx」フォルダを開きます。

＊「XXXX」はOSのバージョンになります。
10_2-10_3：Mac OS X 10.2.4～10.3.xの環境からの印刷に使用するPPDファイルが収録されています。
10_4--：Mac OS X 10.4以降の環境からの印刷に使用するPPDファイルが収録されています。

2 GZIPファイル（TOSHIBA_ColorMFP_X4.dmg.gz）をデスクトップにコピーします。

＊ Mac OS X 10.2.4～10.3.xをお使いの場合、GZIPファイル名は「TOSHIBA_ColorMFP.dmg.gz」となります。

3 デスクトップにコピーしたGZIPファイルをダブルクリックします。

- ディスクイメージファイル（TOSHIBA_ColorMFP_X4.dmg）がデスクトップに解凍されます。
  Mac OS X 10.2.4～10.3.xをお使いの場合、ディスクイメージファイル（TOSHIBA_ColorMFP.dmg）がデスクトップに解凍されます。
- インストーラウィンドウが表示された場合は、手順5に進みます。

4 ディスクイメージファイル（TOSHIBA_ColorMFP_X4.dmg）をダブルクリックします。

インストーラウィンドウが表示されます。

＊ Mac OS X 10.2.4～10.3.xをお使いの場合、ディスクイメージファイル（TOSHIBA_ColorMFP.dmg）をダブルクリックします。

5 インストーラウィンドウのアイコンをダブルクリックします

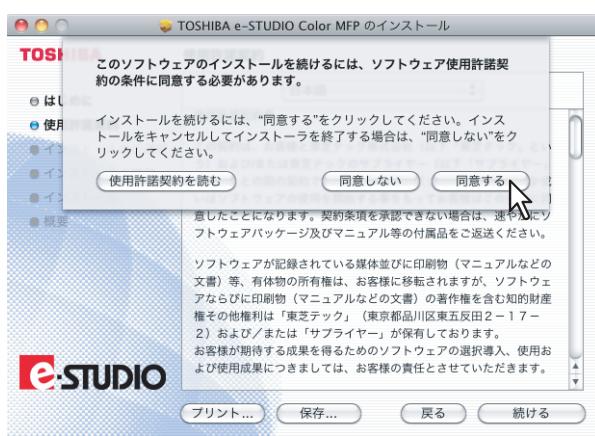
インストーラが起動します。

注 意

- Mac OS X 10.2.4～10.2.8にインストールしている場合は、［認証］ダイアログボックスが表示されます。その場合は、名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。
- インストーラを起動する際には、Mac OSのプリンタセットアップユーティリティが動作していないことを確認してください。プリンタセットアップユーティリティの動作中にPPDファイルをインストールすると、プリンタが正常に認識されないことがあります。

6 ［続ける］をクリックします。

［使用許諾契約］ウィンドウが表示されます。

7 ［続ける］をクリックします。

8 ［同意する］をクリックします。

［標準インストール］ウィンドウが表示されます。

注 意

以降の手順はお使いのMac OS X のバージョンによって異なるため、表示される順番が異なる場合があります。

9 ［インストール］（または［アップグレード］）をクリックします。

［認証］ダイアログボックスが表示されます。

補 足

［インストール先を変更］をクリックすると、［インストール先の選択］ダイアログボックスが表示されますので、Mac OS Xの起動ディスクを選択し、［続ける］をクリックしてください。

10 名前（管理者名）とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

PPDファイルのコピーを開始します。

注 意

Mac OS X 10.2.4～10.2.8にインストールしている場合は、このステップでは、［認証］ダイアログボックスは表示されません。

11 ［閉じる］をクリックします。

12 **GZIPファイルや解凍されたインストーラファイルをデスクトップから削除します。**

13 引き続いてプラグインのインストールやプリンタ設定を行います。

P.127「プラグインのインストール（Mac OS X 10.4以降）」
P.130「プリンタの設定（Mac OS X 10.6.x）」
P.137「プリンタの設定（Mac OS X 10.5.x）」
P.143「プリンタの設定（Mac OS X 10.4.x）」
P.150「プリンタの設定（Mac OS X 10.2.4〜10.3.x）」

■ プラグインのインストール（Mac OS X 10.4以降）

Mac OS X 10.4以降で使用するプラグインをインストールします。

プラグインをインストールすると、以下の機能を使用することができます。

- ウォーターマーク
  ［Confidential］、［Draft］、［Proof］、［Top Secret］などの文字列を印刷する文書に重ねた状態で用紙に印刷する機能です。
- e-Filing
  印刷ジョブを本機のボックスに保存する機能です。

補 足

ウォーターマークやe-Filingの詳細は、**印刷ガイド**を参照してください。

ここでは、Mac OS X 10.6.xにインストールする例で説明します。別バージョンのMacintoshをお使いの場合も手順は同じです。

1 **Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットし、「MacPPD/OSX/10_4-」フォルダを開きます。**

2 **GZIPファイル（TOSHIBA_eS-Ex_Features.dmg.gz）をデスクトップにコピーします。**

3 **デスクトップにコピーしたGZIPファイルをダブルクリックします。**

- ディスクイメージファイル（TOSHIBA_eS-Ex_Features.dmg）がデスクトップに解凍されます。
- インストーラウィンドウが表示された場合は、手順5に進みます。

4 **ディスクイメージファイル（TOSHIBA_eS-Ex_Features.dmg）をダブルクリックします。**

インストーラウィンドウが表示されます。

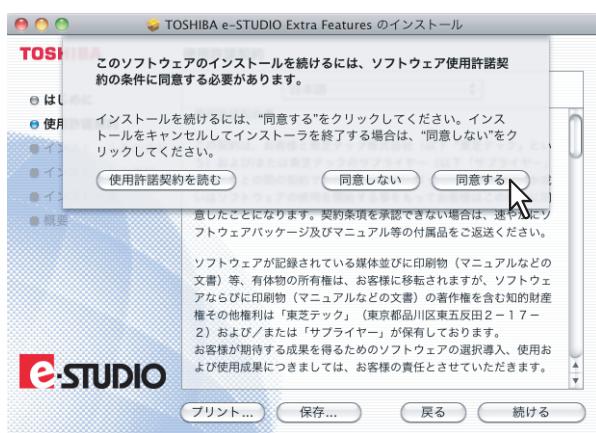
5 **インストーラウィンドウのアイコンをダブルクリックします。**

インストーラが起動します。

6 **［続ける］をクリックします。**

［使用許諾契約］ウィンドウが表示されます。

7 ［続ける］をクリックします。

8 ［同意する］をクリックします。

［標準インストール］ウィンドウが表示されます。

9 ［インストール］をクリックします。

［認証］ダイアログボックスが表示されます。

補 足

インストールする機能を選択する場合は、［カスタマイズ］をクリックしてください。［カスタムインストール］ダイアログボックスが表示されますので、不要な機能のチェックボックスをオフにし、［インストール］をクリックします。

10 名前（管理者名）とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

プラグインのインストールを開始します。

11 ［閉じる］をクリックします。

12 GZIPファイルや解凍されたインストーラファイルをデスクトップから削除します。

■ プリンタの設定（Mac OS X 10.6.x）

PPDファイルをインストールしたら、プリンタを設定します。
Mac OS X 10.6.xをお使いの場合、以下の印刷方法を利用することができます。

- LPR印刷
  P.130「LPR印刷（Mac OS X 10.6.x）」
- IPP印刷
  P.133「IPP印刷（Mac OS X 10.6.x）」
- Bonjour印刷
  P.135「Bonjour印刷（Mac OS X 10.6.x）」

補 足

本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合に有効です。

□ LPR印刷（Mac OS X 10.6.x）

1 ［システム環境設定］を起動して、［プリントとファクス］をクリックします。

2 ［+］をクリックします。

3 ［IP］をクリックし、各項目を設定します。

プロトコル：　LPD（Line Printer Daemon）
アドレス：　<IPアドレスまたはDNS名>
キュー：　print
名前：　＜任意名＞
場所：　＜任意＞
ドライバ：　TOSHIBA ColorMFP-X4

補 足

- ［名前］ボックスには、［アドレス］ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- ［アドレス］ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、［ドライバ］に正しいPPDファイルが選択されません。［ドライバ］で［その他］を選択し、「/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」フォルダからPPDファイル（TOSHIBA_ColorMFP_X4.gz）を選択してください。

4 ［追加］をクリックします。

［インストール可能なオプション］画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

- **機種名**
  TOSHIBA e-STUDIO6550CSeries：e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
  TOSHIBA e-STUDIO4540CSeries：e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- **フィニッシャ**
  未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。
  ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。（e-STUDIO4540C Seriesのみ）
  サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
  サドルステッチフィニッシャ＆ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **カセット**
  未装着：オプションの給紙カセットが未装着の場合に選択します。
  3段目カセット：3段目カセットを装着している場合に選択します。
  3、4段目カセット：3段目カセットおよび4段目カセットを装着している場合に選択します。
  大容量給紙装置：大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6550C Seriesのみ）**
  未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。
  装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

6 ［続ける］をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

□ IPP印刷（Mac OS X 10.6.x）

Mac OS XにIPP印刷キューを作成します。

1 ［システム環境設定］を起動して、［プリントとファクス］をクリックします。

2 ［+］をクリックします。

3 ［IP］をクリックし、各項目を設定します。

プロトコル：　IPP（Internet Printing Protocol）
アドレス：　<IPアドレスまたはDNS名>
キュー：　Print
名前：　＜任意名＞
場所：　＜任意＞
ドライバ：　TOSHIBA ColorMFP-X4

補 足

- ［名前］ボックスには、［アドレス］ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- ［アドレス］ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、［ドライバ］に正しいPPDファイルが選択されません。［ドライバ］で［その他］を選択し、「/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」フォルダからPPDファイル（TOSHIBA_ColorMFP_X4.gz）を選択してください。

4 ［追加］をクリックします。

［インストール可能なオプション］画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

- **機種名**
  TOSHIBA e-STUDIO6550CSeries：e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
  TOSHIBA e-STUDIO4540CSeries：e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- **フィニッシャ**
  未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。
  ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。（e-STUDIO4540C Seriesのみ）
  サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
  サドルステッチフィニッシャ＆ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **カセット**
  未装着：オプションの給紙カセットが未装着の場合に選択します。
  3段目カセット：3段目カセットを装着している場合に選択します。
  3、4段目カセット：3段目カセットおよび4段目カセットを装着している場合に選択します。
  大容量給紙装置：大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6550C Seriesのみ）**
  未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。
  装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

6 ［続ける］をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

□ Bonjour印刷（Mac OS X 10.6.x）

1 ［システム環境設定］を起動して、［プリントとファクス］をクリックします。

2 ［+］をクリックします。

3 ［デフォルト］をクリックし、リストに表示されたBonjour接続タイプの本機を選択します。

補 足

- ［名前］ボックスには、リストで選択したデバイス名のBonjourデバイス名が自動的に表示されます。
- リストで本機を選択しても、［ドライバ］に正しいPPDファイルが選択されません。［ドライバ］で［その他］を選択し、「/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」フォルダからPPDファイル（TOSHIBA_ColorMFP_X4.gz）を選択してください。

4 ［追加］をクリックします。

［インストール可能なオプション］画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

- **機種名**
  TOSHIBA e-STUDIO6550CSeries：e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
  TOSHIBA e-STUDIO4540CSeries：e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- **フィニッシャ**
  未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。
  ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。（e-STUDIO4540C Seriesのみ）
  サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
  サドルステッチフィニッシャ &ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **カセット**
  未装着：オプションの給紙カセットが未装着の場合に選択します。
  3段目カセット：3段目カセットを装着している場合に選択します。
  3、4段目カセット：3段目カセットおよび4段目カセットを装着している場合に選択します。
  大容量給紙装置：大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6550C Seriesのみ）**
  未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。
  装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

6 ［続ける］をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

■ プリンタの設定（Mac OS X 10.5.x）

PPDファイルをインストールしたら、プリンタを設定します。
Mac OS X 10.5.xをお使いの場合、以下の印刷方法を利用することができます。

- LPR印刷
  📖 P.137 「LPR印刷（Mac OS X 10.5.x）」
- IPP印刷
  📖 P.139 「IPP印刷（Mac OS X 10.5.x）」
- Bonjour印刷
  📖 P.141 「Bonjour印刷（Mac OS X 10.5.x）」

補 足

本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合に有効です。

□ LPR印刷（Mac OS X 10.5.x）

1 ［システム環境設定］を起動して、［プリントとファクス］をクリックします。

2 ［+］をクリックします。

3 ［IP］をクリックし、各項目を設定します。

プロトコル：　LPD（Line Printer Daemon）
アドレス：　<IPアドレスまたはDNS名>
キュー：　print
名前：　＜任意名＞
場所：　＜任意＞
ドライバ：　TOSHIBA ColorMFP-X4

補 足

- ［名前］ボックスには、［アドレス］ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- ［アドレス］ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、［ドライバ］に正しいPPDファイルが選択されません。［ドライバ］で［その他］を選択し、「/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」フォルダからPPDファイル（TOSHIBA_ColorMFP_X4.gz）を選択してください。

4 ［追加］をクリックします。

［インストール可能なオプション］画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

- **機種名**
  TOSHIBA e-STUDIO6550CSeries：e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
  TOSHIBA e-STUDIO4540CSeries：e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- **フィニッシャ**
  未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。
  ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。（e-STUDIO4540C Seriesのみ）
  サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
  サドルステッチフィニッシャ &ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。

- **カセット**
  未装着：オプションの給紙カセットが未装着の場合に選択します。
  3段目カセット：3段目カセットを装着している場合に選択します。
  3、4段目カセット：3段目カセットおよび4段目カセットを装着している場合に選択します。
  大容量給紙装置：大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6550C Seriesのみ）**
  未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。
  装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

6 ［続ける］をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

□ IPP印刷（Mac OS X 10.5.x）

Mac OS XにIPP印刷キューを作成します。

1 ［システム環境設定］を起動して、［プリントとファクス］をクリックします。

2 ［+］をクリックします。

3 ［IP］をクリックし、各項目を設定します。

プロトコル： IPP（Internet Printing Protocol）
アドレス： <IPアドレスまたはDNS名>
キュー： Print
名前： ＜任意名＞
場所： ＜任意＞
ドライバ： TOSHIBA ColorMFP-X4

補 足

- ［名前］ボックスには、［アドレス］ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- ［アドレス］ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、［ドライバ］に正しいPPDファイルが選択されません。［ドライバ］で［その他］を選択し、「/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」フォルダからPPDファイル（TOSHIBA_ColorMFP_X4.gz）を選択してください。

4 ［追加］をクリックします。

［インストール可能なオプション］画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

- **機種名**
  TOSHIBA e-STUDIO6550CSeries：e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
  TOSHIBA e-STUDIO4540CSeries：e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- **フィニッシャ**
  未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。
  ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。（e-STUDIO4540C Seriesのみ）
  サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
  サドルステッチフィニッシャ＆ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。

- **カセット**
  未装着：オプションの給紙カセットが未装着の場合に選択します。
  3段目カセット：3段目カセットを装着している場合に選択します。
  3、4段目カセット：3段目カセットおよび4段目カセットを装着している場合に選択します。
  大容量給紙装置：大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6550C Seriesのみ）**
  未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。
  装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

6 ［続ける］をクリックします。
本機がプリンタリストに追加されます。

□ Bonjour印刷（Mac OS X 10.5.x）

1 ［システム環境設定］を起動して、［プリントとファクス］をクリックします。

2 ［+］をクリックします。

3 ［デフォルト］をクリックし、リストに表示されたBonjour接続タイプの本機を選択します。

補 足

- ［名前］ボックスには、リストで選択したデバイス名のBonjourデバイス名が自動的に表示されます。
- リストで本機を選択しても、［ドライバ］に正しいPPDファイルが選択されません。［ドライバ］で［その他］を選択し、「/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj」フォルダからPPDファイル（TOSHIBA_ColorMFP_X4.gz）を選択してください。

4 ［追加］をクリックします。

［インストール可能なオプション］画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

- **機種名**
  TOSHIBA e-STUDIO6550CSeries：e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
  TOSHIBA e-STUDIO4540CSeries：e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- **フィニッシャ**
  未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。
  ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。（e-STUDIO4540C Seriesのみ）
  サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
  サドルステッチフィニッシャ&ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **カセット**
  未装着：オプションの給紙カセットが未装着の場合に選択します。
  3段目カセット：3段目カセットを装着している場合に選択します。
  3、4段目カセット：3段目カセットおよび4段目カセットを装着している場合に選択します。
  大容量給紙装置：大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6550C Seriesのみ）**
  未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。
  装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

6 ［続ける］をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

■ プリンタの設定（Mac OS X 10.4.x）

PPDファイルをインストールしたら、プリンタを設定します。
Mac OS X 10.4.xをお使いの場合、以下の印刷方法を利用することができます。

- LPR印刷
  P.143 「LPR印刷（Mac OS X 10.4.x）」
- IPP印刷
  P.145 「IPP印刷（Mac OS X 10.4.x）」
- Bonjour印刷
  P.148 「Bonjour印刷（Mac OS X 10.4.x）」

補 足

本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合に有効です。

□ LPR印刷（Mac OS X 10.4.x）

1 起動ディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を起動します。

［プリンタリスト］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［追加］をクリックします。

3 ［IPプリンタ］をクリックし、各項目を設定します。

プロトコル：　LPD（Line Printer Daemon）
アドレス：　<IPアドレスまたはDNS名>
キュー：　print
名前：　＜任意名＞
場所：　＜任意＞
使用するドライバ：　TOSHIBA ColorMFP-X4

補 足

- ［名前］ボックスには、［アドレス］ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- ［アドレス］ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力すると、［使用するドライバ］で自動的に適切なPPDファイルが選択されます。PPDファイルを自動的に選択できなかった場合は、［使用するドライバ］で［TOSHIBA］を選択し、［機種名］ボックスでPPDファイル（TOSHIBA ColorMFP-X4）を選択してください。

4 ［追加］をクリックします。

［インストール可能なオプション］画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

- **機種名**
  TOSHIBA e-STUDIO6550CSeries：e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
  TOSHIBA e-STUDIO4540CSeries：e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。

- **フィニッシャ**
  未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。
  ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。（e-STUDIO4540C Seriesのみ）
  サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
  サドルステッチフィニッシャ &ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **カセット**
  未装着：オプションの給紙カセットが未装着の場合に選択します。
  3段目カセット：3段目カセットを装着している場合に選択します。
  3、4段目カセット：3段目カセットおよび4段目カセットを装着している場合に選択します。
  大容量給紙装置：大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6550C Seriesのみ）**
  未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。
  装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

6 ［続ける］をクリックします。
本機がプリンタリストに追加されます。

□ IPP印刷（Mac OS X 10.4.x）

Mac OS XにIPP印刷キューを作成します。

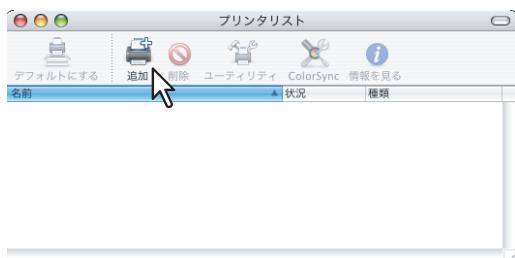
1 起動ディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を起動します。

［プリンタリスト］ダイアログボックスが表示されます。

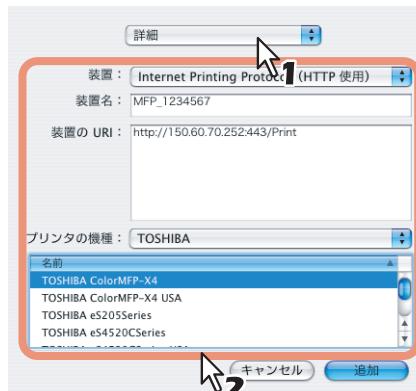
2 ［追加］をクリックします。

3 ［IPプリンタ］をクリックし、各項目を設定します。

プロトコル：　IPP（Internet Printing Protocol）
アドレス：　<IPアドレスまたはDNS名>
キュー：　Print
名前：　＜任意名＞
場所：　＜任意＞
使用するドライバ：　TOSHIBA ColorMFP-X4

補 足

- ［名前］ボックスには、［アドレス］ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- ［アドレス］欄にIPアドレスまたはDNS名を入力すると、［使用するドライバ］で自動的に適切なPPDファイルが選択されます。PPDファイルを自動的に選択できなかった場合は、［使用するドライバ］で［TOSHIBA］を選択し、［機種名］ボックスでPPDファイル（TOSHIBA ColorMFP-X4）を選択してください。

注 意

- HTTPのSSLが有効に設定されている状態のときに、本機に登録された自己証明書を削除してしまうと、TopAccessにアクセスできなくなります。この場合は、一度操作パネルからHTTPのSSLを無効に設定し、その後、TopAccessにアクセスしてHTTPのSSLを有効に再設定してください。
  HTTPの設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。また、操作パネルからの設定方法については、**設定管理ガイド**を参照してください。
- IPP SSLが有効の場合は、［option］キーを押しながら［ほかのプリンタ］をクリックします。表示されたダイアログボックスで［詳細］を選択し、他項目を以下のように設定してください。

- **装置**：Internet Printing Protocol（HTTP使用）
- **装置名**：＜任意名＞
- **装置のURI**：http://<IPアドレス>:443/Print
- **プリンタの機種**：TOSHIBA
- **PPD**：TOSHIBA ColorMFP-X4

4 ［追加］をクリックします。

［インストール可能なオプション］画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

- **機種名**
  TOSHIBA e-STUDIO6550CSeries：e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
  TOSHIBA e-STUDIO4540CSeries：e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- **フィニッシャ**
  未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。
  ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。（e-STUDIO4540C Seriesのみ）
  サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
  サドルステッチフィニッシャ&ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **カセット**
  未装着：オプションの給紙カセットが未装着の場合に選択します。
  3段目カセット：3段目カセットを装着している場合に選択します。
  3、4段目カセット：3段目カセットおよび4段目カセットを装着している場合に選択します。
  大容量給紙装置：大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6550C Seriesのみ）**
  未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。
  装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

6 ［続ける］をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

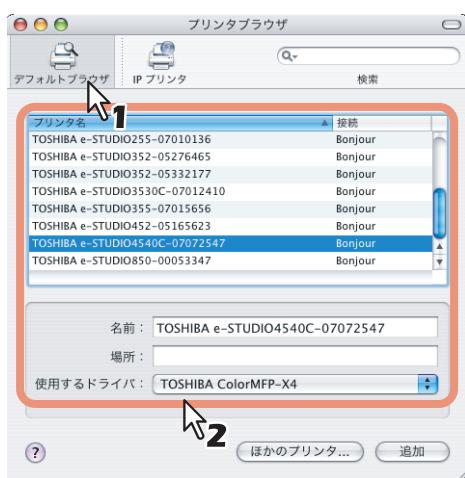
□ Bonjour印刷（Mac OS X 10.4.x）

1 **起動ディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を起動します。**

［プリンタリスト］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［追加］をクリックします。**

3 **［デフォルトブラウザ］をクリックし、リストに表示されたBonjour接続タイプの本機を選択します。**

補 足

- ［名前］ボックスには、リストで選択したデバイス名のBonjourデバイス名が自動的に表示されます。
- リストで本機を選択すると、［使用するドライバ］で自動的に適切な PPD ファイルが選択されます。PPD ファイルを自動的に選択できなかった場合は、［使用するドライバ］で［TOSHIBA］を選択し、［機種名］ボックスでPPDファイル（TOSHIBA ColorMFP-X4）を選択してください。

4 **［追加］をクリックします。**

［インストール可能なオプション］画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

- **機種名**
  TOSHIBA e-STUDIO6550CSeries：e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
  TOSHIBA e-STUDIO4540CSeries：e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- **フィニッシャ**
  未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。
  ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。（e-STUDIO4540C Seriesのみ）
  サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
  サドルステッチフィニッシャ &ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **カセット**
  未装着：オプションの給紙カセットが未装着の場合に選択します。
  3段目カセット：3段目カセットを装着している場合に選択します。
  3、4段目カセット：3段目カセットおよび4段目カセットを装着している場合に選択します。
  大容量給紙装置：大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6550C Seriesのみ）**
  未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。
  装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

6 ［続ける］をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

■ プリンタの設定（Mac OS X 10.2.4〜10.3.x）

PPDファイルをインストールしたら、プリンタを設定します。
Mac OS X 10.2.4〜10.3.xをお使いの場合、以下の印刷方法を利用することができます。

- LPR印刷
  P.150 「LPR印刷（Mac OS X 10.2.4〜10.3.x）」
- AppleTalk印刷
  P.152 「AppleTalk印刷（Mac OS X 10.2.4〜10.3.x）」
- IPP印刷
  P.154 「IPP印刷（Mac OS X 10.2.4〜10.3.x）」
- Bonjour印刷
  P.156 「Bonjour印刷（Mac OS X 10.2.4〜10.3.x）」

補 足

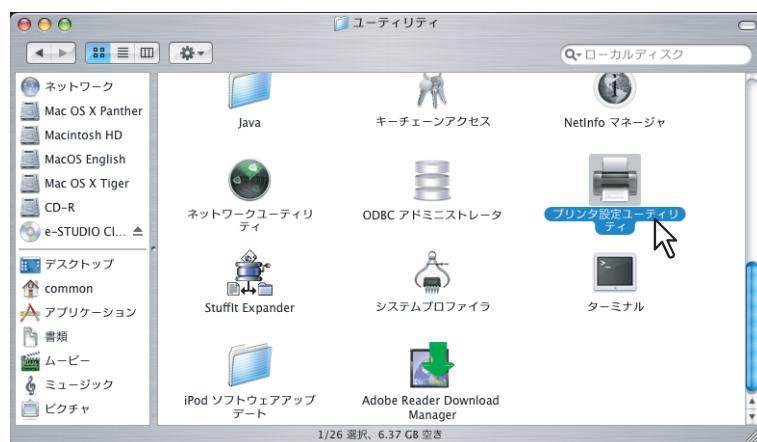
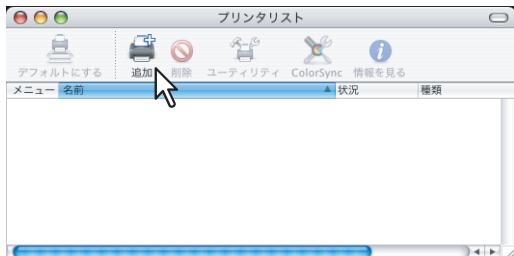
LPR印刷、IPP印刷およびBonjour印刷は、本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合に有効です。また、AppleTalk印刷は、本機とお使いのコンピュータがAppleTalkネットワークで接続されている場合に有効です。

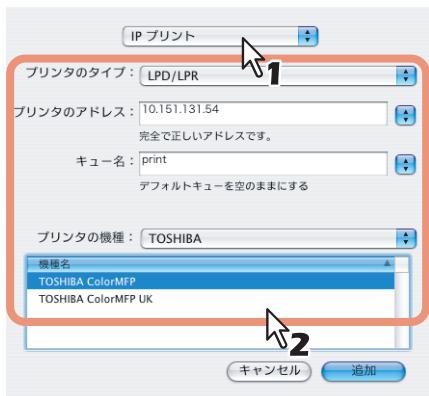
□ LPR印刷（Mac OS X 10.2.4〜10.3.x）

ここでは、Mac OS X 10.3.xにインストールする例で説明します。Mac OS X 10.2.4〜10.2.8をお使いの場合も手順は同じです。

1 起動ディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」フォルダから［プリントセンター］（Mac OS X 10.2.4〜10.2.8の場合）または［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.3.xの場合）を起動します。

Mac OS X 10.2.4〜10.2.8の場合

Mac OS X 10.3.xの場合

［プリンタリスト］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［追加］をクリックします。

3 ［IPプリント］（または［IPを使用するLPRプリンタ］）を選択し、各項目を設定します。

プリンタのタイプ：	LPD/LPR
プリンタのアドレス：	<IPアドレスまたはDNS名>
キュー名：	print
プリンタの機種：	TOSHIBA
PPD：	TOSHIBA ColorMFP

注 意

- Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合は、［プリンタのタイプ］は表示されません。
- Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合は、［サーバ上のデフォルトのキューを使う］チェックボックスをオフにしてください。

4 ［追加］をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

5 引き続き、オプション構成を設定してください。

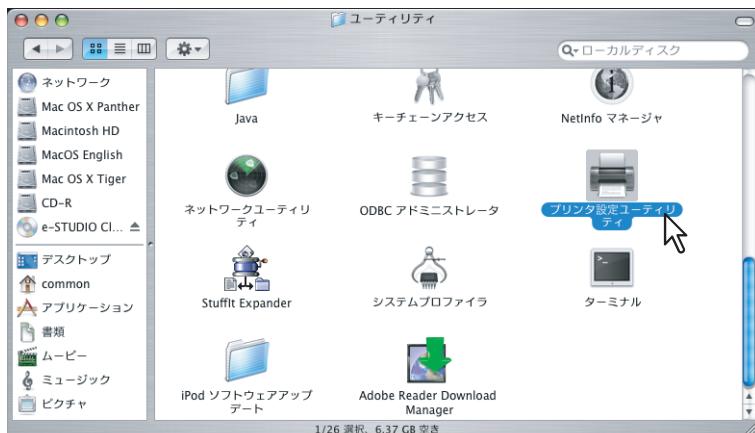
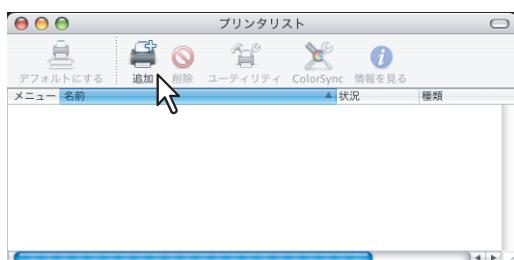
📖 P.157「オプションの設定」

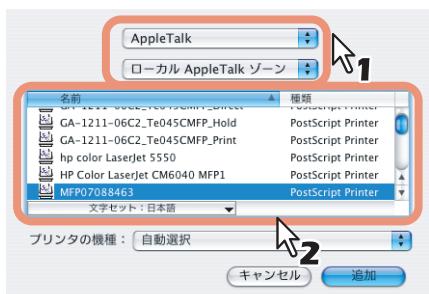
□ AppleTalk印刷（Mac OS X 10.2.4～10.3.x）

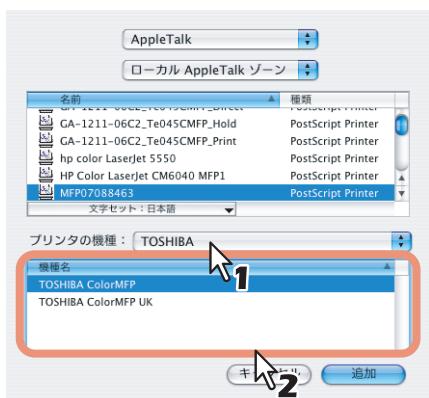
ここでは、Mac OS X 10.3.xにインストールする例で説明します。Mac OS X 10.2.4～10.2.8をお使いの場合も手順は同じです。

1 **起動ディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」フォルダから［プリントセンター］（Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合）または［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.3.xの場合）を起動します。**

Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合

Mac OS X 10.3.xの場合

［プリンタリスト］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［追加］をクリックします。**

3 ［AppleTalk］を選択し、本機が属しているゾーン名を選択し、リストに表示された本機を選択します。

AppleTalkネットワークがゾーンを使ってセットアップされていない場合は、［ローカルAppleTalkゾーン］を選択します。

4 ［プリンタの機種］で［TOSHIBA］を選択し、PPDファイル（TOSHIBA ColorMFP）を選択します。

5 ［追加］をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

6 引き続き、オプション構成を設定してください。

📖 P.157 「オプションの設定」

□ IPP印刷（Mac OS X 10.2.4～10.3.x）

Mac OS XにIPP印刷キューを作成します。
ここでは、Mac OS X 10.3.xにインストールする例で説明します。Mac OS X 10.2.4～10.2.8をお使いの場合も手順は同じです。

1 起動ディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」フォルダから［プリントセンター］（Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合）または［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.3.xの場合）を起動します。

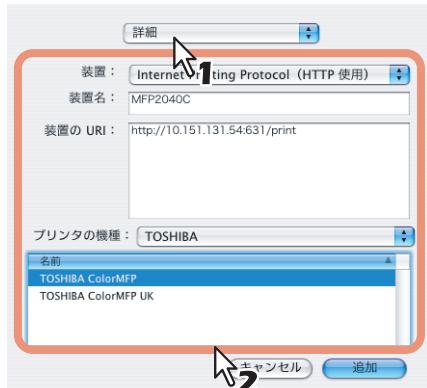
Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合

Mac OS X 10.3.xの場合

［プリンタリスト］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［option］キーを押しながら、［追加］をクリックします。

［option］キーを押して［追加］をクリックすると、［詳細］を含めたすべての印刷オプションが表示されます。

3 ［詳細］を選択し、各項目を設定します。

装置：Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合：Internet Printing Protocol（http）
Mac OS X 10.3.xの場合：Internet Printing Protocol（HTTP使用）
装置名：<任意名>
装置のURI：http://<IPアドレス>:631/Print
プリンタの機種：TOSHIBA
PPD：TOSHIBA ColorMFP

注 意

- HTTPのSSLが有効に設定されている状態のときに、本機に登録された自己証明書を削除してしまうと、TopAccessにアクセスできなくなります。この場合は、一度操作パネルからHTTPのSSLを無効に設定し、その後、TopAccessにアクセスしてHTTPのSSLを有効に再設定してください。
HTTPの設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。また、操作パネルからの設定方法については、**設定管理ガイド**を参照してください。
- IPP SSLが有効の場合は、以下のように設定してください。
  - **装置**：Internet Printing Protocol（http）
  - **装置のURI**：http://<IPアドレス>:443/Print

4 ［追加］をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

5 引き続き、オプション構成を設定してください。

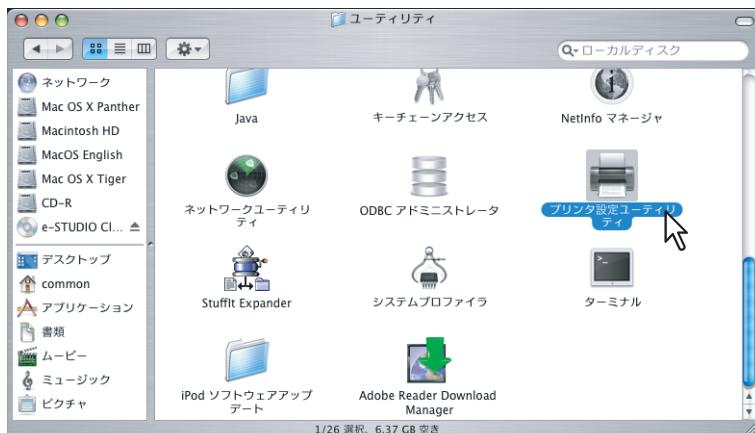
📖 P.157「オプションの設定」

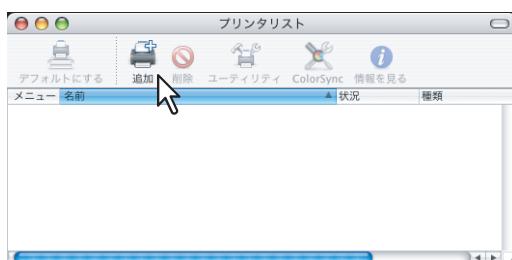
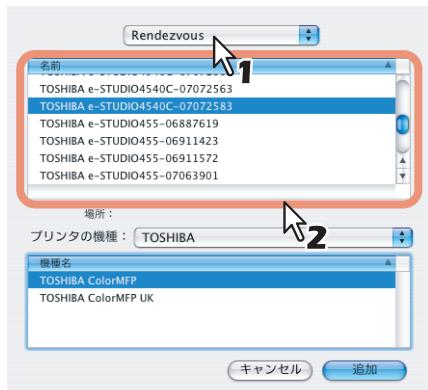
□ Bonjour印刷（Mac OS X 10.2.4～10.3.x）

ここでは、Mac OS X 10.3.xにインストールする例で説明します。Mac OS X 10.2.4～10.2.8をお使いの場合も手順は同じです。

1 **起動ディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」フォルダから［プリントセンター］（Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合）または［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.3.xの場合）を起動します。**

Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合

Mac OS X 10.3.xの場合

［プリンタリスト］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［追加］をクリックします。**

3 ［Rendezvous］を選択し、リストに表示された本機を選択します。

補 足

［名前］ボックスで本機を選択すると、自動的に適切なPPDファイルが選択されます。PPDファイルを自動的に選択できなかった場合は、［プリンタの機種］で［TOSHIBA］を選択し、［機種名］ボックスでPPDファイル（TOSHIBA ColorMFP）を選択してください。

注 意

Mac OS X 10.2.4～10.3.xでは、［Bonjour］は［Rendezvous］と表示されます。

4 ［追加］をクリックします。

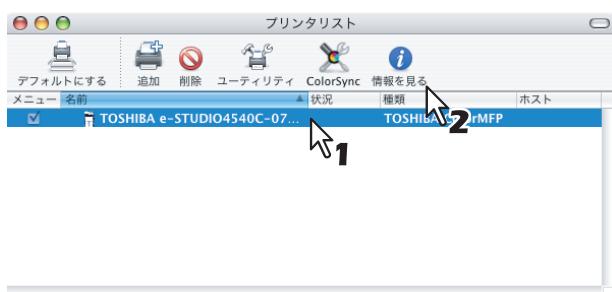
本機がプリンタリストに追加されます。

5 引き続き、オプション構成を設定してください。

P.157「オプションの設定」

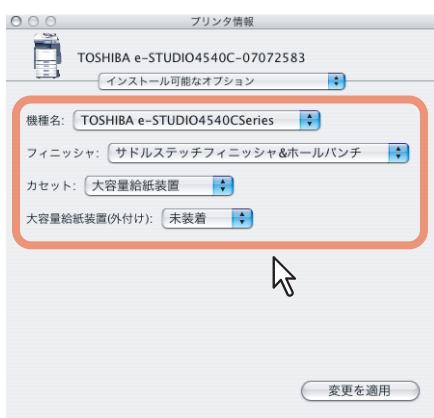
□ オプションの設定

印刷を開始する前に、オプション構成を設定します。

1 ［プリンタリスト］ダイアログボックスで、作成したプリンタを選択し［情報を見る］をクリックします。

［プリンタ情報］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［インストール可能なオプション］を選択します。

［インストール可能なオプション］画面が表示されます。

3 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

- **機種名**
  TOSHIBA e-STUDIO6550CSeries：e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
  TOSHIBA e-STUDIO4540CSeries：e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- **フィニッシャ**
  未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。
  ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。（e-STUDIO4540C Seriesのみ）
  サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
  サドルステッチフィニッシャ＆ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **カセット**
  未装着：オプションの給紙カセットが未装着の場合に選択します。
  3段目カセット：3段目カセットを装着している場合に選択します。
  3、4段目カセット：3段目カセットおよび4段目カセットを装着している場合に選択します。
  大容量給紙装置：大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6550C Seriesのみ）**
  未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。
  装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

4 ［変更を適用］をクリックし、画面を閉じます。

Macintosh PPDのアンインストール

Macintosh PPDをアンインストールするには、以下のフォルダにあるPPDファイルを削除してください。

- ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj/TOSHIBA_ColorMFP.gz
（Mac OS X 10.2.4～10.3.xをお使いの場合）
- ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj/TOSHIBA_ColorMFP_X4.gz
（Mac OS X 10.4.x～10.6.xをお使いの場合）
- ライブラリ/Printers/toshiba/filter
- ライブラリ/Printers/toshiba/Icons
- ライブラリ/Printers/toshiba/PDEs
- ライブラリ/Receipts

5

プリンタドライバのインストール（UNIX/Linux）

UNIX/Linux環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。

UNIX/Linuxフィルタの設定

■ UNIX/Linuxフィルタについて

Client Utilities CD-ROMには、UNIX/Linuxワークステーションにインストールする下記フィルタが収められています。

net_estcolor

このファイルは「/usr/lib/lp/model」にインストールされるShellスクリプトです。このファイルを使って本機特有のコマンドを含む出力コードを生成します。カスタムオプションを利用したい場合やデフォルト以外の場所にファイルをインストールした場合は、このShellスクリプトを必要に応じて変更することができます。

lpdsend

このファイルはnet_estcolorによって呼び出される実行プログラムです。この実行プログラムは、LPDプロトコルを使って印刷ファイルを本機へ送信するときに使用します。このプログラムは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされます。

lpLinux.sh（Linuxフィルタのみ）

このファイルは、lpコマンドと同様の機能を持つShellスクリプトです。このコマンドラインオプションを実行すると、System V Printフィルタと同じように機能します。このファイルは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/usr/local/bin」にlptapとしてインストールされます。

estcolorBackend（AIXフィルタのみ）

このファイルは、AIX qdaemonによって呼び出される実行ファイルです。このファイルでは、qdaemonから情報を取得し、その情報を処理してnet_estcolorのキューのコピーを呼び出して印刷を実行します。このプログラムは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされます。

estcoloradd

このファイルは、プリンタ記述を追加するためのShellスクリプトです。「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/bin」にインストールされます。

estcolorrm

このファイルは、プリンタ記述を削除するためのShellスクリプトです。「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/bin」にインストールされます。

net_estcolor.1

本機の特殊機能を説明したオンラインドキュメントを呼び出すための入力ファイルです。オンラインドキュメントはmanコマンドで呼び出すことができます。このファイルは、「/opt/toshiba/tap/man/man1」にインストールされ、シンボリックリンクが「/usr/man/man1」にインストールされます。

■ 必要条件

UNIX/Linuxワークステーションにフィルタをインストールするには、下記環境が必要です。

OS：　Sun Solaris 2.6/2.7/7.8/8/9/10
HP-UX Version 10.20/11.x
IBM AIX 4.3.3
SCO UnixWare 7
SCO Open UNIX 8
Red Hat Linux 7.x/8.x/9.x
Red Hat Enterprise WS2
SuSE Linux ver 7.x/8.x/9.x
Mandrake Linux ver 7.x/8.x/9.x
Turbolinux 8/10

プロトコル：　TCP/IP

モジュール：　Pythonがインストールされていること

注 意

- Linuxではlpdサービスが動作していること。
- UNIX/Linuxフィルタを使用して印刷するには、「Python」モジュールがお使いのUNIX/Linuxワークステーションにインストールされている必要があります。「Python」モジュールは通常「/user/bin」にインストールされています。「Python」モジュールがインストールされているかどうか「/user/bin」を確認してください。

■ ユーザ認証機能使用時の注意事項

UNIX/Linux システムではログイン名の大文字/小文字を区別しますが、本機は区別しません。したがって、UNIX/Linux システム上では異なるログイン名として扱われる ABC, Abc, abc 等は、本機ではすべて同一ログイン名として扱われます。

■ UNIX/Linuxフィルタによるプリンタの設定

UNIX/Linuxフィルタを使用してUNIX/Linuxワークステーションに印刷システムをセットアップする場合は、UNIX/Linuxフィルタをインストールし、LPRプリントキューを作成します。

□ UNIX/Linuxフィルタのインストール

UNIX/Linuxフィルタは、OS別にtarファイルがそれぞれ用意されています。TAR ファイルをルートフォルダにコピーし解凍すると、フィルタがインストールされます。

1 ルートアカウントにログインします。

2 Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

3 以下のコマンドを入力し結果を確認します：

uname

各OSにより、以下の文字が表示されたことを確認します。

- Solaris：「SunOS」、HP-UX：「HP-UX」、IBM AIX：「AIX」、Linux：「Linux」、Open UNIX：「OpenUNIX」

注 意

結果が上記と異なる場合は、管理者にお問い合わせください。

4 **tarファイルをルートフォルダにコピーします。**

各OSのtarファイルは、下記フォルダに収められています。

- Solaris：［Client Utilities CD-ROM］/Admin/SolarisFilter/Usa/
- HP-UX：［Client Utilities CD-ROM］/Admin/HP-UXFilter/Usa/
- AIX：［Client Utilities CD-ROM］/Admin/AIXFilter/Usa/
- Linux：［Client Utilities CD-ROM］/Admin/LinuxFilter/Usa/
- Open UNIX:［Client Utilities CD-ROM］/Admin/OpenUnixFilter/Usa/

5 **ルートディレクトリに移動します。**

6 **下記コマンドを入力します。**

- Solaris：
  `tar xvf solaris.tar`
- HP-UX：
  `tar xvf hpux.tar`
  `tar xvf hpux64.tar`（64ビット版用）
- IBM AIX：
  `tar xvf aix.tar`
- Linux：
  `tar xvf linux.tar`
- Open UNIX：
  `tar xvf openunix.tar`

7 **コマンドを実行すると、必要なファイルを解凍し自動的に正しい場所へインストールします。引き続き、プリントキューの設定を行います。**

📖 P.165 「プリントキューの作成」

□ プリントキューの作成

UNIX/Linuxフィルタをコピーしたら、プリントキューを作成することができます。
プリントキューの作成はestcoloraddファイルを使って作成するか、手動で作成するかの2通りの方法があります。

📖 P.165 「estcoloraddを使ってプリントキューを作成する」
📖 P.165 「手動でプリントキューを作成する」

estcoloraddを使ってプリントキューを作成する

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します：

```
estcoloradd <キュー名> <ホスト名またはIPアドレス>
```

補 足

- このコマンドでは、システムのlpadminコマンドを使ってプリントキューを作成します。また、指定したIPアドレスまたはホスト名の構成ファイルを作成します。この構成ファイルは、プリントキューの詳細を設定するのに使用します。
- lpadminコマンドでは、プリンタインターフェイスファイルをプリントキューと同名のファイルとして保存します。構成ファイルは「<キュー名>.conf」ファイルとして保存されます。それぞれのファイルの保存先はプラットフォームごとに異なります。
  - Solaris : 「/etc/lp/interfaces」
  - HP-UX : 「/etc/lp/interface」
  - IBM AIX : 「/opt/toshiba/tap/filter」
  - Linux : 「/opt/toshiba/tap/interfaces」
  - Open UNIX: 「/usr/spool/lp/admins/lp/interfaces」
- Linuxでは、estcoloraddコマンドを実行後、printtoolユーティリティを使ってlp印刷システムにプリンタを追加します。printtoolユーティリティの使用方法についてはご使用のOSの取扱説明書を参照してください。

手動でプリントキューを作成する

手動でリモートプリンタを追加し、プリントキューを作成することもできます。
手動によるプリントキューの作成手順はOSによって異なります。

📖 P.166 「手動でプリントキューを作成する（Solaris）」
📖 P.166 「手動でプリントキューを作成する（HP-UX）」
📖 P.167 「手動でプリントキューを作成する（IBM AIX）」
📖 P.168 「手動でプリントキューを作成する（Linux）」
📖 P.169 「手動でプリントキューを作成する（Open UNIX）」

注 意

手動によりプリントキューを作成する場合、シェルはBourne Shell(sh)を使用してください。

手動でプリントキューを作成する（Solaris）

1 ルートアカウントにログインします。

2 **UNIX/Linuxエディタを起動します。**

3 以下のファイルを作成します。

```
/etc/lp/interfaces/<キュー名>.conf
```

4 **<キュー名>.confファイルに、以下の行を追加します。**

```
dest=<IPアドレス>
```

5 ファイルを保存します。

6 以下のコマンドを入力し、ワーキングディレクトリを変更します。

```
/etc/lp/interfaces/
```

7 下記コマンドを入力します。

```
chmod +x <キュー名>.conf
```

8 下記コマンドを入力します。

```
chown lp:lp <キュー名>.conf
```

9 下記コマンドを入力します。

```
lpadmin -p <キュー名> -v /dev/null -I any ￥
-i /usr/lib/lp/model/net_estcolor
```

10 下記コマンドを入力します。

```
accept <キュー名>
```

11 下記コマンドを入力します。

```
enable <キュー名>
```

手動でプリントキューを作成する（HP-UX）

1 ルートアカウントにログインします。

2 **UNIX/Linuxエディタを起動します。**

3 以下のファイルを作成します。

```
/etc/lp/interface/<キュー名>.conf
```

4 **<キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。**

```
dest=<IPアドレス>
```

5 ファイルを保存します。

6 以下のコマンドを入力し、ワーキングディレクトリを変更します。

```
/etc/lp/interfaces/
```

7 下記コマンドを入力します。

```
chmod +x <キュー名>.conf
```

8 下記コマンドを入力します。

```
chown lp:lp <キュー名>.conf
```

9 下記コマンドを入力します。

```
ps -ef | grep lpsched | grep -iv grep > /dev/null 2>&1
```

10 下記コマンドを入力します。

```
echo $?
```

11 「0」が画面に表示された場合は、スケジューラをいったん終了します。下記コマンドを入力します。

```
/usr/sbin/lpshut > /dev/null 2>&1
```

12 下記コマンドを入力します。

```
/usr/sbin/lpadmin -p <キュー名> -v/dev/null ¥
-mnet_estcolor -orm <キュー名> -orpprint -ob3
```

13 下記コマンドを入力します。

```
/usr/sbin/accept <キュー名>
```

14 下記コマンドを入力します。

```
enable <キュー名>
```

15 手順10でスケジューラを終了した場合は、スケジューラを起動します。下記コマンドを入力します。

```
/usr/sbin/lpsched > /dev/null 2>&1
```

手動でプリントキューを作成する（IBM AIX）

1 下記コマンドを入力します。

```
ls /opt/toshiba/tap/filter
```

2 上記ディレクトリが存在しない場合は、下記コマンドを入力します。

```
mkdir /opt/toshiba/tap/filter
```

3 ルートアカウントにログインします。

4 UNIX/Linuxエディタを起動します。

5 以下のファイルを作成します。

```
/opt/toshiba/tap/filter/interfaces/<キュー名>.conf
```

6 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。

```
dest=<IPアドレス>
```

7 ファイルを保存します。

8 下記コマンドを入力します。

```
mkque -q<キュー名> ¥
-a 's_statfilter = /usr/lib/lpd/bsdshort' ¥
-a 'up = TRUE' -a 'host = <IPアドレス>' -a 'rq = print'
```

9 下記コマンドを入力します。

```
mkquedev -q <キュー名> -ddev_<キュー名> ¥
-a 'backend = /opt/toshiba/tap/bin/estcolorBackend''
```

10 下記コマンドを入力します。

```
cp /usr/lib/lpd/pio/predef/net_estcolor ¥
/opt/Toshiba/tap/filter/<キュー名>
```

手動でプリントキューを作成する（Linux）

1 下記コマンドを入力します。

```
ls /opt/toshiba/tap/interface
```

2 上記ディレクトリが存在しない場合は、下記コマンドを入力します。

```
mkdir /opt/toshiba/tap/interface
```

3 ルートアカウントにログインします。

4 UNIX/Linuxエディタを起動します。

5 以下のファイルを作成します。

```
/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>.conf
```

6 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。

```
dest=<IPアドレス>
```

7 ファイルを保存します。

8 下記コマンドを入力します。

```
cp /opt/toshiba/tap/model/net_estcolor ￥
/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>
```

9 下記コマンドを入力します。

```
/opt/toshiba/tap/bin/modPrintcap ￥
-a <キュー名> <IPアドレス>
```

10 下記コマンドを入力します。

```
ls /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>
```

補 足

手順10のファイルが存在しない場合は、手順1～9が正しく行われていますので手順11を行う必要はありません。そのまま手順12へ進んでください。

11 上記ファイルが存在する場合は、下記コマンドを入力します。

```
/opt/toshiba/tap/bin/printconf_import ￥
-a <キュー名> <IPアドレス> ￥
rm /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>
```

12 lpdを再起動します。

手動でプリントキューを作成する（Open UNIX）

1 ルートアカウントにログインします。

2 UNIX/Linuxエディタを起動します。

3 以下のファイルを作成します。

```
/usr/spool/lp/admins/lp/interfaces/<キュー名>.conf
```

4 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。

```
dest=<IPアドレス>
```

5 ファイルを保存します。

6 下記コマンドを入力します。

```
chmod +x <キュー名>.conf
```

7 下記コマンドを入力します。

```
chown lp:lp <キュー名>.conf
```

8 下記コマンドを入力します。

```
lpadmin -p <キュー名> -v /dev/null -I any ¥
-i /usr/lib/lp/model/net_estcolor
```

9 下記コマンドを入力します。

```
accept <キュー名>
```

10 下記コマンドを入力します。

```
enable <キュー名>
```

□ デフォルト設定の変更

以下の手順でプリントキューのデフォルト設定を変更することができます。

1 **保存されているキュー名と同名のインターフェイスファイルの内容を確認します。**

- インターフェイスファイルはそれぞれ以下のディレクトリに保存されています。
  - Solaris :「/etc/lp/interfaces」
  - HP-UX :「/etc/lp/interface」
  - IBM AIX :「/opt/toshiba/tap/filter」
  - Linux :「/opt/toshiba/tap/interface」
  - Open UNIX: 「/usr/spool/lp/admins/lp/interfaces」
- すべてのデフォルト設定の値は、このファイルに記述されています。このファイルでは大文字・小文字を区別して入力する必要があります。
  また、/bin/sh変数フォーマットに準じて記述する必要があります。

2 **構成ファイルを手動で変更するには、パラメータと値を記述した行を追加します。**

- 構成ファイルはそれぞれ以下のディレクトリに保存されています。
  - Solaris :「/etc/lp/interfaces」
  - HP-UX :「/etc/lp/interface」
  - IBM AIX :「/opt/toshiba/tap/filter」
  - Linux :「/opt/toshiba/tap/interface」
  - Open UNIX: 「/usr/spool/lp/admins/lp/interfaces」

たとえば、デフォルトの用紙向きを変更する場合は、以下の行を追加します。

```
orient= "LANDSCAPE"
```

□ プリントキューの削除

プリントキューの削除はestcolorrmファイルを使って削除するか、手動で削除するかの2通りの方法があります。

📖 P.170 「estcolorrmを使ってプリントキューを削除する」
📖 P.171 「手動でプリントキューを削除する」

estcolorrmを使ってプリントキューを削除する

estcolorrmを使って作成したキューを削除したい場合は、以下の手順に従ってキューを削除できます。

1 **ルートアカウントにログインします。**

2 **下記コマンドを入力します。**

```
estcolorrm <キュー名>
```

補 足

- このコマンドでは、システムのlpadminコマンドを使ってプリントキューと構成ファイルを削除します。
- Linuxでは、削除後lpdを再起動する必要があります。

手動でプリントキューを削除する

手動でプリントキューを削除することもできます。
手動によるプリントキューの削除手順はOSによって異なります。

P.171「プリントキューを削除する（Solaris）」
P.171「プリントキューを削除する（HP-UX）」
P.172「プリントキューを削除する（IBM AIX）」
P.172「プリントキューを削除する（Linux）」
P.172「プリントキューを削除する（Open UNIX）」

注 意

手動によりプリントキューを削除する場合、シェルはBourne Shell（sh）を使用してください。

プリントキューを削除する（Solaris）

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します。

```
lpadmin -x <キュー名>
```

3 下記コマンドを入力します。

```
rm /etc/lp/interfaces/<キュー名>.conf
```

プリントキューを削除する（HP-UX）

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します。

```
ps -ef | grep lpsched | grep -iv grep > /dev/null 2>&1
```

3 下記コマンドを入力します。

```
echo $?
```

4 「0」が画面に表示された場合は、スケジューラをいったん終了します。下記コマンドを入力します。

```
/usr/sbin/lpshut > /dev/null 2>&1
```

5 下記コマンドを入力します。

```
/usr/sbin/lpadmin -x<キュー名>
```

6 下記コマンドを入力します。

```
rm /etc/lp/interface/<キュー名>.conf
```

7 手順4でスケジューラを終了した場合は、スケジューラを起動します。下記コマンドを入力します。

```
/usr/sbin/lpsched > /dev/null 2>&1
```

プリントキューを削除する（IBM AIX）

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します。

```
rm /opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>
```

3 下記コマンドを入力します。

```
rm /opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>.conf
```

4 下記コマンドを入力します。

```
rmquedev -q<キュー名> -ddev_<キュー名>
```

5 下記コマンドを入力します。

```
rmque -q<キュー名>
```

プリントキューを削除する（Linux）

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します。

```
rm /opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>
```

3 下記コマンドを入力します。

```
rm /opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>.conf
```

4 下記コマンドを入力します。

```
/opt/toshiba/tap/bin/modPrintcap -d <キュー名>
```

5 下記コマンドを入力します。

```
ls /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>
```

6 上記ファイルが存在している場合は、下記コマンドを入力します。

```
/opt/toshiba/tap/bin/printconf_import -d <キュー名> ￥
rm /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>
```

7 lpdを再起動します。

プリントキューを削除する（Open UNIX）

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します。

```
lpadmin -x <キュー名>
```

3 下記コマンドを入力します。

```
rm /usr/spool/lp/admins/lp/interfaces/<キュー名>.conf
```

CUPSの設定

CUPSを使用してUNIX/Linuxワークステーションに印刷システムをセットアップする場合は、LPR印刷またはIPP印刷を設定することができます。

注 意

CUPS を使用して印刷する場合は、印刷する用紙サイズを選択することができません。その場合はフィルタを使って印刷してください。

■ CUPSについて

本機のCUPSプリンタドライバのインストール方法について説明します。ここでは、CUPS v1.1.15の環境の場合を例に説明しています。異なるバージョンをお使いの場合は、説明と画面が異なる場合があります。

CUPS環境では、実際にはプリンタドライバではなくPPDファイルを使用して印刷をセットアップします。

動作環境

CUPSプリンタドライバは以下のUNIX/Linuxワークステーションをサポートしています。

- Red Hat 8.0 CUPS 1.1.18

導入方法

このドライバは、XPPやKPrinterなどのインターフェイスで使用するよう設計されています。このドライバを、Linux環境と同じようにOS X環境で使用することもできますが、OS X環境での使用は推奨していません。

使用コンポーネント

「TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz」にCUPS環境用のPPDファイルが圧縮されています。Linux環境では、圧縮ファイルをそのまま使用することができます。解凍せずにそのまま使用してください。

PPDファイルを初期設定のディレクトリにコピーする場合、ユーザはルートディレクトリへのアクセス権が必要になります。CUPS用PPDファイルは、通常以下のディレクトリにコピーしてください。

/usr/share/cups/model/Toshiba

■ CUPSによるプリンタの設定

LPR印刷またはIPP印刷をCUPSに設定することができます。

□ CUPSのインストール（LPR印刷）

CUPSを設定するには、PPDファイルをお使いのUNIX/Linuxワークステーションにコピーして、プリンタをインストールし、PPDの設定を行います。プリンタのインストールおよびPPDの設定は、ブラウザを使って操作します。

PPDファイルはルートディレクトリにコピーして展開します。PPDファイルの展開後にCUPS daemonをリスタートします。

1 **Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**

2 **ルートアカウントにログインします。**

3 **コマンドラインからCD-ROMのドライブに移動して、以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリにtarファイルをコピーします。**

```
cp TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar /
```

tarファイルは、CD-ROMの「Admin/CUPS/Usa」フォルダに収録されています。

4 **以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリに移動します。**

```
cd /
```

5 **以下のコマンドを入力し、tarファイルを展開します。**

```
tar xvf TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar
```

コマンドを実行すると、PPDファイルとFilterファイルが自動的に正しい場所にインストールされます。

- Linux環境以外をお使いの場合、またはCUPSシステムを標準インストールして使用していない場合は、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動し、PPDファイルを編集する必要がありますので、次の手順に進みます。
- Linux 環境をお使いの場合で、CUPS システムを標準インストールして使用している場合は手順 11 に進みます。

6 **以下のコマンドを入力し、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動します。**

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
mv TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
cd /usr/lib/cups/filter/Toshiba
mv est6550_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

補 足

PPDファイルとFilterファイルの正しい場所についてはシステム管理者に問い合わせてください。

7 **以下のコマンドを入力し、PPDファイルの移動先ディレクトリに移動します。**

cd PPDファイルの移動先ディレクトリ

8 **以下のコマンドを入力し、PPDファイルを解凍します。**

```
gunzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz
```

9 **エディタなどを使って、TOSHIBA_ColorMFP_CUPSファイルの以下の記述（60行目）の下線部分を正しいFilterファイルの格納先ディレクトリに修正します。**

*cupsFilter: "application/vnd.cups-postscript 0 /<u>usr/lib/cups/filter/Toshiba</u>/est6550_Authentication"

10 **以下のコマンドを入力し、PPDファイルを圧縮します。**

```
gzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS
```

11 以下のコマンドを入力します

```
service lpd stop
```

Red Hat Linuxをお使いの場合は、次の手順に進みます。Red Hat Linux以外をお使いの場合は、手順17に進みます。

12 Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力します。

```
/usr/bin/redhat-switch-printer
```

[redhat-switch-printer] ダイアログボックスが表示されます。

13 [CUPS] を選択し、[OK] をクリックします。

[情報] ダイアログボックスが表示されます。

14 [OK] をクリックします。

15 以下のコマンドを入力します。

```
service cups start
```

注 意

すでにCUPSサービスが起動している場合は、「service cups stop」コマンドを入力してCUPSサービスを停止してから、上記コマンドを入力してCUPSサービスの起動を行ってください。

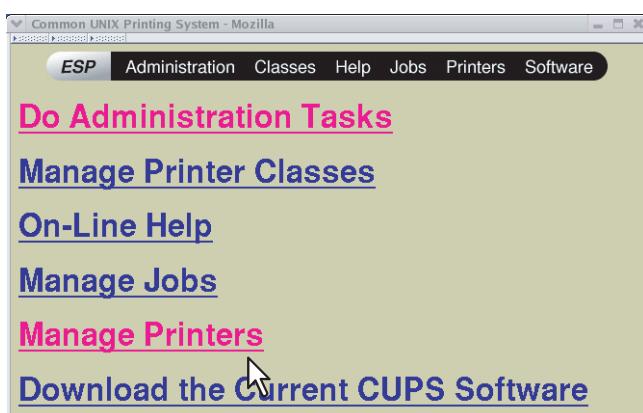
16 以下のコマンドを入力します。

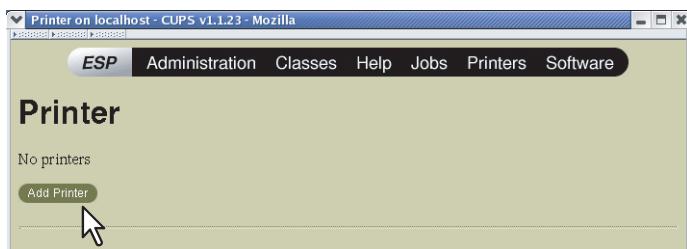
```
/usr/bin/cupsconfig
```

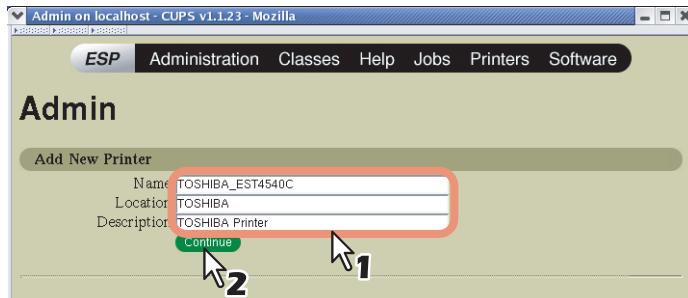
[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。手順18に進みます。

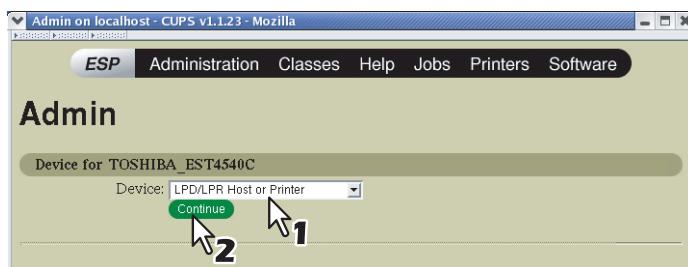
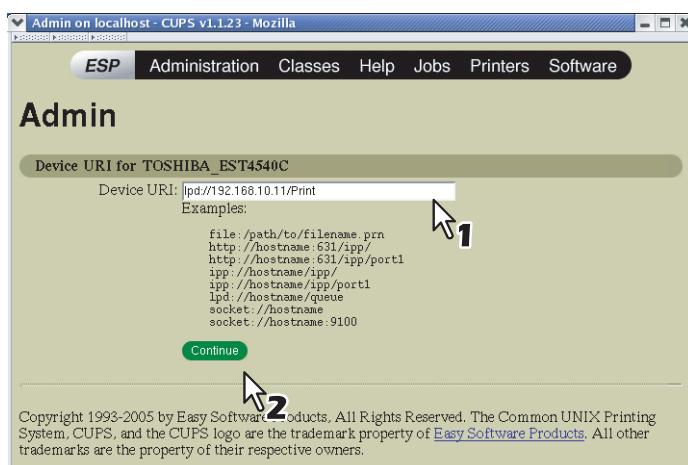
17 ブラウザを起動し、「http://localhost:631/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。

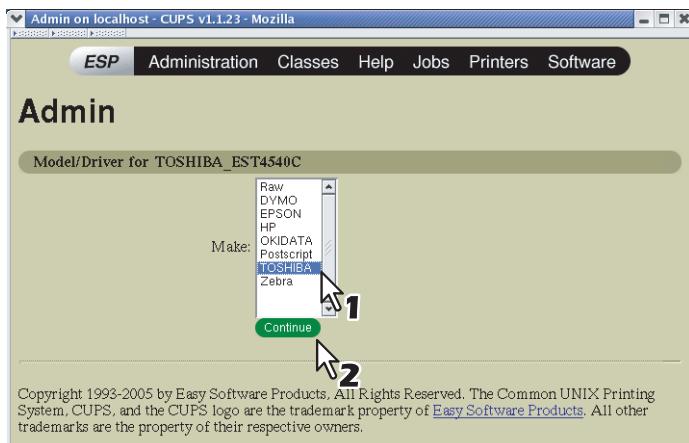
18 [Manage Printers] リンクをクリックします。

[Printer] ページが表示されます。

19 [Add Printer] をクリックします。

[Admin] ページが表示されます。

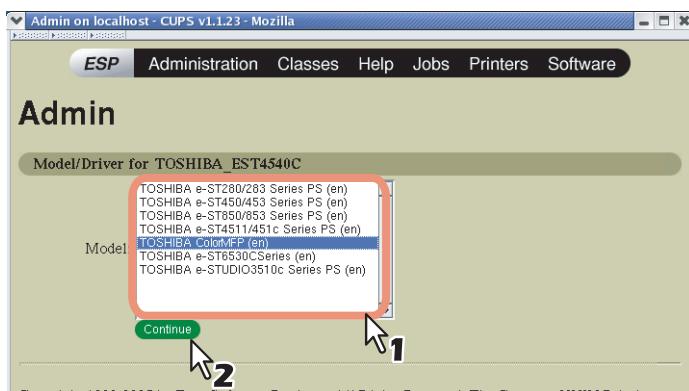
20 プリンタ名、設置場所、詳細説明を入力し、［Continue］をクリックします。

すでに追加されているプリンタと同名のプリンタ名を入力した場合は、既存のプリンタ設定を上書きします。

21 「Device」ドロップダウンメニューで「LPD/LPR Host or Printer」を選択し、［Continue］をクリックします。

22 ［Device URI］ボックスに「lpd://<IP address>/Print」と入力し、［Continue］をクリックします。

注 意

デバイスURIに指定するアドレスの「Print」の「P」は、必ず大文字で入力してください。

23 ［Make］ボックスで［TOSHIBA］を選択し、［Continue］をクリックします。

注 意

［Make］ボックスに［TOSHIBA］が表示されていない場合は、CUPSを再起動してください。

24 ［Model］ボックスでPPDを選択し、［Continue］をクリックします。

25 プリンタの追加が正常に完了したメッセージが表示されたら、プリンタ名リンクをクリックします。

26 以下の手順へ進んで、印刷オプションの設定を行ってください。

P.181 「印刷オプションの設定」

□ CUPSのインストール（IPP印刷）

Linux OSにIPP印刷を設定する場合は、以下の手順で行います。

本機でIPP SSLが有効になっている場合

本機でIPP SSLが有効になっている場合は、Linux OSで以下の設定を行ってください。

- OpenSSLをインストールする
- CUPSを「--enable-ssl」オプションで設定する
- HTTPSシンボリックを「/usr/lib/cups/backend」ディレクトリに作成する
  1. 「アプリケーション：ユーティリティ」フォルダにある「ターミナル」を起動し、ルート権限でログインします。
     - ルート権限でログインするには「su」または「sudo -s」でログインします。
  2. 以下のコマンドを入力します。
     ```
     cd /usr/lib/cups/backend
     ```
  3. 以下のコメントを入力します。
     ```
     ln -s ipp https
     ```
  4. CUPSを再起動します。
- IPP SSL証明書を「/etc/cups」ディレクトリに作成する
  1. 以下のコマンドを入力します。
     ```
     mkdir ssl folder in /etc/cups
     ```
  2. 以下のコマンドを入力します。
     ```
     openssl reg -new -x509
     -keyout /etc/cups/ssl/server.key
     -out /etc/cups/ssl/server.crt -days 365 -nodes
     ```

     注 意

     - 上記コマンドは1行のコマンドとして改行を含めずに入力する必要があります。
     - 以下の項目を入力するように要求されます。
       country/state/province/locality/organization/organizational unit/common nameおよびe-mail address

  3. 以下のコマンドを入力します。
     ```
     chmod 600 /etc/cups/ssl/server.*
     ```
  4. 「/etc/cups」ディレクトリにある「cupsd.conf」ファイルに以下の行を追加します。
     ```
     SSLPort 443
     ServerCertificate /etc/cups/ssl/server.crt
     ServerKey /etc/cups/ssl/server.key
     ```
  5. 以下のコマンドを入力し、CUPSを再起動します。
     ```
     Service cups restart
     ```

1 Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

2 ルートアカウントにログインし、「/usr/share/cups/model/」ディレクトリに「Toshiba」ディレクトリを作成します。

3 以下のコマンドを入力し、「/usr/share/cups/model/Toshiba」ディレクトリにGZIPファイルをコピーします。

```
cp TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz /usr/share/cups/model/Toshiba
```

GZIPファイルは、CD-ROMの「Admin/CUPS/Usa」フォルダに収録されています。

4 以下のコマンドを入力します。

```
service lpd stop
```

注 意

lpdがすでに終了している場合は「Failed」メッセージが表示されます。

- Red Hat Linuxをお使いの場合は、次の手順に進みます。
- Red Hat Linux以外をお使いの場合は、手順8に進みます。

5 Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力します。

```
/usr/bin/redhat-switch-printer
```

[redhat-switch-printer] ダイアログボックスが表示されます。

6 [CUPS] を選択し、[OK] をクリックします。

[情報] ダイアログボックスが表示されます。

7 [OK] をクリックします。

8 以下のコマンドを入力します。

```
service cups start
```

9 ブラウザを起動し、「http://localhost:631/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。

注 意

IPP SSLが有効の場合は「https://local host:443/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

補 足

Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力して、「Common UNIX Printing System」ページにアクセスします。

```
/usr/bin/cupsconfig
```

10 [Manage Printers] リンクをクリックします。

[Printer] ページが表示されます。

11 [Add Printer] をクリックします。

12 新しいHTTPプリンタを追加します。

各設定は、以下のように設定してください。

Name: <任意名>
Location: <オプション>
Description: <オプション>
Device: Internet Printing Protocol（http）
Device URL: http://<IPアドレス>:631/Print
Model/Driver: TOSHIBA

注 意

IPP SSLが有効の場合は、以下のように設定してください。

- **Device**: Internet Printing Protocol（https）
- **Device URL**: https://<IPアドレス>:443/Print

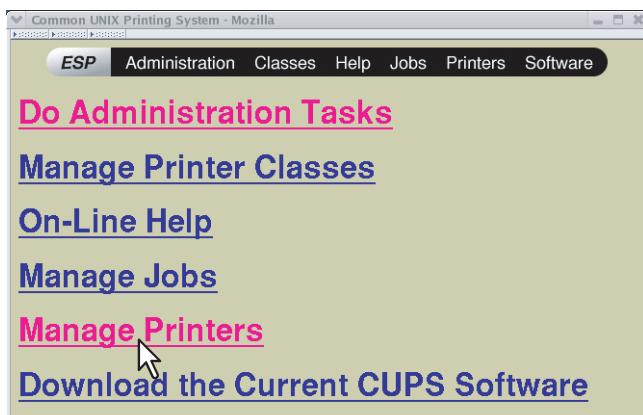
13 プリンタの追加が正常に完了したメッセージが表示されることを確認します。

14 引き続いて以下のページに進み、印刷オプションの設定を行います。

📖 P.181 「印刷オプションの設定」

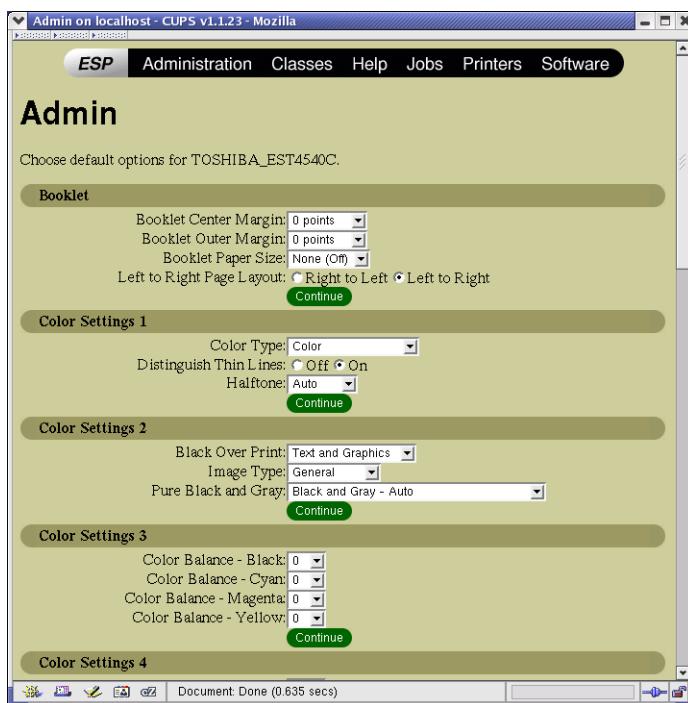
□ 印刷オプションの設定

CUPSを使用した印刷ジョブに適用される印刷オプションの設定を行います。

1 スタートページの［Manage Printers］リンクをクリックします。

［Printer］ページが表示されます。

2 本機を選択し、［Configure Printer］をクリックします。

3 表示されたページで、印刷オプションの設定を行います。

- 画面は英文で表示されます。
- アンダーラインの付いたオプションはデフォルト値を示しています。

Booklet（マガジンソート）

項目	選択肢	説明
Booklet Center Margin マガジンソート中央余白	0～36（3ポイント単位）	見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。
Booklet Outer Margin マガジンソート外側余白	0～72（6ポイント単位）	ページの上下左右の余白を選択します。
Booklet Paper Size マガジンソート用紙サイズ	None (Off) Letter A4 Legal Statement Ledger Folio A3 A5 B4 B5 Computer 13" LG 8.5" SQ 8K 16K	マガジンソート印刷に使用する用紙サイズを選択します。各用紙の片面に2ページずつ印刷され、中折りされます。出力サイズは、用紙サイズの半分になります。
Left to Right Page Layout 左開き	Right to Left Left to Right	左から右に読むように印刷を行う場合にチェックします。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

Color Settings 1（カラー設定1）

項目	選択肢	説明
Color Type カラータイプ	Mono Auto Color Black and Red Black and Green Black and Blue Black and Cyan Black and Magenta Black and Yellow Black and White	印刷ジョブをカラーで印刷するか、モノクロで印刷するか、2色印刷するかを選択します。
Resolution 解像度	600dpi, 1200dpi	印刷時の解像度選択します。 **注 意** Resolutionは、e-STUDIO6550C Seriesのみ選択することができます。
Distinguish Thin Lines 細線をはっきりと印刷する	Off, On	細線をはっきりと印刷するかを選択します。
Halftone ハーフトーン	Auto Detail Smooth	印刷時のハーフトーンの処理（自動、詳細（高密度）またはスムーズ（諧調をなめらかに））を選択します。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

Color Settings 2（カラー設定2）

項目	選択肢	説明
Black Overprint ブラックオーバープリント	Off Text Text and Graphics	黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントする場合にText and Graphicsをします。プリンタはまずフルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、線画を出力します。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。
Image Type 原稿種類	General Photo Presentation Line Art	ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。
PostScript Overprint PostScriptオーバープリント	Off, On	アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトをオーバープリント印刷するかを選択します。 **注 意** Color Settings 1（カラー設定1）のColor Type（カラータイプ）で［Color］または［Auto］を選択した場合のみ、設定をすることができます。
Pure Black and Gray 黒とグレーの印字方法	Off Black - Auto Black - Text Black - Text & Graphic Black - Text, Graphic & Image Black & Gray - Auto Black & Gray - Text Black & Gray - Text & Graphic Black & Gray - Text, Graphic & Image	黒とグレーの部分をKトナーでどのように印字するかを選択します。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

Color Settings 3（カラー設定3）

項目	選択肢	説明
Color Balance - Black カラーバランス - 黒	-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4	黒トナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Cyan カラーバランス - シアン	-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4	シアントナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Magenta カラーバランス - マゼンタ	-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4	マゼンタトナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Yellow カラーバランス - 黄	-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4	黄トナーの印字濃度を設定します。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

Color Settings 4（カラー設定4）

項目	選択肢	説明
Background Adjustment 背景調整	-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4	下地濃度を設定します。
Brightness 明るさ	-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4	明るさを設定します。
Contrast コントラスト	-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4	コントラストを設定します。
Saturation 彩度	-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4	彩度を設定します。
Sharpness シャープネス	-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4	シャープネスを設定します。
Use Sharpness Filter シャープネスフィルタを使用する	Off, On	このオプションをオンにすると、Sharpness（シャープネス）を設定することができます。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

Finishing（出力トレイ）

項目	選択肢	説明
Destination 排紙先	**e-STUDIO4540C Series** Printer's Default Exit Tray Tray 1 Tray 2 **e-STUDIO6550C Series** Printer's Default Upper Exit Tray Side Exit Tray Tray 1 Tray 2	排出先を選択します。
Folding 中折り	Off, On	中折り印刷を行うかを選択します。
Hole Punch ホールパンチ	Off Long Edge Punch without rotation Short Edge Punch without rotation Long Edge Punch with 180 degree rotation Short Edge Punch with 180 degree rotation	印刷文書にホールパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。
Stapling ステイプル	Off Upper Left (Portrait)/ Upper Right (Landscape) Middle Left (Portrait)/ Middle Top (Landscape) Lower Left (Portrait)/ Upper Left (Landscape) Upper Right (Portrait)/ Lower Right (Landscape) Middle Right (Portrait)/ Middle Bottom (Landscape) Lower Right (Portrait)/ Lower Left (Landscape) Middle Top (Portrait)/ Middle Right (Landscape) Middle Bottom (Portrait) /Middle Left (Landscape) Saddle Stitch (Portrait)/ Saddle Stitch (Landscape)	部ごとに用紙をステイプル留めして排紙するかを設定します。 **注 意** 「Saddle Stitch (Portrait)/Saddle Stitch (Landscape)」は、サドルステッチフィニッシャが装着されている場合のみ指定することができます。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

General（一般設定）

項目	選択肢	説明
Collate 丁合	Yes, No	丁合を行うかを選択します。
Duplex 両面印刷、とじしろ	1-Sided	片面印刷
	2-Sided, No Tumble (Long-Edge Binding)	両面印刷（長手綴じ）
	2-Sided, Tumble (Short-Edge Binding)	両面印刷（短手綴じ）
Media Size 用紙サイズ	A3, A4, A5, A6, B4, B5, Ledger, Legal, Letter, Statement, Folio, Computer, 13" LG, 8.5" SQ, 12×18", 305×457 mm, 8K, 16K, 320 ×450 mm, 320 ×460 mm, 13×19"	用紙サイズを選択します。 **注 意** 13×19"は、e-STUDIO6550C Seriesのみ選択することができます。
Media Source 給紙元	Auto (Default) Drawer 1 Drawer 2 LCF External LCF Drawer 3 Drawer 4 Bypass Tray Plain Plain (Auto) Plain 1 Plain 2 Thick 1 Thick 1 (Back) Thick 2 Thick 2 (Back) Thick 3 Thick 3 (Back) Thick 4 Thick 4 (Back) Transparency Recycled Special 1 Special 1 (Back) Special 2 Special 2 (Back)	給紙元または用紙タイプを選択します。 **注 意** • Plain (Auto)、Plain 1、Plain 2は、e-STUDIO6550C Seriesのみ選択することができます。 • External LCFは、e-STUDIO6550C Seriesのみ選択することができます。 • Plainは、e-STUDIO4540C Seriesのみ選択することができます。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

Options Installed（オプション設定）

項目	選択肢	説明
Model Selection 機種名	TOSHIBA e-STUDIO6550C Series TOSHIBA e-STUDIO4540C Series	
Drawers カセット	Not Installed Drawer 3 Drawer 3 & 4 LCF	オプションの給紙カセットの組み合わせを選択します。
Finisher フィニッシャ	**e-STUDIO4540C Series** Not Installed Hanging Finisher Saddle Stitch Finisher Saddle Stitch Finisher and Hole Punch **e-STUDIO6550C Series** Not Installed Saddle Stitch Finisher Saddle Stitch Finisher and Hole Punch	オプションのフィニッシャ類の装着を設定します。
External LCF 大容量給紙装置	Not Installed Installed	オプションの大容量給紙装置の装着を設定します。 注意 External LCFは、e-STUDIO6550C Seriesのみ選択することができます。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

Printing Modes（印刷種別）

項目	選択肢	説明
Department Code 部門コード	Disabled（無効） Enabled（有効）	印刷の際に部門コードを使用するかを選択します。 本機が部門コードで管理されている場合に、このオプションを有効にします。
Do not Print Blank Pages 白紙は印字しない	Off, On	白紙ページを印刷するか選択します。
Print Mode 印刷モード	Normal Proof Private - Password Hold	印刷モードを選択します。
Toner Save トナー節約	Off, On	トナーを節約して印刷するかを選択します。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

Printing Modes DC（部門コード）

項目	選択肢	説明
Department Code(DC) - Digit 1 to Digit 5 部門コード 1桁目～5桁目	0 to 9	上記Printing ModesのDepartment Codeを有効にした場合は、5桁の部門コードを指定します。 使用する部門コードについては、管理者にお問い合わせください。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

Private Document Password（プライベート印刷パスワード）

項目	選択肢	説明
Password - Digit 1 to Digit 5 パスワード 1桁目～5桁目	0 to 9	Print Modeで「Private - Password」を選択した場合に、5桁のパスワードを指定します。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

Banners（バナー）

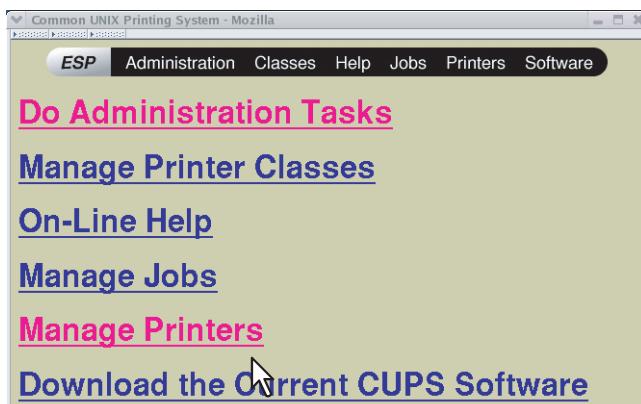
項目	選択肢	説明
Starting Banner 書類の前に	none	文書の前にバナーページを挿入して印刷するかを選択します。挿入する場合は、以下から選択します。
	classified	機密扱い
	confidential	極秘
	secret	機密
	standard	標準
	topsecret	最高機密
	unclassified	非機密扱い
Ending Banner 書類の後に	none	文書の後にバナーページを挿入して印刷するかを選択します。挿入する場合は、以下から選択します。
	classified	機密扱い
	confidential	極秘
	secret	機密
	standard	標準
	topsecret	最高機密
	unclassified	非機密扱い
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

PS Binary Protocol

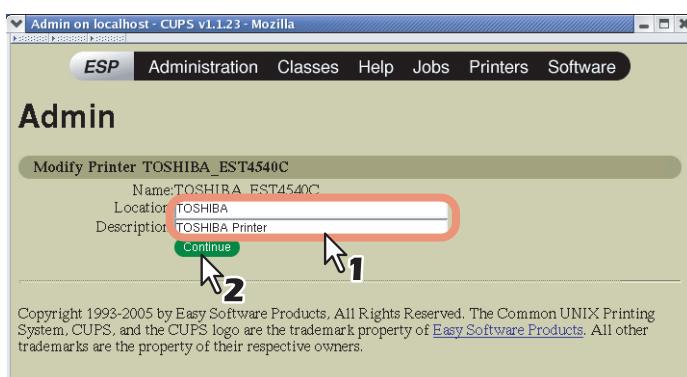
項目	選択肢	説明
PS Binary Protocol PSバイナリプロトコル	None, TBCP	PostScriptを使用して印刷データをバイナリ処理し、TBCPプロトコルを使って印刷を行うかを選択します。
［Continue］ボタン	上記の選択値を確定します。	

□ プリンタの変更

追加した後にプリンタの設置場所や詳細説明の内容を変更したい場合は、以下の手順で行います。

1 **スタートページの［Manage Printers］リンクをクリックします。**

［Printer］ページが表示されます。

2 **［Modify Printer］をクリックします。**

3 **設置場所および詳細説明の内容を変更し、［Continue］をクリックします。**

□ プリンタのアンインストール

追加したプリンタを削除する場合は、以下の手順で行います。

1 **スタートページの［Manage Printers］リンクをクリックします。**

［Printer］ページが表示されます。

2 **［Delete Printer］をクリックします。**

プリンタが削除されます。

3 **「/usr/share/cups/model/Toshiba」ディレクトリにコピーしたPPDファイルを削除します。**

6

スキャンドライバ&ユーティリティのインストール

スキャンドライバ&ユーティリティのインストール手順について説明しています。

インストールする前に

この章では、本機からネットワークスキャン機能を使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

■ スキャンドライバ&ユーティリティの種類

スキャン機能を使用するには、本機のクライアントソフトウェアである下記ユーティリティをお使いのコンピュータにインストールします。

TWAINドライバ

ファイリングボックスに保管された文書をTWAIN対応アプリケーションに画像として取り込むことができます。

ファイルダウンローダ

ファイリングボックスに保管された文書をお使いのコンピュータのハードディスクにファイルとして取り込むことができます。

Remote Scanドライバ

お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をTWAIN対応アプリケーションに取り込むことができます。

WIAドライバ

お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をWIA対応アプリケーションに取り込むことができます。

■ 必要条件

Windowsコンピュータにスキャンドライバ&ユーティリティをインストールするには、以下の環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
  1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
  High Color （16ビット）以上を推奨
- **CPU**
  Pentium 133 MHz（Pentium 266 MHz以上を推奨）
- **OS**
  Windows XP Service Pack 2以降
  Windows Vista Service Pack 1以降
  Windows 7
  Windows Server 2003 Service Pack 2
  Windows Server 2008 Service Pack 1以降

注 意

- TWAINドライバ、ファイルダウンローダおよびRemote Scanドライは、上記OSの64ビット版をサポートしていません。
- WIAドライバは、Windows XP / Windows Server 2003の64ビット版をサポートしていません。

- **推奨メモリ**
  A4/LTサイズの600dpiカラー文書/600dpiブラック文書の取り込み：256MB

□ スキャンドライバ&ユーティリティがすでにインストールされている場合

すでに他のClient CD-ROMからスキャンドライバ＆ユーティリティがインストールされている場合は、本機のClient Utilities CD-ROMからスキャンドライバ＆ユーティリティをインストールし、ソフトウェアをアップデートしてください。

スキャンドライバ&ユーティリティを本機のClient Utilities CD-ROMからインストールしたい場合は、スキャンドライバ&ユーティリティをいったんアンインストールしてから、インストールしてください。また、スキャンドライバ&ユーティリティをアンインストールする際に、設定情報を削除するかしないかのメッセージが表示されますので、[いいえ]をクリックして、設定情報を残すようにします。設定情報を残しておくと、再度インストールしたときにそのまま設定を引き継ぐことができます。

スキャンドライバ&ユーティリティのインストール

お使いのコンピュータにスキャンドライバやスキャンユーティリティをインストールします。

■ インストール手順

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。ただし、WIAドライバをWindows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008へインストールする場合は、別の手順で操作する必要がありますので下記項目を参照してください。

📖 P.198 「WIAドライバをWindows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008へインストール」

注 意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。

- CD-ROMの「e-STUDIO」フォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
- [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、「Administrators」のパスワードを入力した後、[はい]([OK])をクリックします。

1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、CD-ROMの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。

メインメニューが表示されます。

3 [スキャンユーティリティ] をクリックします。

4 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール]をクリックします。

- これらをインストールするフォルダを変更できます。[参照]をクリックして[フォルダの参照]ダイアログボックスが表示されたら、インストール先のフォルダを選択して[OK]をクリックします。
- インストールが開始されます。

5 インストールが完了したら、[終了]をクリックします。

メインメニューが表示されます。

注 意

再起動を要求する画面が表示されることがあります。その場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]をクリックします。

6 [Exit]をクリックします。

インストール作業の終了を確認するメッセージが表示されますので、[はい]をクリックしてください。

■ WIAドライバをWindows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008へインストール

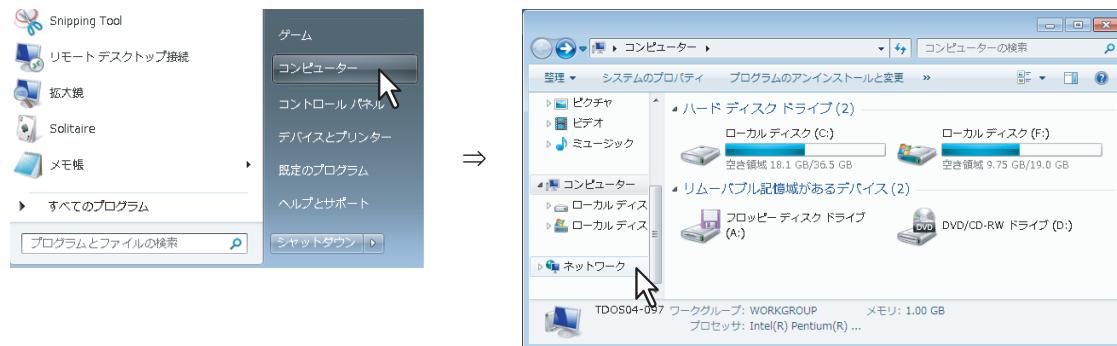
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注 意

- Windows Server 2003またはWindows Server 2008をお使いの場合は、WIAドライバをインストールする前に以下の設定を行ってください。
  - Windows Server 2003の場合
    ［管理ツール］の［サービス］から［Windows Image Acquisition (WIA)］を選択し、スタートアップの種類を［自動］に設定してください。
  - Windows Server 2008の場合
    ［管理ツール］の［サーバーマネージャー］から［デスクトップエクスペリエンス］をインストールしてください。
    ［管理ツール］の［サービス］から［Windows Image Acquisition (WIA)］を選択し、スタートアップの種類を［自動］に設定してください。
    ［管理ツール］の［サービス］から［PnP-X IP Bus Enumerator］を選択し、スタートアップの種類を［自動］に設定してください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
  ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。

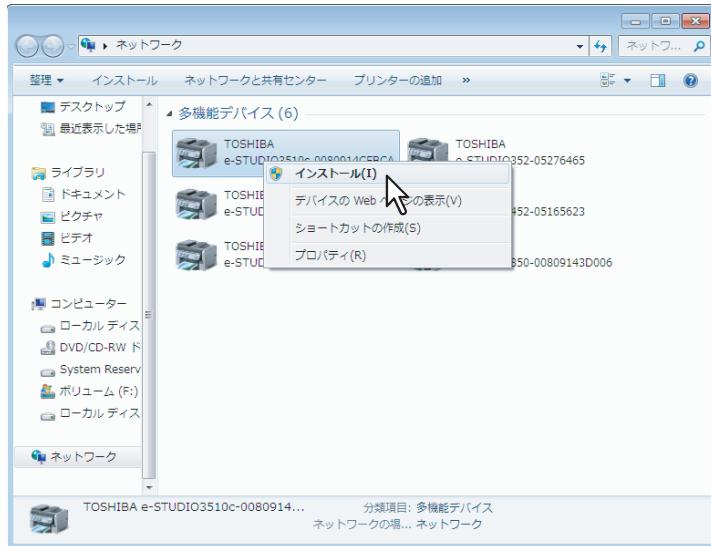
1 **［ネットワーク画面］を表示します。**

- Windows 7をお使いの場合
  ［スタート］→［コンピューター］→［ネットワーク］の順にクリックします。

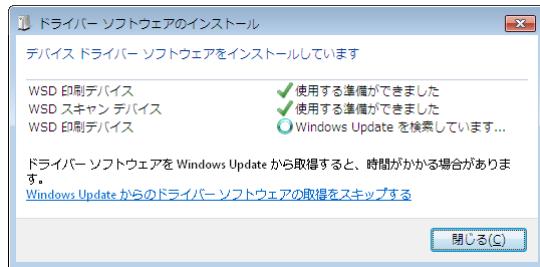
⇒

- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
  ［スタート］→［ネットワーク］をクリックします。

注 意

WIAドライバのインストールを開始するには、お使いのコンピュータにスキャンユーティリティがインストールされている必要があります。
スキャンユーティリティのインストール方法については、以下のページを参照してください。
📖 P.196 「インストール手順」

2 本機を選択して右クリックし、[インストール] をクリックします。

- Windows 7をお使いの場合は、インストールが開始されます。手順4へ進みます。

補 足

タスクバーに表示される アイコンをクリックすると、インストール状況を示す下記画面が表示されます。

- Windows VistaまたはWindows Server 2008をお使いの場合は、[PnPX Device Association] がタスクバーに表示されます。次の手順に進んでください。

3 タスクバーに表示された [PnPX Device Association] をクリックします。

インストールが開始されます。

4 インストールが完了します。

アンインストールする

スキャンドライバ＆ユーティリティを削除する場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールの手順については、以下を参照してください。
📖 P.214 「クライアントソフトウェアの削除」

WIAドライバのアンインストール

WIAドライバをWindows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008からアンインストールする場合は､インストール時の手順1～2と同様に、［ネットワーク］画面で本機を選択して右クリックし、［アンインストール］をクリックしてください。アンインストールが実行されます。

7

ネットワークファクスユーティリティのインストール

N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerのインストール方法について説明します。

インストールする前に

この章では、本機からファクス送信を実行したり、オンラインアドレス帳を使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

■ ネットワークファクスユーティリティの種類

ネットワークファクス機能を使用するには、本機のクライアントソフトウェアである下記ユーティリティをお使いのコンピュータにインストールします。

N/W-Faxドライバ

N/W-Faxドライバでは、宛先リストをセットアップし、お使いのコンピュータから複数の宛先またはグループへ電子文書を送信することができます。また、さまざまなファクスプロパティを設定することができます。プロパティは、送信者や宛先の情報に関する属性を示します。属性には、ダイヤリングオプション、送信者の情報、解像度やページレイアウトなど、ファクスジョブを処理するときに必要なパラメータが設定されています。
その他の特長として、ファクスを送信する日時を指定できる時刻指定機能があります。また、カスタマイズした送信状ページを送信時に添付するオプションもあります。このページには、送信者や宛先のファクス情報および詳細メッセージを含めることができます。送信状ページに印刷する送信者や宛先の情報は、簡単に管理することができます。

AddressBook Viewer

AddressBook Viewerを使用すると、連絡先のファクス番号やEメールアドレスを簡単に管理することができます。また本機アドレス帳をアップロードして使用することもできます。AddressBook Viewerで管理している連絡先は、ネットワークファクスで文書をファクス送信またはインターネットファクス送信する際に使用することができます。

■ 必要条件

WindowsコンピュータにN/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerをインストールするには、以下の環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
  1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
  High Color （16ビット）以上を推奨
- **CPU**
  Pentium 133 MHz（Pentium 266 MHz以上を推奨）
- **メモリ**
  OSと同等の必要メモリ容量
- **OS**
  Windows XP Service Pack 2以降
  Windows Vista Service Pack 1以降
  Windows 7
  Windows Server 2003 Service Pack 2
  Windows Server 2008 Service Pack 1以降

□ N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerがすでにインストールされている場合

すでに他のClient Utilities CD-ROMからN/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerがインストールされている場合は、本機のClient Utilities CD-ROMからN/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerをインストールし、ソフトウェアをアップデートしてください。
N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerを本機のClient Utilities CD-ROMからインストールしたい場合は、N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerをいったんアンインストールしてから、インストールしてください。また、N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerをアンインストールする際に、設定情報を削除するかしないかのメッセージが表示されますので、［いいえ］をクリックして、設定情報を残すようにします。設定情報を残しておくと、再度インストールしたときにそのまま設定を引き継ぐことができます。

ネットワークファクスユーティリティのインストール

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注 意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。
- CD-ROMの「e-STUDIO」フォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
- [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい]([OK])をクリックします。

1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、CD-ROMの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。

メインメニューが表示されます。

3 [N/W-Faxドライバ] をクリックします。

4 インストールするソフトウェアを確認し、［インストール］をクリックします。

これらをインストールするフォルダを変更できます。［参照］をクリックして［フォルダの参照］ダイアログボックスが表示されたら、インストール先のフォルダを選択して［OK］をクリックします。

注 意

目的の東芝複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下のセクションの手順4を参照してください。

📖 P.28 「おすすめインストール手順」

以降の手順は、プリンタドライバのインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。接続環境に応じて以下の項目を参照してください。

📖 P.42 「Raw TCP/LPR印刷」
📖 P.52 「SMB印刷」

Web Serviceプリントによるインストール

Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008へWSD（Web Services on Devices）プロトコルを使用してN/W-Faxドライバをインストールします。インストールの手順は、プリンタドライバのインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。インストールを行う際は、以下の項目を参照してください。

📖 P.103 「Web Serviceプリント」

ネットワークファクスユーティリティのアンインストール

N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerをアンインストールする場合は、以下の手順で行います。

■ N/W-Faxドライバのアンインストール

N/W-Faxドライバをアンインストールします。アンインストールの手順は、プリンタドライバのアンインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。アンインストールを行う際は、以下の項目を参照してください。
📖 P.114 「プリンタドライバのアンインストール」

■ AddressBook Viewerのアンインストール

AddressBook Viewerをアンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールを行う際は、以下の項目を参照してください。
📖 P.214 「クライアントソフトウェアの削除」

8

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール

Backup/Restore Utilityのインストール方法について説明します。

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールする前に

この章では、Backup/Restore Utilityを使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

■ 必要条件

Windowsコンピュータにファイリングボックスの Backup/Restore Utilityをインストールするには、以下の環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
  1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
  High Color （16ビット）以上を推奨
- **CPU**
  Pentium 133 MHz（Pentium 266 MHz以上を推奨）
- **メモリ**
  OSと同等の必要メモリ容量
- **OS**
  Windows XP Service Pack 2以降
  Windows Vista Service Pack 1以降
  Windows 7
  Windows Server 2003 Service Pack 2
  Windows Server 2008 Service Pack 1以降
- **必要なソフトウェア**
  Microsoft Internet Explorer 5.5 Service Pack 2またはそれ以上（IPv6環境での使用時にはInternet Explorer 7.0以上）
  Microsoft Internet Explorerを使ってファイリングボックスWebユーティリティにアクセス可能なこと

注 意

- ファイリングボックスBackup/Restore Utilityは、上記OSの64ビット版をサポートしていません。
- ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを使ってファイリングボックスデータをバックアップまたはリストアするには、本機のFTPサーバー設定が有効になっている必要があります。

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール

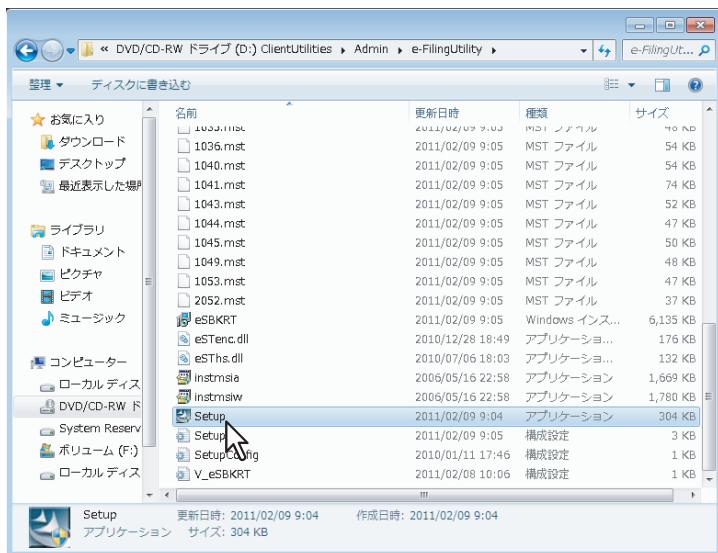
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

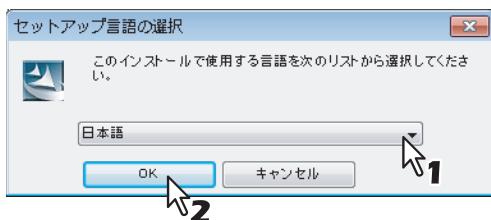
注 意

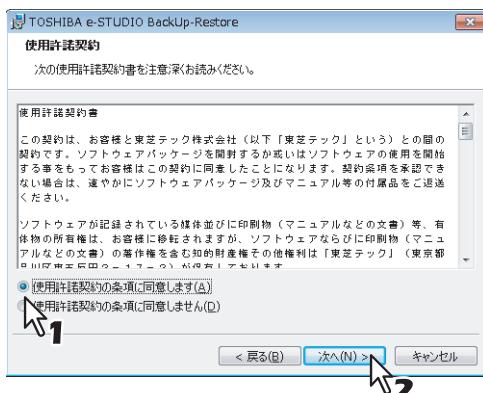
インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。
- CD-ROMの「Admin￥e-FilingUtility」フォルダを開き、「setup.exe」をダブルクリックします。
- ［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、［はい］（[OK]）をクリックします。

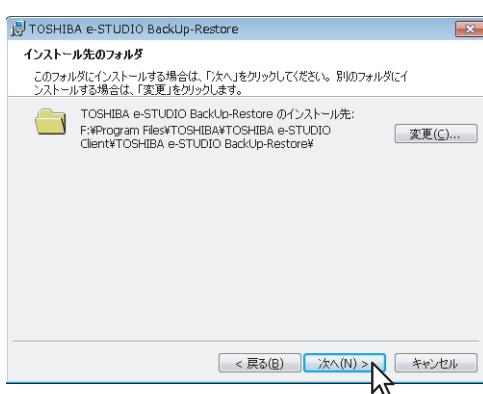
1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

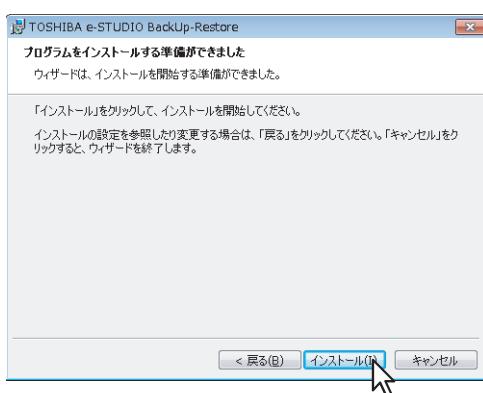
Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

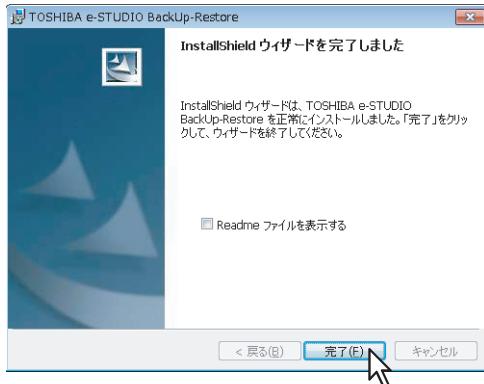
2 Client Utilities CD-ROMの「Admin￥e-FilingUtility」フォルダを開き、「setup.exe」をダブルクリックします。

言語選択のウィンドウが表示されます。

3 使用する言語を選択し、［OK］をクリックします。

4 ［次へ］をクリックします。

5 ［使用許諾契約の全条項に同意します。］を選択し、［次へ］をクリックします。

［インストール先のフォルダ］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［次へ］をクリックします。

- インストール先のフォルダを変更する場合は、［変更］をクリックして［インストール先フォルダの変更］ダイアログボックスが表示されたら、インストール先のフォルダを選択して［OK］をクリックします。
- インストールの開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 ［インストール］をクリックします。

インストールが開始されます。

8 ［完了］をクリックします。

インストールを完了します。

注 意

再起動を要求する画面が表示されることがあります。その場合は、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックします。

アンインストールする

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを削除する場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールの手順については、以下を参照してください。

📖 P.214 「クライアントソフトウェアの削除」

9

インストールのメンテナンス

このセクションでは、クライアントソフトウェアの削除および修復方法について説明しています。

クライアントソフトウェアの削除

クライアントソフトウェアを削除します。
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

P.214 「Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008」
P.215 「Windows XP / Windows Server 2003」

注 意

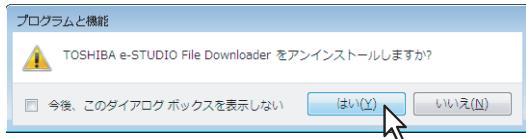
- プリンタドライバおよび N/W-Fax ドライバはセットアッププログラムによる削除はできません。これらを削除したい場合は、以下の手順を参照してください。
  P.114 「プリンタドライバのアンインストール」
- クライアントソフトウェアを削除するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
  ただし、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更して操作を実行することができます。

■ Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008

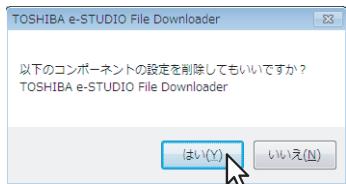
1 **［スタート］→［コントロールパネル］を選択し、［プログラムのアンインストール］をクリックします。**

［プログラムのアンインストールまたは変更］ダイアログボックスが表示されます。

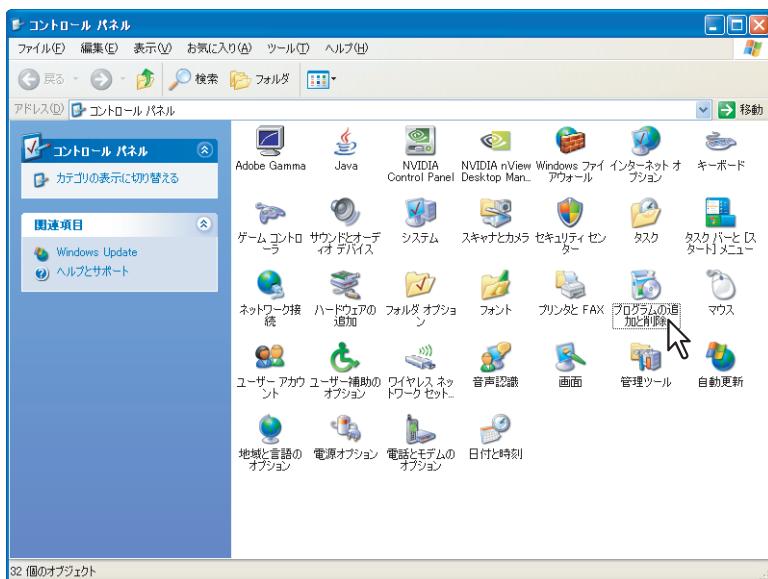
2 **一覧から削除したいソフトウェアを選択し、［アンインストール］をクリックします。**

3 ［はい］をクリックします。

4 設定ファイルを削除する場合は、［はい］をクリックします。

ファイルの削除を開始します。

注 意

［いいえ］をクリックした場合は、設定情報は削除されず残り、次回のインストール時に引き継がれます。

■ Windows XP / Windows Server 2003

1 ［スタート］→［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。

［プログラムの追加と削除］ダイアログボックスが表示されます。

2 一覧から削除したいソフトウェアを選択し、[削除] をクリックします。

3 [はい] をクリックします。

4 設定ファイルを削除する場合は、[はい] をクリックします。

ファイルの削除を開始します。

注 意

[いいえ] をクリックした場合は、設定情報は削除されず残り、次回のインストール時に引き継がれます。

クライアントソフトウェアの修復

クライアントソフトウェアが正常に使用できない場合は、クライアントソフトウェアの修復を行ってください。

注意

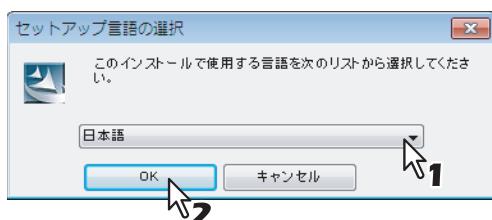
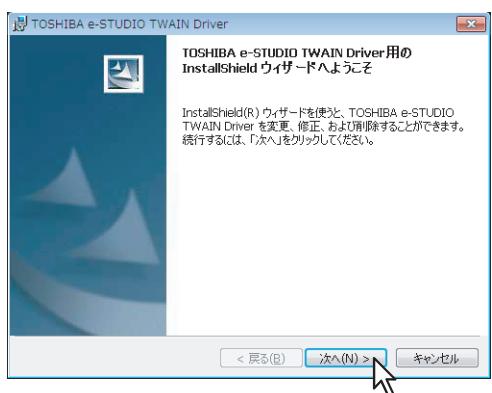
- プリンタドライバ、N/W-FaxドライバおよびWIAドライバはセットアッププログラムによる修復はできません。これらを修復したい場合は、いったんドライバの削除を行い、再インストールしてください。
- Service Pack 2が適用されていないWindows XPをお使いの場合は、以下の手順による修復は行わないでください。その場合は、一度アンインストールしてから再度インストールを行ってください。
- クライアントソフトウェアを修復するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
ただし、Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更して操作を実行することができます。

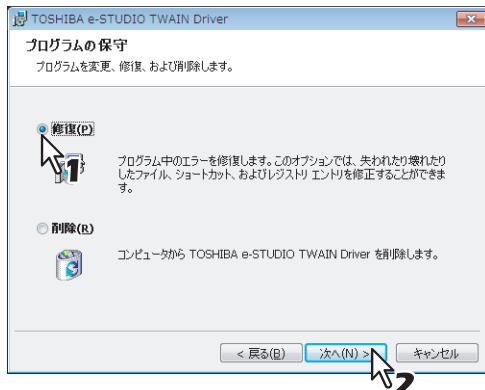
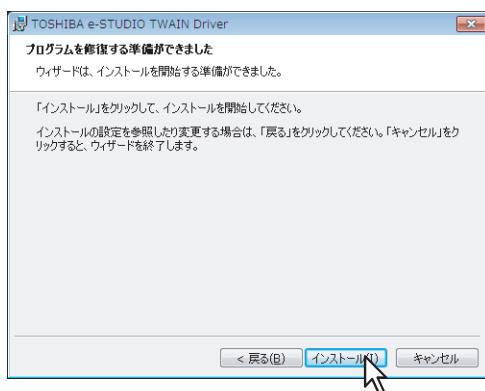
1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの［Exit］をクリックしてSoftware Installerを終了します。

2 修復したいソフトウェアのフォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。

- TWAINドライバ
［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥TWAIN
- ファイルダウンローダ
［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥FD
- Remote Scanドライバ
［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥RS
- AddressBook Viewer
［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥ADRBK￥32
- AddressBook Viewer（Windows 64ビット版のOSをお使いの場合）
［Client Utilities CD-ROM］：￥Client￥ADRBK￥64

3 使用する言語を選択し、［OK］をクリックします。

4 ［次へ］をクリックします。

5 ［修復］を選択し、［次へ］をクリックします。

6 ［インストール］をクリックします。

ファイルの修復を開始します。

7 ［完了］をクリックしてウィザードを終了します。

索引